

大 分 市
「ごみ減量・リサイクル」及び
「家庭ごみ有料化制度」に関する市民意識調査
報 告 書

2026年5月

目 次

I 調 査 概 要	1
II 調 査 結 果	2
1 性別（問1）	2
2 年齢（問2）	2
3 家族人数（問3）	3
4 ごみの減量やリサイクルへの取り組みについて	4
（1）取り組み状況（問4）	4
（2）取り組み内容（問5）	6
（3）取り組んでいない理由（問6）	9
5 大分市公式アプリの「ごみの分け方・出し方メニュー」の認知状況（問7）	12
6 食品ロスについて	15
（1）食品ロスに対する認知度（問8-1）	15
（2）食品ロスの発生状況について（問8-2）	17
（3）フードバンク活動の認知度（問8-3）	20
7 紙類の分別について（問9）	22
（1）「捨てんし大分！」の認知度（問9-1）	22
（2）「燃やせるごみ」への混在について（問9-2）	25
8 資源プラの分別について（問10）	29
9 ごみ減量やリサイクルについての意識の変化（問11）	34
10 家庭ごみ有料化の対象となるごみについて（問12）	36
11 指定有料ごみ袋について	39
（1）指定有料ごみ袋の値段（問13-1）	39
（2）指定有料ごみ袋の種類（大きさ）（問13-2）	41
（3）指定有料ごみ袋をレジ袋として利用について（問13-3）	45
12 指定有料ごみ袋の減免制度について（問14）	51
（1）減免制度の対象者について（問14-1）	51
（2）対象者の拡充について（問14-2）	57
（3）交付方法について（問14-3）	62
13 手数料収入の用途について	68
（1）一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるための基金積み立て（問15-1）	68
（2）ごみステーション設置等補助金（問15-2）	72
（3）クリーン推進員への報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営補助金（問15-3）	78
（4）生ごみ処理機器の購入及びデスポーザーの設置に対する補助金（問15-4）	82
（5）有価物集団回収（廃品回収）運動実施団体に対する報償金（問15-5）	87
14 不法投棄に対する取り組みについて（問16）	92
15 不適正排出に対する取り組みについて（問17）	95
16 家庭ごみ有料化制度について（問18）	99

I 調 査 概 要

1 調査の目的

本調査は、今後のごみ減量・リサイクルの推進に係る施策の検討や家庭ごみ有料化制度の検証のための基礎資料とするために行うものです。

2 対象者と抽出方法

大分市内に居住する 18 歳以上の市民 4,000 人を、住民基本台帳から無作為に抽出しました。

3 調査方法

調査票を郵送で送付し、回収は郵送と W E B を併用した。

4 調査時期

2026 年 4 月 3 日～2026 年 4 月 30 日

5 配布・回収状況

発 送 数 4,000 票

有効発送数 3,985 票（転居等で返送のあった 15 票を除く）

有効回収数 1,566 票（郵送回収 1,029 票 W E B 回収 537 票）

有効回答率 39.3%（有効回収数÷有効発送数）

6 調査結果の処理

○回答比率は、百分比の小数点第 2 位を四捨五入していますので、合計は必ずしも 100%にならないことがあります。

○2 つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超えます。

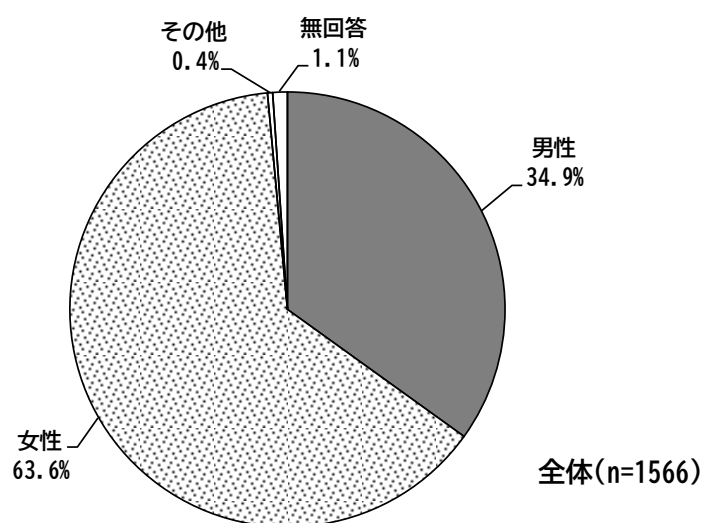
○図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

Ⅱ 調 査 結 果

1 性別（問1）

問1 あなたの性別についてお答えください。

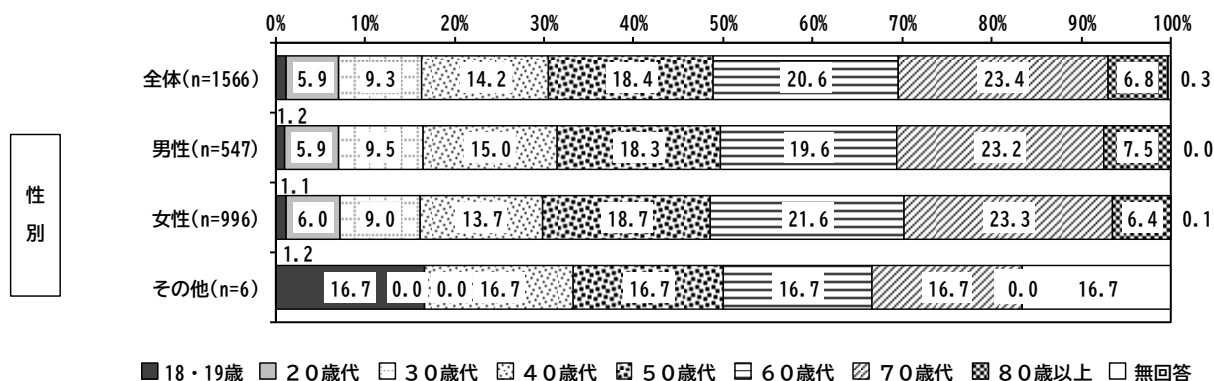
性別をみると、「男性」が34.9%、「女性」が63.6%、「その他」が0.4%となっています。



2 年齢（問2）

問2 あなたの年齢についてお答えください。

年齢をみると、「18・19歳」が1.2%、「20歳代」が5.9%、「30歳代」が9.3%、「40歳代」が14.2%、「50歳代」が18.4%、「60歳代」が20.6%、「70歳代」が23.4%、「80歳以上」が6.8%となっています。

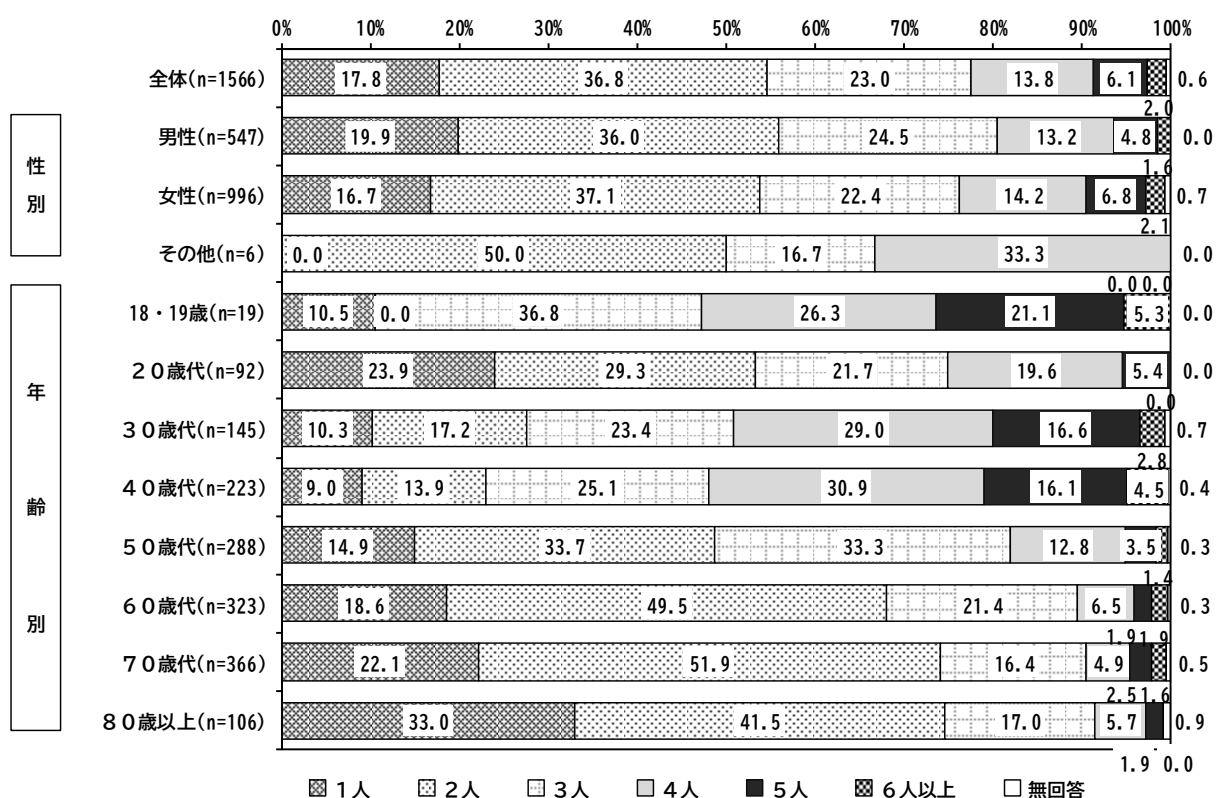


3 家族人数（問3）

問3 あなたと同居している方の人数（あなたを含めて）についてお答えください。

家族人数をみると、「1人」が17.8%、「2人」が36.8%、「3人」が23.0%、「4人」が13.8%、「5人」が6.1%、「6人以上」が2.0%となっています。

【全体及び属性別特徴】



- 年齢別にみると、18・19歳では「3人」、30歳代、40歳代では「4人」、50歳代以上では「2人」が最も多くなっています。また、80歳以上では約3人に1人が「1人」となっています。

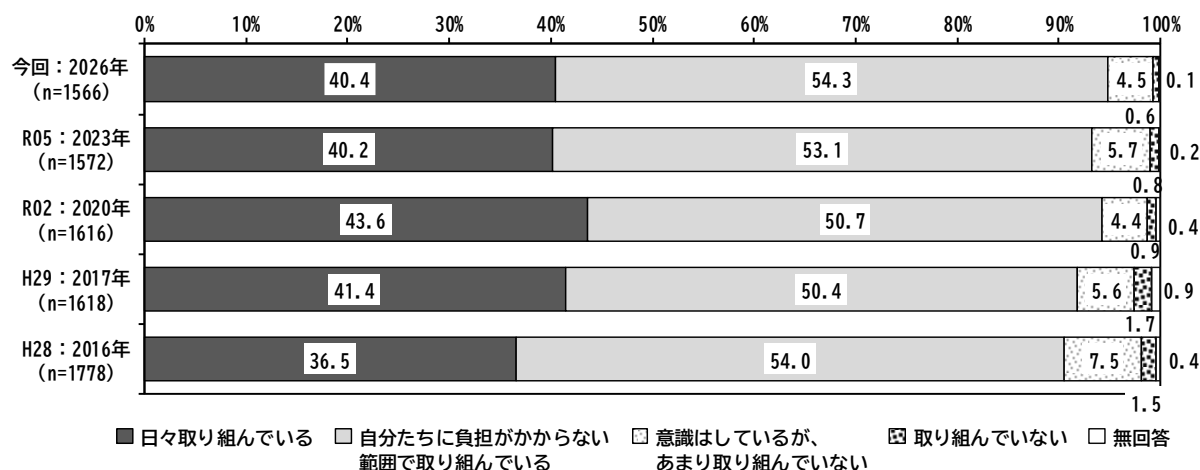
4 ごみの減量やリサイクルへの取り組みについて

(1) 取り組み状況（問4）

問4 あなたやあなたと同居している方は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。（〇は1つ）

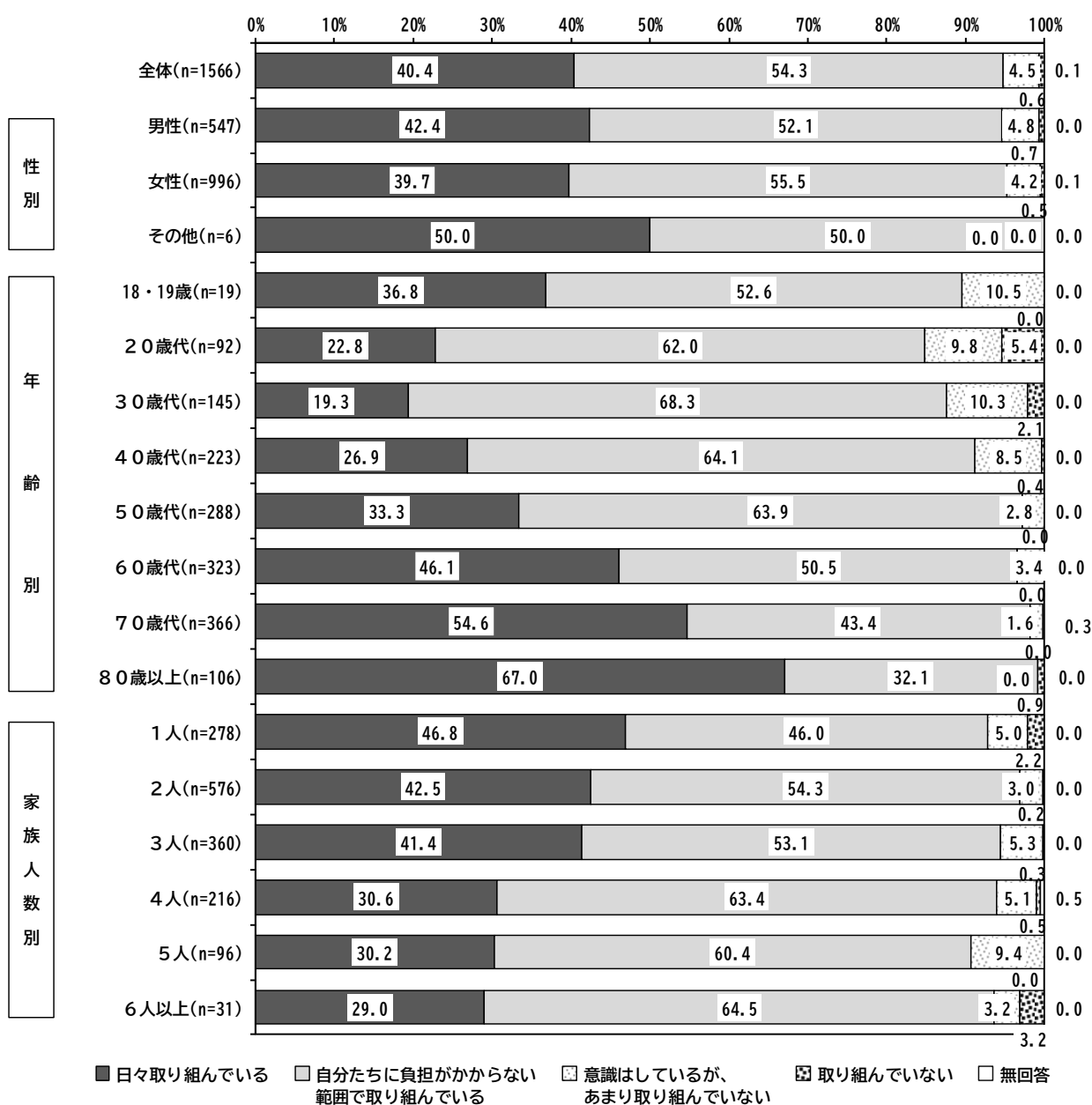
日頃のごみの減量やリサイクルの取り組みをみると、「日々取り組んでいる」は40.4%、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」が54.3%、合計した『取組率』は94.7%となっています。「意識はしているが、あまり取り組んでいない」は4.5%、「取り組んでいない」は0.6%となっています。

【全体及び経年推移】



- 「日々取り組んでいる」は、令和5年に40.2%と令和2年よりも減少しましたが、今回は40.4%と令和5年より0.2ポイント増加し、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」も54.3%と令和5年より1.2ポイント増加しています。その結果、『取組率』は94.7%と令和5年の93.3%より1.4ポイント増加しています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、「日々取り組んでいる」は18・19歳の36.8%から20歳代22.8%、30歳代19.3%と減少しますが、その後は、年齢が高くなるほど多くなっており、70歳代では54.6%と半数を超え、80歳以上では67.0%と多くなっています。
- 家族人数別にみると、家族人数が多くなるほど「日々取り組んでいる」が少なくなり、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」が多くなる傾向にあります。

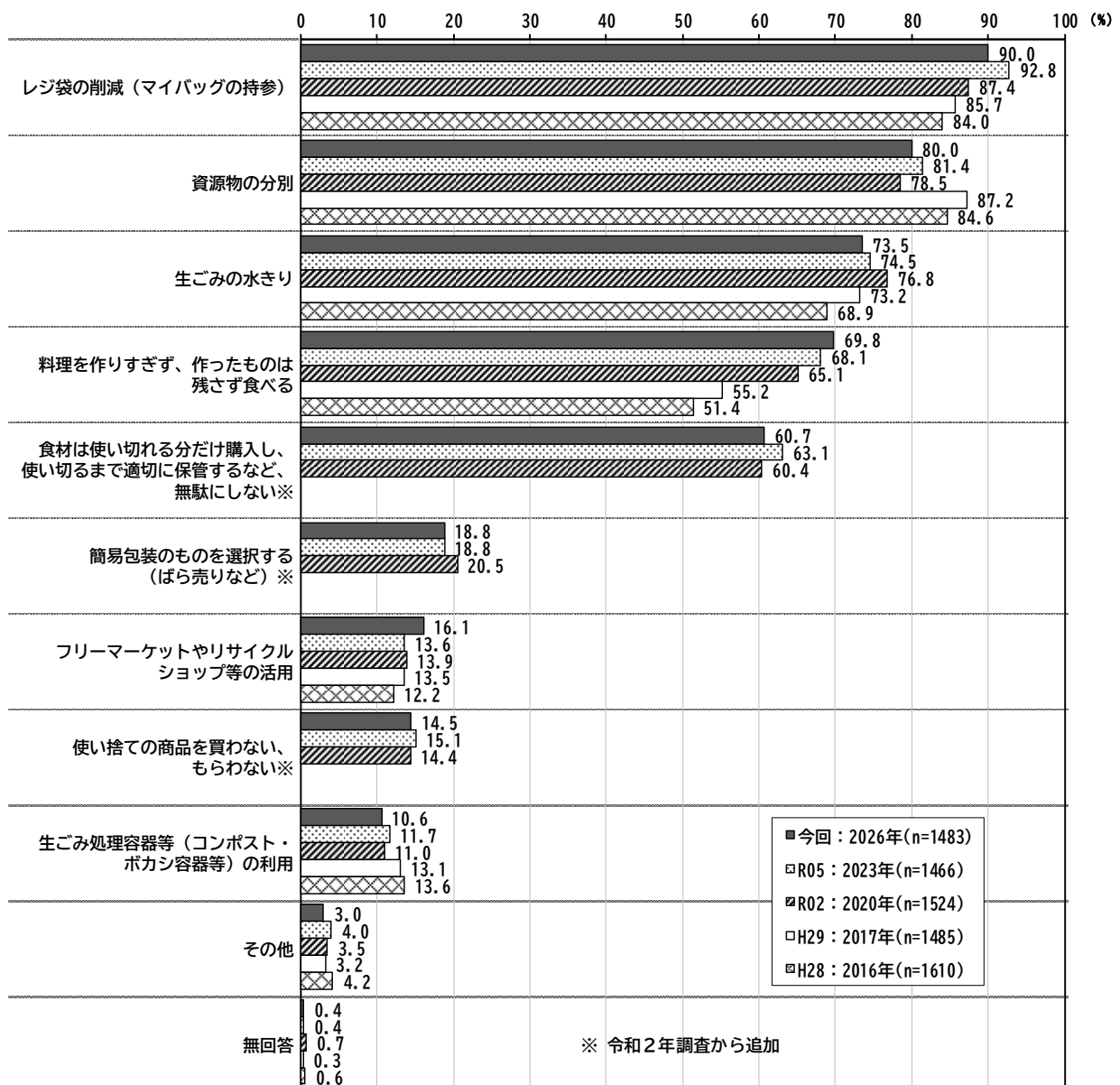
- (2) 取り組み内容 (問5)

問5 問4で①または②と答えた方にお聞きします。

あなたやあなたと同居している方が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいることはどれですか。(〇はいくつでも)

ごみ減量・リサイクルへの取り組み内容をみると、「レジ袋の削減 (マイバッグの持参)」が90.0%と最も多くなっています。次いで「資源物の分別」(80.0%)、「生ごみの水きり」(73.5%)、「料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる」(69.8%)、「食材は使い切れる分だけ購入し、使い切るまで適切に保管するなど、無駄にしない」(60.7%)となっています。

【全体及び経年推移】



- 取り組み内容の上位5項目に大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

		サンプル数	レジ袋の削減（マイバッグの利用）	資源物の分別	生ごみの水きり	料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる	食材は使い切れる分だけ購入するなど、無駄にしない	簡易包装のものを選択する（ばら売りなど）	フリーマーケットやリサイクルショップ等の活用	使い捨ての商品を買わない、もらわない	生ごみ処理容器等（コンポスト・ボカシ容器等）の利用	その他	無回答
全体		1483 100.0	1335 90.0	1187 80.0	1090 73.5	1035 69.8	900 60.7	279 18.8	239 16.1	215 14.5	157 10.6	45 3.0	6 0.4
性別	男性	517 100.0	450 87.0	403 77.9	352 68.1	333 64.4	291 56.3	77 14.9	73 14.1	67 13.0	67 13.0	13 2.5	2 0.4
	女性	948 100.0	870 91.8	771 81.3	724 76.4	687 72.5	597 63.0	198 20.9	162 17.1	144 15.2	88 9.3	30 3.2	4 0.4
	その他	6 100.0	5 83.3	5 83.3	5 83.3	5 83.3	5 83.3	- -	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7	- -
年齢別	18・19歳	17 100.0	15 88.2	14 82.4	11 64.7	11 64.7	8 47.1	4 23.5	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	- -
	20歳代	78 100.0	68 87.2	49 62.8	42 53.8	55 70.5	46 59.0	8 10.3	19 24.4	5 6.4	6 7.7	1 1.3	- -
	30歳代	127 100.0	104 81.9	80 63.0	75 59.1	88 69.3	75 59.1	12 9.4	29 22.8	6 4.7	5 3.9	3 2.4	- -
	40歳代	203 100.0	178 87.7	162 79.8	125 61.6	131 64.5	107 52.7	32 15.8	51 25.1	20 9.9	9 4.4	5 2.5	- -
	50歳代	280 100.0	258 92.1	229 81.8	210 75.0	195 69.6	172 61.4	58 20.7	48 17.1	42 15.0	21 7.5	10 3.6	- -
	60歳代	312 100.0	283 90.7	275 88.1	241 77.2	222 71.2	202 64.7	71 22.8	48 15.4	45 14.4	36 11.5	9 2.9	2 0.6
	70歳代	359 100.0	330 91.9	294 81.9	297 82.7	261 72.7	225 62.7	75 20.9	34 9.5	64 17.8	55 15.3	13 3.6	3 0.8
	80歳以上	105 100.0	97 92.4	83 79.0	87 82.9	70 66.7	64 61.0	19 18.1	8 7.6	30 28.6	24 22.9	3 2.9	1 1.0
家族人数別	1人	258 100.0	212 82.2	190 73.6	186 72.1	182 70.5	175 67.8	49 19.0	35 13.6	48 18.6	26 10.1	9 3.5	3 1.2
	2人	558 100.0	520 93.2	463 83.0	441 79.0	411 73.7	347 62.2	114 20.4	66 11.8	90 16.1	64 11.5	17 3.0	2 0.4
	3人	340 100.0	306 90.0	273 80.3	246 72.4	235 69.1	203 59.7	59 17.4	64 18.8	42 12.4	37 10.9	9 2.6	1 0.3
	4人	203 100.0	189 93.1	163 80.3	141 69.5	128 63.1	113 55.7	32 15.8	43 21.2	19 9.4	15 7.4	8 3.9	- -
	5人	87 100.0	77 88.5	68 78.2	56 64.4	55 63.2	47 54.0	21 24.1	22 25.3	12 13.8	8 9.2	1 1.1	- -
	6人以上	29 100.0	24 82.8	26 89.7	16 55.2	20 69.0	12 41.4	3 10.3	8 27.6	2 6.9	4 13.8	1 3.4	- -

（注）太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、「生ごみ処理容器等（コンポスト・ボカシ容器等）の利用」以外は、女性の方が男性よりも多くなっています。中でも「生ごみの水きり」や「料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる」では女性が男性を8ポイント以上多くなっています。
- 年齢別にみると、20～40歳代では「フリーマーケットやリサイクルショップ等の活用」が2割台と他の年齢層に比べ多くなっています。また、70歳代以上では「生ごみの水切り」が8割台と2番目に多くなっています。

取り組んでいる「その他」(3.0%)の内容

- 着られる服等はリサイクルに出す。
- ダンボール等もリサイクル箱に入れている。
- 地域のリサイクルステーションの利用。(ダンボール、本、雑誌など)
- トレイや油のリユース
- 生キエーロの活用
- 衣類はリサイクルボックスへ。
- プラなど小さくたたみリサイクルへ。ペットボトルは潰してリサイクルへ。
- 資源ごみのリサイクル
- 今年度、生ごみ減量乾燥機を購入済み。
- 残飯類は畑に穴を掘り肥料にします。
- 生ごみは畑に埋める。
- 生ごみは畑に蒔く。
- 野菜の外葉など外に干して、水分を抜いてごみ出し。
- 肥料にする。
- 野菜の生ごみは庭に埋める。
- 家庭菜園
- 家具を改造して他で使用している。園芸工具入れ等、倉庫の仕分け棚等。
- この地区でごみの出し方が悪い方が若干名いると思われます。
- ごみ収集カレンダーで確認して、分別にはかなり気を遣って、決められた通りに出すように注意している。
- ごみ収集カレンダーを見て、極少量にして出しています。ご近所の方もそのように出しています。
- ごみ分別時、プラ等はよく洗う。
- ごみ袋に入れる時、小さく裁断する。
- 食品に限らず、不要な物は買わない。セールに釣られない。良い物を長く使う。
- 整理整頓、日頃の片付け、家庭菜園、畑野菜の活用、チラシポストお断りマグネット、物を容易に買わない、DM 不要の手続き、服を繕いながら着る。
- 町内資源ごみに出す。1ヶ月1回。
- 詰め替え用商品の利用。
- 肉、魚のトレイを回収している店舗に入れる。牛乳パック等。
- 庭木を植えないようにしたり、切った小枝など田舎で焼いていたが、田舎も厳しくなったので、草木も育たないうちに切ったりしようと思う。
- 配達用新聞の雨での濡れ防止のビニール袋を廃プラ入れに活用。小物の紙回収等。家の雑草は太陽熱で乾燥させる。
- 廃品回収に出しています。ダンボール等は収集会社に持参。
- バナナの皮を干して肥料、卵の殻、米のとぎ汁、野菜屑を肥料に活用。西瓜の皮、ミカン類を干してごみに出す。
- 必要最低限の物しか購入しない。
- 一人ですが、娘がいるので作った物はお裾分けして喜ばれています。
- 風呂がま使用なので、紙、燃える小さい物、菓子箱等、たき付けに使用している。
- ペットボトルの蓋や廃油も回収場所に持ち込んでいる。
- 安い物を買う。期限の近いもの。
- 再利用。使用済みペットボトルを水筒に使う。
- 自治会の資源ごみには積極的に協力。
- 油污れは拭き取ることで水を汚さないように努めている。

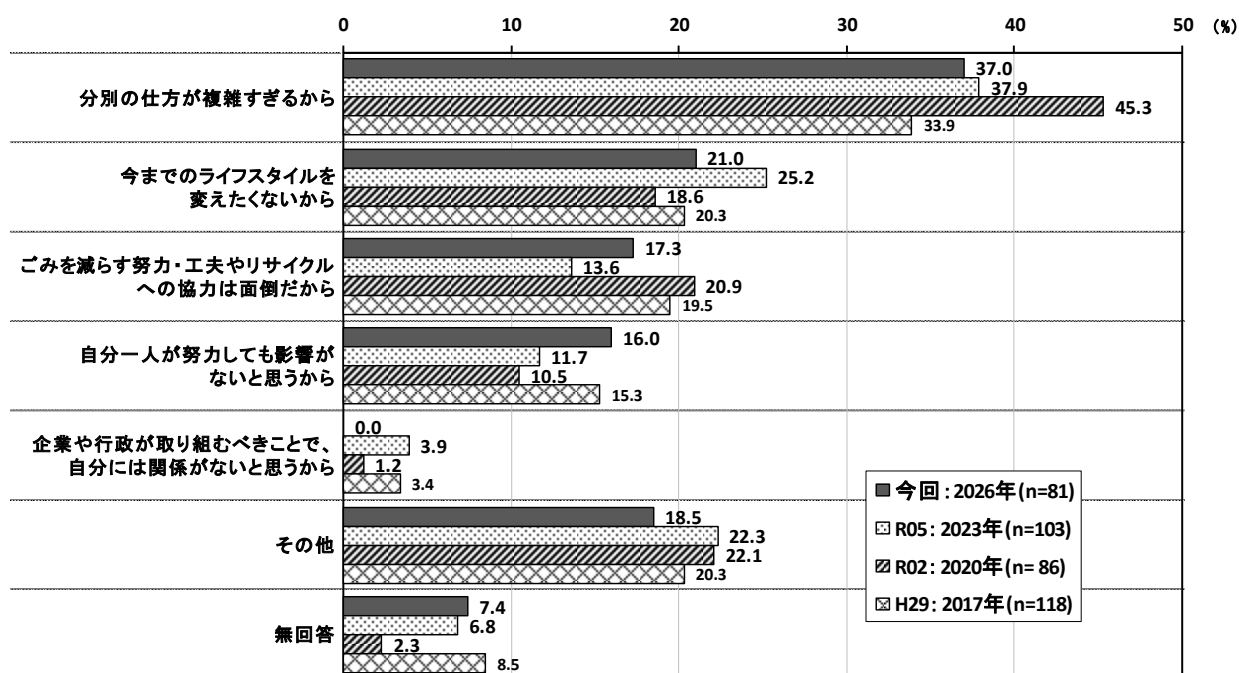
(3) 取り組んでいない理由（問6）

問6 問4で③または④と答えた方にお聞きします。

あなたやあなたと同居している方が、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいないとした理由はどれですか。（〇はいくつでも）

ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由としては、「分別の仕方が複雑すぎるから」が37.0%と最も多くなっています。次いで「今までのライフスタイルを変えたくないから」（21.0%）、「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」（17.3%）、「自分一人が努力しても影響がないと思うから」（16.0%）となっています。また、「企業や行政が取り組むべきことで、自分には関係がないと思うから」と回答した人はひとりもいませんでした。

【全体及び経年推移】



- 令和5年と比べると、大きな変化はみられませんが、「今までのライフスタイルを変えたくないから」が減少し、「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」、「自分一人が努力しても影響がないと思うから」が増加しています。

【属性別特徴】

		サンプル数	分別の仕方が複雑すぎるから	今までのライフスタイルを変えたくないから	ごみを減らす努力は、工夫だけからサイクルへの協力は、面倒だから	自分一人が努力しても影響がないと思うから	企業や行政が取り組むべきだと思うから	その他	無回答
全体		81 100.0	30 37.0	17 21.0	14 17.3	13 16.0	— —	15 18.5	6 7.4
性別	男性	30 100.0	9 30.0	10 33.3	5 16.7	4 13.3	— —	6 20.0	1 3.3
	女性	47 100.0	20 42.6	7 14.9	8 17.0	7 14.9	— —	8 17.0	5 10.6
	その他	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
年齢別	18・19歳	2 100.0	1 50.0	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —
	20歳代	14 100.0	4 28.6	6 42.9	4 28.6	4 28.6	— —	2 14.3	— —
	30歳代	18 100.0	5 27.8	3 16.7	8 44.4	4 22.2	— —	3 16.7	1 5.6
	40歳代	20 100.0	11 55.0	3 15.0	1 5.0	— —	— —	5 25.0	1 5.0
	50歳代	8 100.0	6 75.0	2 25.0	— —	1 12.5	— —	— —	— —
	60歳代	11 100.0	2 18.2	3 27.3	— —	2 18.2	— —	3 27.3	1 9.1
	70歳代	6 100.0	1 16.7	— —	1 16.7	— —	— —	2 33.3	2 33.3
	80歳以上	1 100.0	— —	— —	— —	1 100.0	— —	— —	— —
家族人数別	1人	20 100.0	8 40.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	— —	6 30.0	1 5.0
	2人	18 100.0	5 27.8	4 22.2	3 16.7	3 16.7	— —	4 22.2	1 5.6
	3人	20 100.0	8 40.0	7 35.0	2 10.0	5 25.0	— —	1 5.0	3 15.0
	4人	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	2 16.7	— —	2 16.7	1 8.3
	5人	9 100.0	3 33.3	1 11.1	4 44.4	— —	— —	2 22.2	— —
	6人以上	2 100.0	1 50.0	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「今までのライフスタイルを変えたくないから」、女性では「分別の仕方が複雑すぎるから」が最も多くなっています。

取り組んでいない「その他」(18.5%)の内容

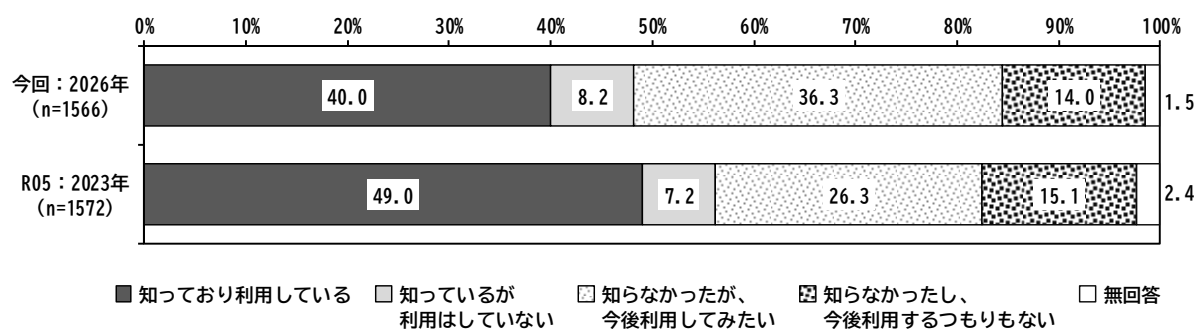
- 何時必要になるか分からないので、全部は捨てきれない。
- 個々も大切だが、市が減量、リサイクルをアピールしていない。
- 子どもだから。
- 別に何も考えていなかった。
- 野菜など捨てたり、食材も余って捨てたりすることがある。リサイクルは面倒な感じ。
- やれる範囲でやっている。
- リサイクルゴミを回収されないことがあって、近所の人にゴミ袋を持ってこられてトラウマになってるから。
- 分かっているけど、水切りや分別等最低限のことしかできていないから。
- 家にものがたくさんあって、少しずつ処分するため。
- 知識が足りていない。

5 大分市公式アプリの「ごみの分け方・出し方メニュー」の認知状況（問7）

問7 大分市公式 LINE にはごみ分別検索やごみ収集カレンダーを表示できる「ごみの分け方・出し方メニュー」があります。この機能に対するあなたの認知度についてお答えください。
（〇は1つ）

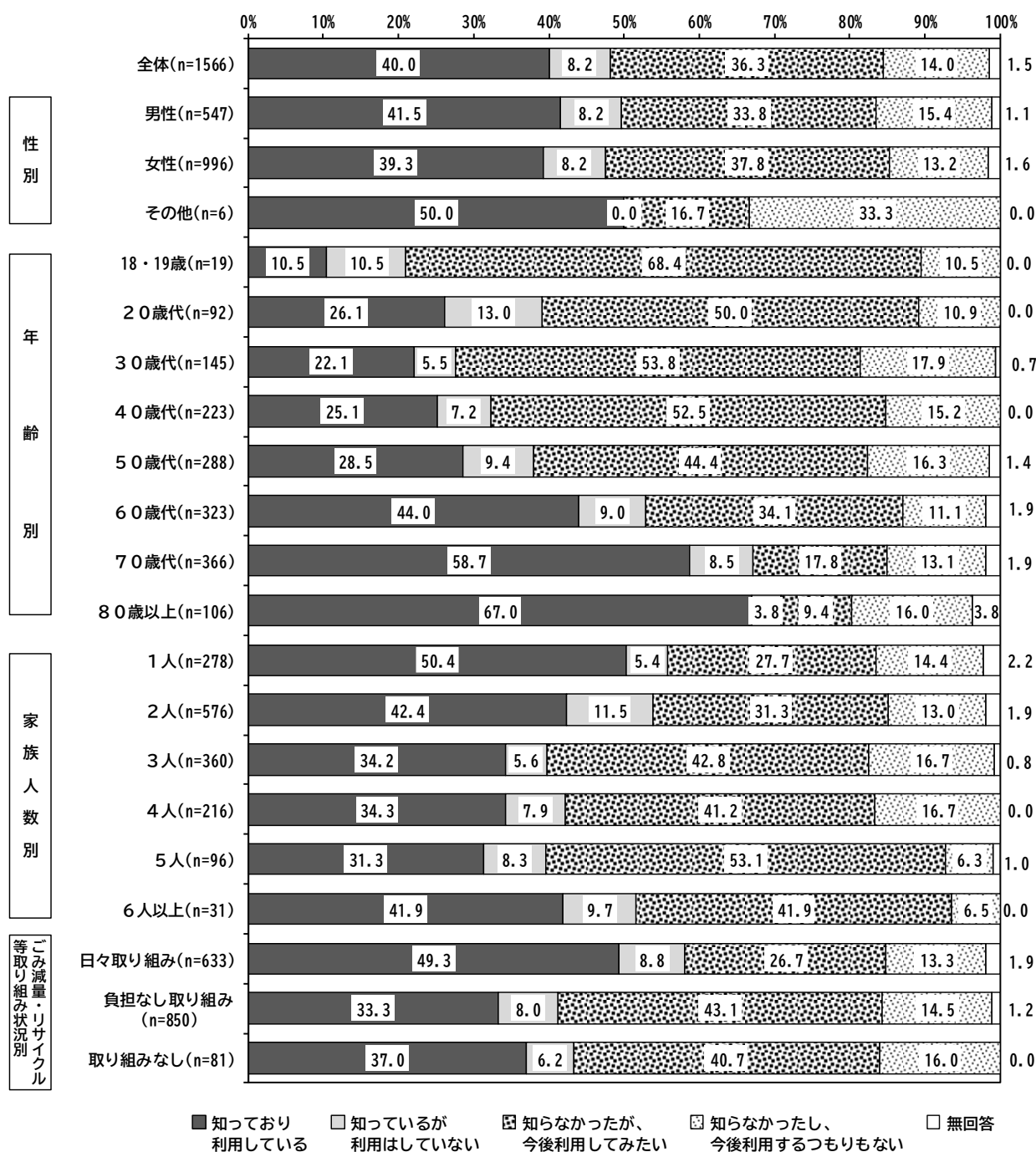
大分市公式 LINE を利用したごみ分別検索やごみ収集カレンダーを表示できる「ごみの分け方・出し方メニュー」の機能について、「知っており利用している」が 40.0%、「知っているが利用はしていない」が 8.2%、「知らなかったが、今後利用してみたい」が 36.3%、「知らなかったし、今後利用するつもりもない」が 14.0%となっています。

【全体及び経年推移】



- 「知っており利用している」が令和5年の49.0%から40.0%に9.0ポイント減少していますが、「知らなかったが、今後利用してみたい」は26.3%から36.3%に10.0ポイント増加しています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、「知っている・利用している」は18・19歳では10.5%、20～50歳代が2割台と少なくなっていますが、60歳代が44.0%となっており、年齢が高くなるほど割合が多くなり、80歳以上では67.0%となっています。また、40歳代以下では「知らなかったが、今後利用してみたい」が半数を超えています。
- 家族人数別にみると、3～5人世帯では「知っている・利用している」が3割台と少なくなっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、日々の取り組みをしている層では「知っている・利用している」が約半数を占めています。

「知っているが利用はしていない」(8.2%)理由

- ごみカレンダーがある・見る・利用している(14)
- LINE をしていない(5)
- 紙でもらっている・充分(4)
- カレンダーや分別辞典を利用している。その方が手軽だから。
- ごみ収集カレンダーを見える場所に貼って見て確認している。
- 収集カレンダーなどはダウンロードしている。
- 収集カレンダーや冊子があり、すぐ見られるようにしているため。
- 配布されるごみカレンダーで確認している。
- 紙で配布される資料の方が一覧性があり見やすいから。
- 紙のカレンダーで収集日や分別方法を確認するから。
- 紙のほうが見やすいので。
- 紙の収集カレンダーで確認している。
- 紙の表を参考にしています。
- 紙媒体のカレンダーで困らないから。
- 自宅にごみ収集カレンダーがあるため、必要ない。
- 地区で配布されたカレンダーを活用してるため。
- 配布されたカレンダーを活用中。
- 市配布のごみ収集カレンダー活用で。
- 市報と共に配布していただいているごみ収集カレンダーを活用している。LINE で見るのは苦手。
- 市報のカレンダーを表示使用。
- 市役所より年1度配布があるので、それを1年間使う。
- ゴミ分別表が紙で配られてるから。
- 家庭ごみ分別事典を主に利用しているため。LINE はあまり使わない。
- 家庭ごみ分別事典を見る。
- 各家庭に配布されるゴミ収集カレンダーを利用しているので。
- 市が配布している物を使用している。
- 直ぐに見れる紙情報を利用している。
- ごみの出し方分別とか本を持っている。わからない時は見る。
- 印刷物の方がよい。印刷できない。
- 冊子を見ている。
- 配布物利用
- 携帯は使用したくない。
- スマホの使い方が下手。
- LINE ではなくホームページ上で簡単に検索したいから。
- その都度インターネットで調べるので。
- 分別で迷った時はネットで調べる。
- 以前は市の公式アプリを使用していて LINE は登録していない(紙のカレンダーで不自由ない)
- 以前冊子を頂いたので LINE は必要ないから。
- 4月に Google カレンダーに CSV インポートするので LINE は必要ない。
- 大分市公式アプリ使用
- こちらのアンケート以前見たのを思い出しました。1箇所で見えたことなかったです。
- 細かく表示していない。
- 視覚障がい者なので利用できない。
- 今まで公式アプリを使っていた。その方が便利が良かったため。
- 母が利用しているようだから。
- 利用しなくても困っていない。
- 必要ない。知っているため。特に必要とする場面に出会わない(3)
- 面倒だから(2)
- だいたいの知識がある・だいたい分かる(2)

6 食品ロスについて

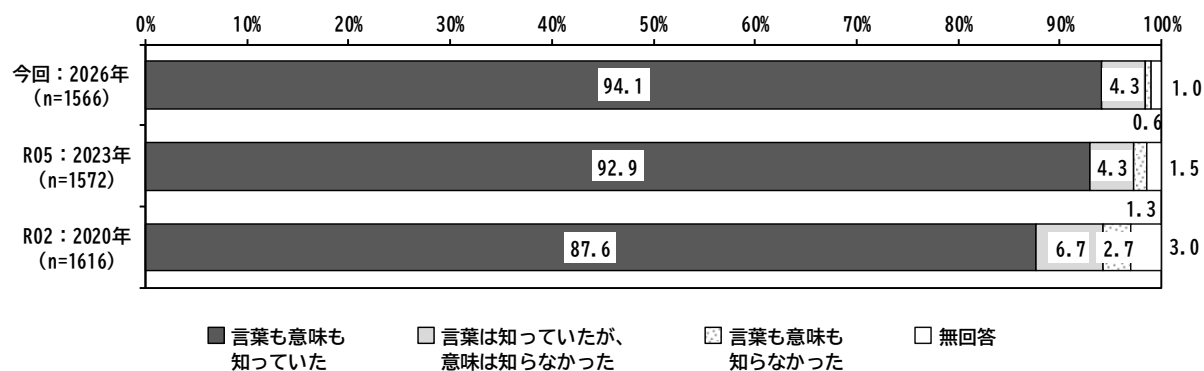
問8 食品ロス（食べられるにもかかわらず捨てられている食品）についてお聞きします。

（1）食品ロスに対する認知度（問8－1）

問8－1 食品ロスに対するあなたの認知度についてお答えください。（○は 1 つ）

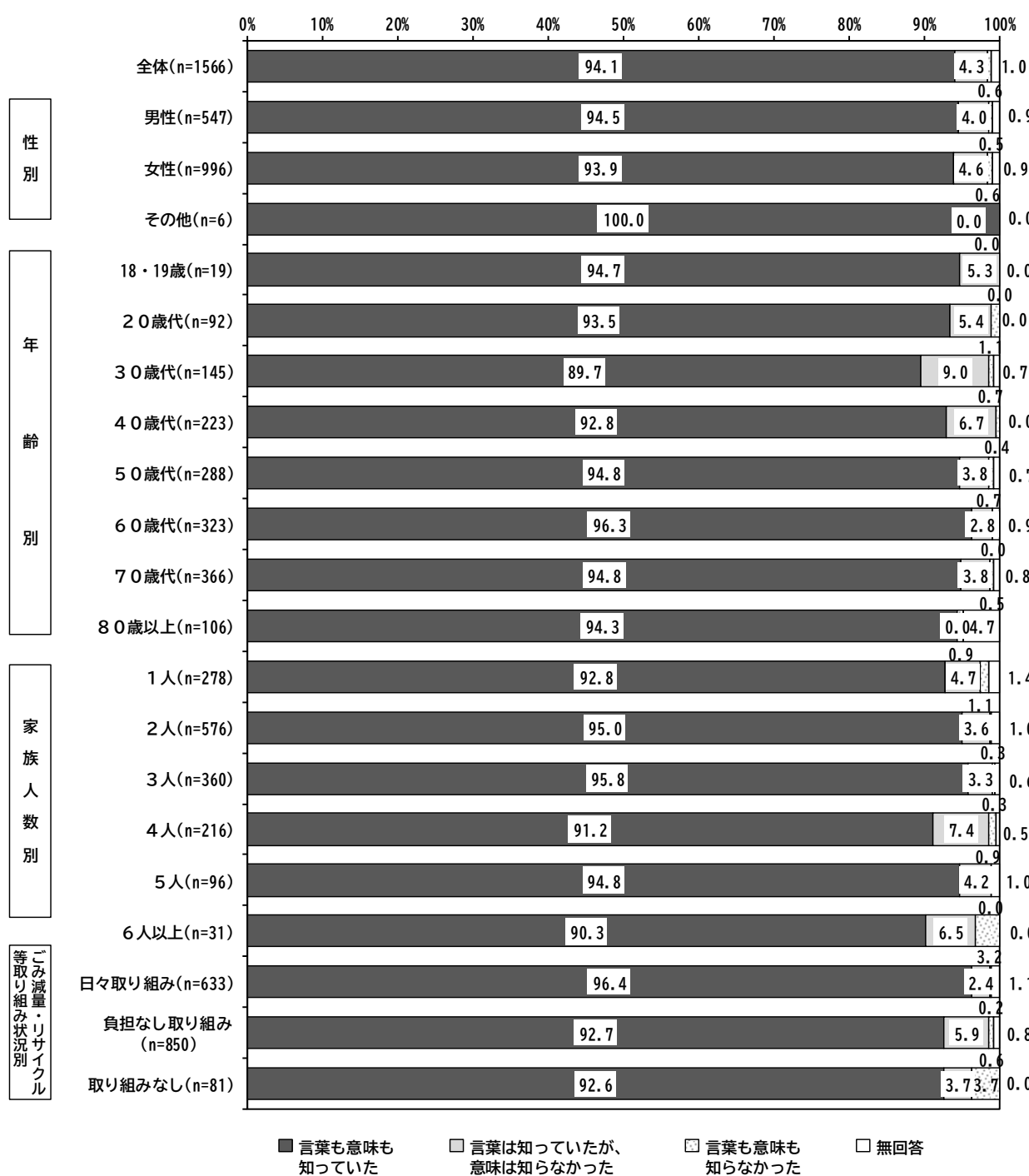
食品ロスに対する認知度についてみると、「言葉も意味も知っていた」が94.1%と圧倒的に多く、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が4.3%、「言葉も意味も知らなかった」が0.6%となっています。

【全体及び経年推移】



- 「言葉も意味も知っていた」が令和5年の92.9%から1.2ポイント増加し、94.1%となっています。

【属性別特徴】



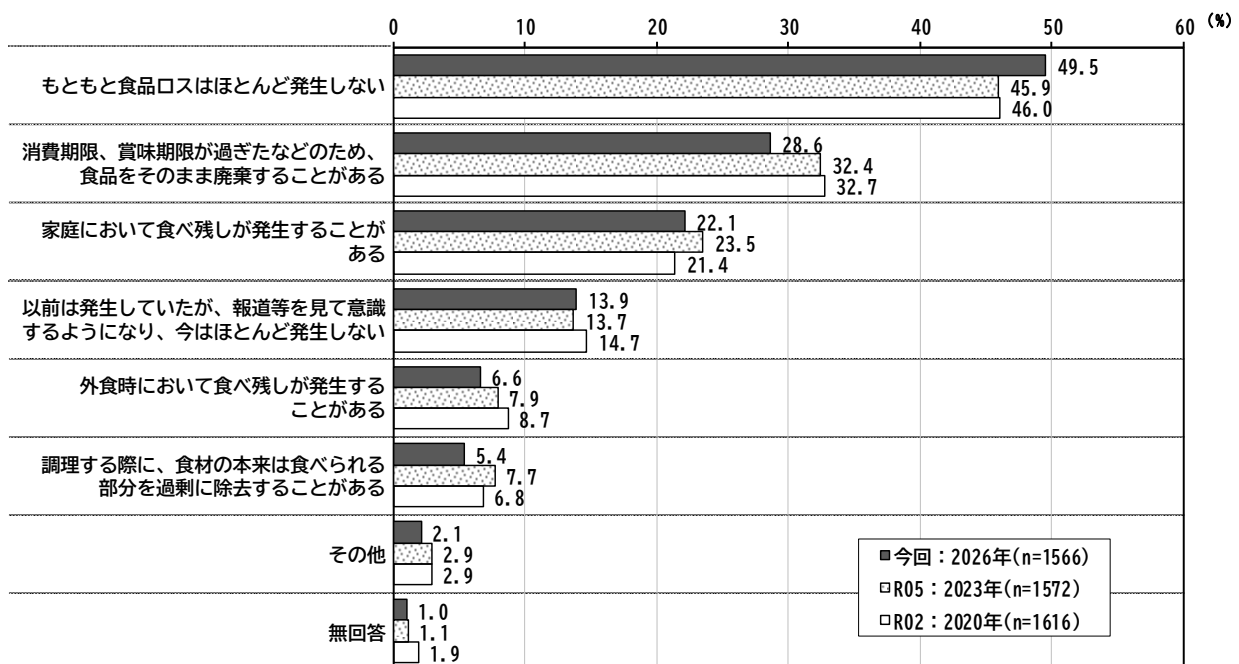
- 年齢別にみると、30歳代以外では「言葉も意味も知っていた」が9割台となっています。
- 家族人数別にみると、すべての世帯で「言葉も意味も知っていた」が9割台となっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組み状況に関係なく「言葉も意味も知っていた」が9割台となっています。

(2) 食品ロスの発生状況について（問8－2）

問8－2 令和5年度における食品ロスは、国内で464万トン発生していると推計されています。
あなたやあなたと同居している方の食品ロスの発生状況についてお答えください。
（〇はいくつでも）

食品ロスの発生状況についてみると、「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が49.5%と最も多くなっています。次いで「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」（28.6%）、「家庭において食べ残しが発生することがある」（22.1%）、「以前は発生していたが、報道等を見て意識するようになり、今はほとんど発生しない」（13.9%）となっています。

【全体及び経年推移】



- 令和2年から大きな変化はみられませんが、「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が令和5年の45.9%から49.5%に3.6ポイント増加し、「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」が32.4%から28.6%に3.8ポイント減少しています。

【属性別特徴】

		サンプル数	もともと食品ロスはほとんど発生しない	消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある	家庭において食べ残しが発生すること	報道等を見て意識したが、うになり、今はほとんど発生しない	外食時において食べ残しが発生することがある	調理する際に、食材の本来は食べられる部分があるを除去することがある	その他	無回答
全体		1566 100.0	775 49.5	448 28.6	346 22.1	217 13.9	104 6.6	84 5.4	33 2.1	15 1.0
性別	男性	547 100.0	305 55.8	134 24.5	113 20.7	63 11.5	32 5.9	28 5.1	5 0.9	5 0.9
	女性	996 100.0	460 46.2	308 30.9	229 23.0	149 15.0	72 7.2	55 5.5	26 2.6	9 0.9
	その他	6 100.0	4 66.7	3 50.0	- -	- -	- -	- -	1 16.7	- -
年齢別	18・19歳	19 100.0	10 52.6	5 26.3	6 31.6	1 5.3	- -	- -	- -	- -
	20歳代	92 100.0	42 45.7	32 34.8	21 22.8	8 8.7	8 8.7	7 7.6	1 1.1	- -
	30歳代	145 100.0	65 44.8	44 30.3	42 29.0	9 6.2	12 8.3	9 6.2	2 1.4	1 0.7
	40歳代	223 100.0	90 40.4	76 34.1	60 26.9	22 9.9	14 6.3	11 4.9	3 1.3	1 0.4
	50歳代	288 100.0	146 50.7	92 31.9	56 19.4	32 11.1	14 4.9	14 4.9	4 1.4	3 1.0
	60歳代	323 100.0	161 49.8	91 28.2	56 17.3	56 17.3	18 5.6	17 5.3	9 2.8	4 1.2
	70歳代	366 100.0	188 51.4	84 23.0	87 23.8	69 18.9	28 7.7	20 5.5	11 3.0	3 0.8
	80歳以上	106 100.0	72 67.9	21 19.8	18 17.0	20 18.9	10 9.4	6 5.7	3 2.8	2 1.9
家族人数別	1人	278 100.0	153 55.0	82 29.5	45 16.2	39 14.0	20 7.2	11 4.0	4 1.4	3 1.1
	2人	576 100.0	298 51.7	148 25.7	113 19.6	95 16.5	39 6.8	33 5.7	15 2.6	6 1.0
	3人	360 100.0	175 48.6	108 30.0	82 22.8	47 13.1	24 6.7	28 7.8	10 2.8	4 1.1
	4人	216 100.0	103 47.7	65 30.1	59 27.3	19 8.8	13 6.0	6 2.8	- -	- -
	5人	96 100.0	30 31.3	34 35.4	36 37.5	10 10.4	7 7.3	5 5.2	1 1.0	1 1.0
	6人以上	31 100.0	11 35.5	10 32.3	10 32.3	6 19.4	1 3.2	1 3.2	2 6.5	- -
ル等 ごみ 取り 組・ リ サイ ク ル 状 況	日々取り組み	633 100.0	385 60.8	133 21.0	115 18.2	95 15.0	34 5.4	24 3.8	19 3.0	8 1.3
	負担なし 取り組み	850 100.0	362 42.6	274 32.2	204 24.0	119 14.0	66 7.8	52 6.1	13 1.5	6 0.7
	取り組みなし	81 100.0	27 33.3	41 50.6	27 33.3	3 3.7	4 4.9	8 9.9	1 1.2	- -

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が 55.8%と半数を超えています。
- 年齢別にみると、全ての年齢層で「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が最も多くなっています。
- 家族人数別にみると、家族人数が少ないほど「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が多くなる傾向にあります。5人以上世帯では「もともと食品ロスはほとんど発生しない」と同程度に

「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」や「家庭において食べ残しが発生することがある」も多くなっています。

- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、日々取り組み層では「もともと食品ロスはほとんど発生しない」が60.8%と多くなっていますが、負担なし取り組み層では42.6%、取り組みなし層では33.3%と少なくなっています。また、取り組みなし層では、「消費期限、賞味期限が過ぎたなどのため、食品をそのまま廃棄することがある」が50.6%と半数を超えています。

食品ロスが発生する「その他」(2.1%)の内容

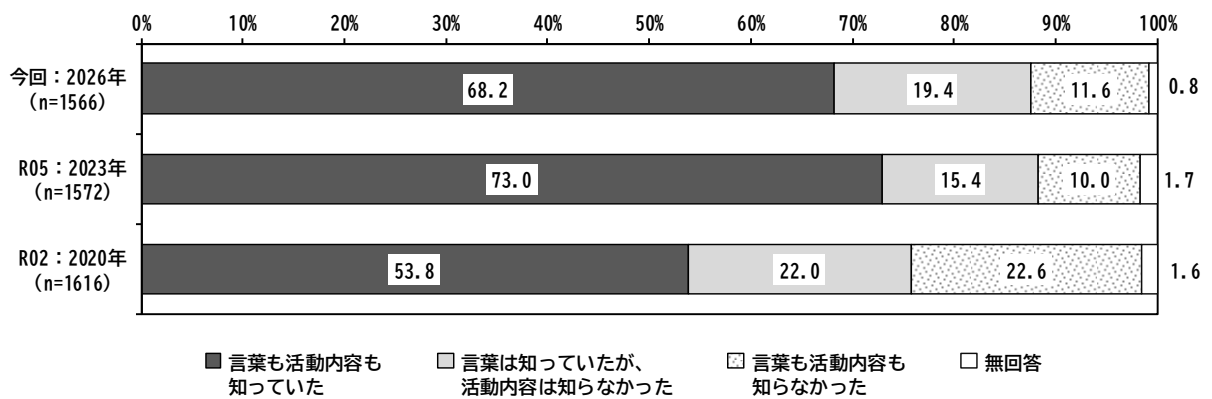
- うっかりして、消費期限過ぎても1日くらいなら、火を通す食べ物なら食べる。
- 外食時、どうしても食べきれずあまりにもまずかったりして残すことがあります。
- 期限少し過ぎても食べている。
- 気づかず腐っていたら捨てる。
- 子どもが同じものを食べるようになって、少しの傷みや賞味期限切れをやってしまうようになった。
- この物価高で食品は大事。ロスはほとんどない。
- 仕事柄、頂き物が多く、できるだけ友人知人に分けている。
- 消費期限、賞味期限が少々過ぎても頂く事がある。
- 賞味期限が過ぎていても、食べられるものは食べている。以前は賞味期限がなかった。賞味期限を過ぎていても、食中毒になったことがない。
- 食材を買ったことを忘れて、食品ロスとしてしまう。
- 食品ロスが発生しないように必要な分だけ購入している。
- 少なめに作るようにしている。病気のため無理して食べないようにしている。
- 食べ残し禁止を子どもに徹底しています。給食も残しません。
- たまに冷蔵庫等に期限切れの食材が発生。古ければ捨てる。
- 調味料等が曖昧で、長く置いている物は廃棄する。
- 使い切れなくなった野菜、かびたミカンなど。
- 葉野菜を使い忘れて悪くなった部分を廃棄する。
- 普段から残さず食べるようにしている。
- 物価高もあり、買い物に吟味するようになった。
- もったいない感が強い方なので意識しているが、たまに無駄にすることはあります。消費、賞味は無視して自分の感覚です。
- 安く買ったら直ぐ使います。買いすぎない。
- 食品ロスは常に気にかけているので家庭内では最小限になるように気をつけている。
- 物価高すぎて必要最低限の食事しか買えない。

（３）フードバンク活動の認知度（問８－３）

問８－３ 生産・流通・消費などの過程で発生する未利用食品を寄付してもらい、必要としている人や施設等に提供する取組をフードバンク活動と言いますが、この活動に対するあなたの認知度についてお答えください。（〇は 1 つ）

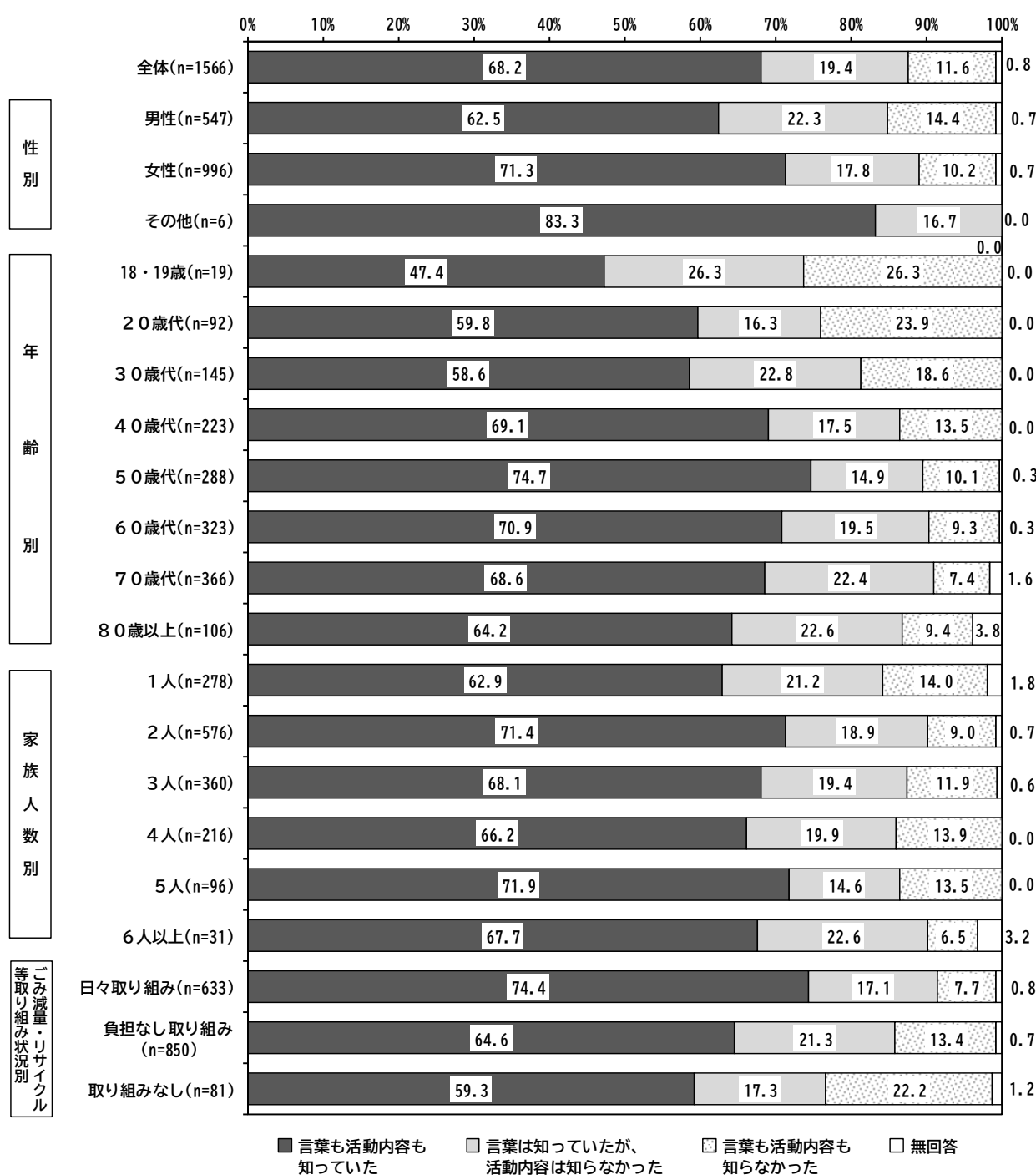
フードバンク活動についてみると、「言葉も活動内容も知っていた」が 68.2%、「言葉は知っていたが、活動内容は知らなかった」が 19.4%、「言葉も活動内容も知らなかった」が 11.6% となっています。

【全体及び経年推移】



- 「言葉も活動内容も知っていた」が令和2年の53.8%から令和5年は73.0%に増加しましたが、今回は令和5年から4.8ポイント減少し、68.2%となっています。

【属性別特徴】



- 性別にみると、女性では「言葉も活動内容も知っていた」は71.3%ですが、男性は62.5%と女性よりも8.8ポイント少なくなっています。
- 年齢別にみると、「言葉も活動内容も知っていた」は50歳代で74.7%と最も多くなっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みが積極的なほど、「言葉も活動内容も知っていた」が多くなっています。

7 紙類の分別について（問9）

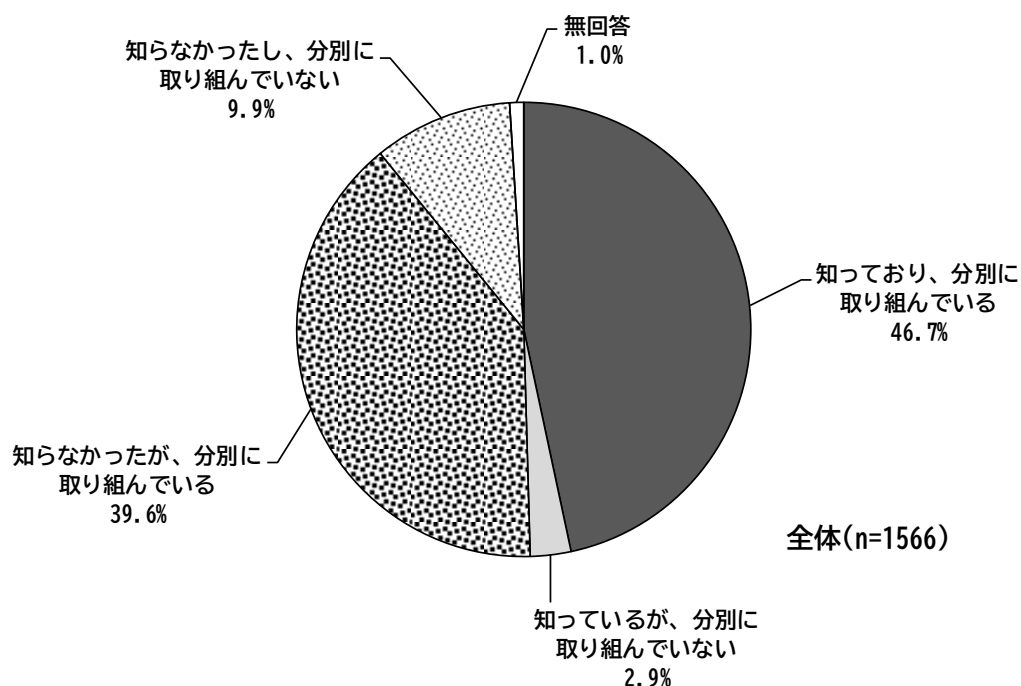
問9 紙類の分別についてお聞きします。

（1）「捨てんし大分！」の認知度（問9－1）

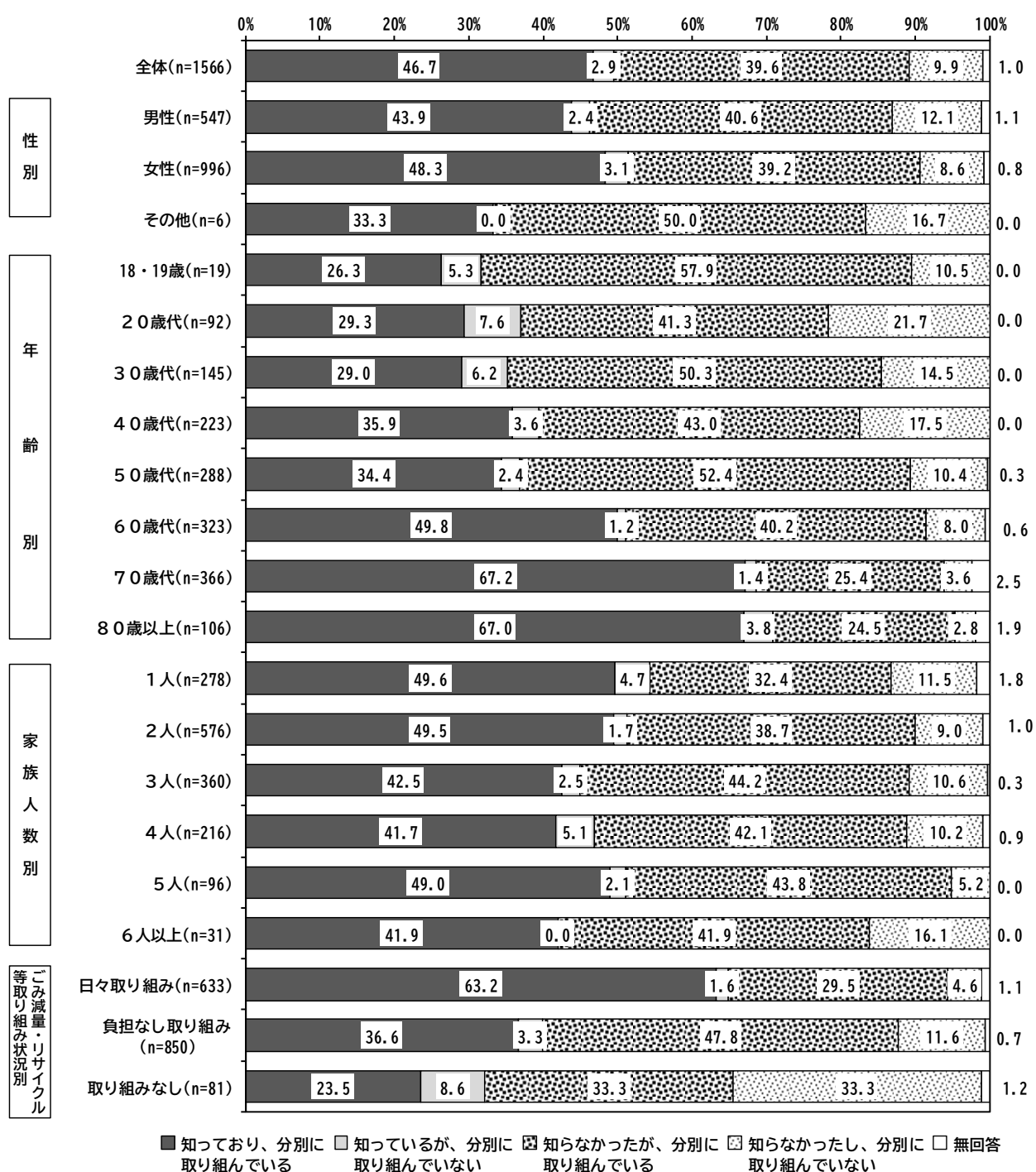
問9－1 令和7年度より、燃やせるごみに混入しているリサイクル可能な紙類を救う運動「捨てんし大分！」を推進しています。紙類のリサイクルと燃やせるごみの減量を目的に、紙類の分別に取り組んでもらう運動です。この運動に対するあなたの状況についてお答えください。（〇は1つ）

「捨てんし大分！」については、「知っており、分別に取り組んでいる」が46.7%、「知っているが、分別に取り組んでいない」が2.9%、これらを合計した認知率は49.6%となっています。また、「知らなかったが、分別に取り組んでいる」が39.6%、「知らなかったし、分別に取り組んでいない」が9.9%となっています。

【全体】



【属性別特徴】



- 性別にみると、女性では「知っており、分別に取り組んでいる」は48.3%ですが、男性は43.9%と女性よりも4.4ポイント少なくなっています。
- 年齢別にみると、50歳代以下では「知っており、分別に取り組んでいる」は2～3割台ですが、60歳代では49.8%、70歳代以上では6割台と多くなっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みが積極的なほど、「知っており、分別に取り組んでいる」が多くなっています。

「知っているが、分別に取り組んでいない」(2.9%)理由

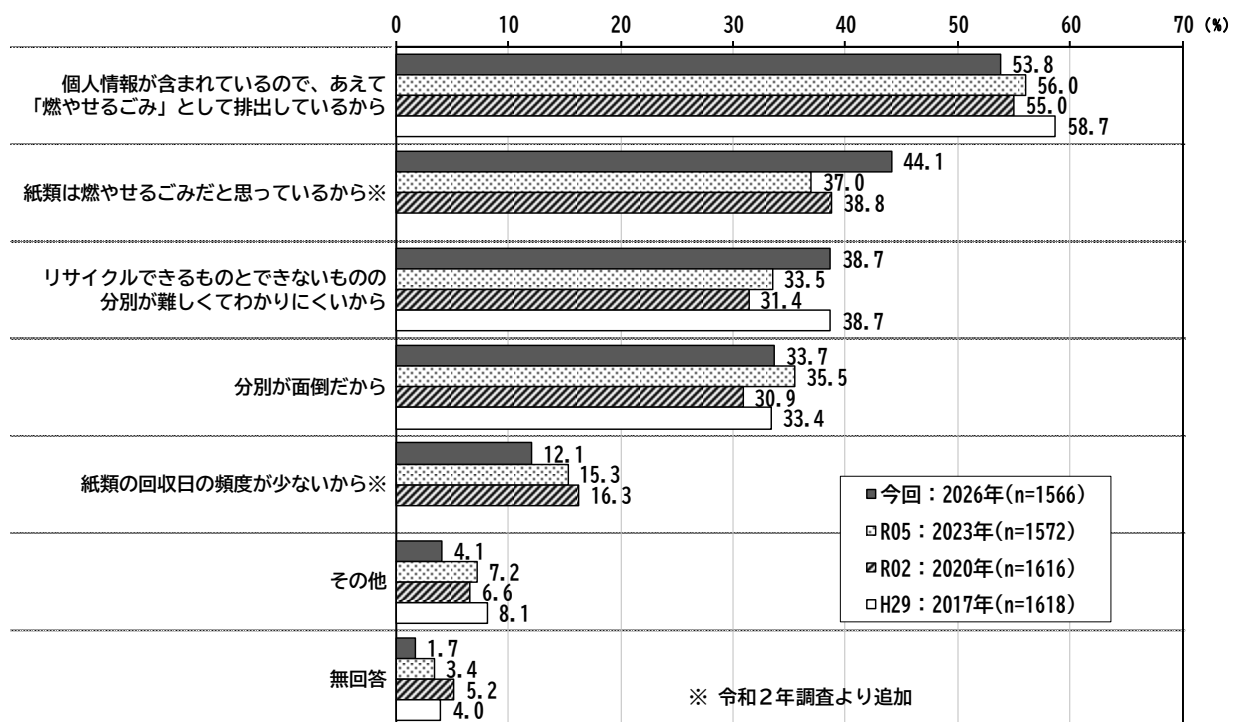
- 面倒(4)
- 面倒で燃えるゴミにだしてしまう。
- 牛乳パックを開いて、洗って、乾かして水切り作業を以前はしていたが、面倒になった。
- 広報が曖昧であり、分別の判断に迷うため。
- 個人情報等は小さく切って生ごみに出している。人に見られたら困る。
- ダンボールなどは分類しているが、ちょっとした紙類は燃やせるゴミとして出してしまう。
- 汚れたりして、結局可燃行き。
- 回収日が少ない、場所がわからない。
- 紙は燃やせると思っているから。
- 小さい物とか燃えるゴミで処理した方が家に残らないから。
- 清掃センターにゴミを持ち込んだ場合、不燃物や可燃物が同じ場所に投入されており、分別の矛盾を感じる。

(2)「燃やせるごみ」への混在について（問9－2）

問9－2 「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクル可能な紙類が約5%混在していますが、何が原因だと考えますか。（〇はいくつでも）

「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクルできる紙が混在している原因としては、「個人情報が含まれているので、あえて「燃やせるごみ」として排出しているから」が53.8%と最も多くなっています。次いで「紙類は燃やせるごみだと思っているから」（44.1%）、「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」（38.7%）、「分別が面倒だから」（33.7%）となっています。

【全体及び経年推移】



- 「紙類は燃やせるごみだと思っているから」が令和5年の37.0%から44.1%に7.1ポイント、「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」が令和5年の33.5%から38.7%に5.2ポイント増加しています。

【属性別特徴】

		サンプル数	「個人情報が含まれているから」として排出している	紙類は燃やせるごみだと思っているから	リサイクルの分別が難しいから	分別が面倒だから	紙類の回収日の頻度が少ないから	その他	無回答
全体		1566	843	690	606	527	190	64	27
		100.0	53.8	44.1	38.7	33.7	12.1	4.1	1.7
性別	男性	547	244	246	226	163	50	31	5
		100.0	44.6	45.0	41.3	29.8	9.1	5.7	0.9
	女性	996	586	433	375	361	138	32	21
		100.0	58.8	43.5	37.7	36.2	13.9	3.2	2.1
年齢別	その他	6	3	3	1	1	-	1	-
		100.0	50.0	50.0	16.7	16.7	-	16.7	-
	18・19歳	19	11	5	8	5	1	-	-
		100.0	57.9	26.3	42.1	26.3	5.3	-	-
年齢別	20歳代	92	33	64	33	36	15	-	-
		100.0	35.9	69.6	35.9	39.1	16.3	-	-
	30歳代	145	69	68	58	64	26	6	-
		100.0	47.6	46.9	40.0	44.1	17.9	4.1	-
	40歳代	223	117	104	103	95	41	6	-
		100.0	52.5	46.6	46.2	42.6	18.4	2.7	-
	50歳代	288	157	136	120	127	48	10	2
		100.0	54.5	47.2	41.7	44.1	16.7	3.5	0.7
年齢別	60歳代	323	189	137	132	102	32	9	2
		100.0	58.5	42.4	40.9	31.6	9.9	2.8	0.6
	70歳代	366	218	134	118	82	18	26	12
		100.0	59.6	36.6	32.2	22.4	4.9	7.1	3.3
	80歳以上	106	48	41	33	16	9	6	10
		100.0	45.3	38.7	31.1	15.1	8.5	5.7	9.4
家族人数別	1人	278	139	113	124	84	32	8	10
		100.0	50.0	40.6	44.6	30.2	11.5	2.9	3.6
	2人	576	308	254	209	185	60	30	9
		100.0	53.5	44.1	36.3	32.1	10.4	5.2	1.6
	3人	360	196	169	136	127	43	16	4
		100.0	54.4	46.9	37.8	35.3	11.9	4.4	1.1
	4人	216	117	103	87	83	36	5	3
家族人数別		100.0	54.2	47.7	40.3	38.4	16.7	2.3	1.4
	5人	96	62	39	36	36	15	2	-
		100.0	64.6	40.6	37.5	37.5	15.6	2.1	-
	6人以上	31	16	9	13	10	4	2	-
		100.0	51.6	29.0	41.9	32.3	12.9	6.5	-
状況別	日々取り組み	633	350	265	207	211	70	28	14
		100.0	55.3	41.9	32.7	33.3	11.1	4.4	2.2
	負担なし	850	465	387	366	293	112	32	12
	取り組み	100.0	54.7	45.5	43.1	34.5	13.2	3.8	1.4
状況別	取り組みなし	81	27	38	32	23	8	4	-
		100.0	33.3	46.9	39.5	28.4	9.9	4.9	-

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「個人情報が含まれているので、あえて「燃やせるごみ」として排出しているから」は44.6%ですが、女性では14.2ポイント多い58.8%となっています。
- 年齢別にみると、20歳代では「紙類は燃やせるごみだと思っているから」が69.6%と多くなっています。また、30～50歳代では「分別が面倒だから」が4割台と多くなっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みに積極的なほど「個人情報が含まれているので、あえて「燃やせるごみ」として排出しているから」、取り組みに消極的なほど「紙類は燃やせるごみだと思っているから」が多くなっています。

紙類が混在している「その他」(4.1%)の内容

- 汚れた紙を可燃に。
- 汚れたものは出せない。
- 汚れている紙だから。
- 汚れている場合、可燃に排出している。
- 汚れているものはリサイクルに入れてはいけないから。
- 汚れて汚いものだけを燃えるごみに入れます。
- 少しでも汚れていると可燃物として出すから。
- 汚れた紙だから。
- 汚れているから
- 汚染している物は、燃えるごみに出している。
- 紙が汚れている時等は燃やせるごみへ。
- 洗わないと出せないものもあり、水資源の無駄との兼ね合いを考えるから
- 洗わずに分別する。
- 私はシュレッダーで処理しています。段ボール箱でも可燃ごみで出だしているのを見ます。
- 個人情報等の物はシュレッダーで処理していて、古紙の時にしている。
- シュレッダーを持っていないため。
- アルミのメッキの紙等が分別しにくい。
- 今、数カ所に紙類のみの捨て場があり、使用している。
- 衣類などタグが多くて、ちょっと加工されている物とかあるから、紙類として出せないから。
- 紙の中にリサイクルに出してはいけない物があるけど分かりにくい。
- 紙類が無いとごみも燃えないのではと思っている。
- 紙類と標示していても、プラの量が多い物、紙認識できない物は燃やせるごみで出す。飲料の内側がアルミは大分市は紙類としていないですね。
- 紙類はごみを出す時に少量のため、一緒に入れる時がある。溜めておかない。広告がほとんどポストに入る。いらなと思うが入っている。
- 牛乳パックは洗ってはさみで切りたいけど、右手の親指が痛いので仕方なく足で踏んで、燃やせるごみに出している。もったいないと思いながら。
- 牛乳パックを紙類で出していたが、水に溶けないから出してはいけないと言われたことがある。本当なのか分からない。
- 古紙の日まで集めて、その日に分別して出している。
- 個人情報が含まれる物は、全て風呂のかまどにて燃やしている。
- ごみステーションが坂道の下にあり、高齢になり足腰悪くなり、以前のように気軽に出せなくなってしまった。重い物、かさばる物、紙類など玄関前まで収集して頂けると助かります。
- 自己判断によりできると思っているが、燃やせるごみとして処理してもらった方が安心だから。
- 自分は常に分別しているが、汚れてしまったプラ等の捨て方が難しい。
- 住居スペースが狭くて、紙類はかさばるので置き場がない。頻度は今のままでいいと思います。
- 少量すぎるメモやチラシなど。
- 新聞、ダンボール等は分別がわかりやすい。
- そんなに紙類は出ないので燃やすゴミで出している。
- 小さな物が多い。
- 地区内の有価物活動に出している。
- ティッシュ、手拭き紙タオル等使用した物がリサイクル可能か不明。

紙類が混在している「その他」(4.1%)の内容(続き)

- どんな風にリサイクルされているのか分からないから。現場を見学してみたい。
- ハガキほどの小さい紙だと古紙なのかが分からないから燃えるゴミに分別してしまう。
- 封筒の窓口が付いている物で、セロファン、ビニールが付いている物は、面倒で燃やせるゴミに入れてしまう。
- 明確標示するようにすれば。
- メモ帳等、小さな物や飴などの小さな箱がまとまりにくいので、燃やせるゴミに入れてしまう。
- 燃やせるゴミと思っているからなのか、外から見えないように新聞紙でカバーしている方がいる。
- リサイクルそのものに完全に同意はしていない。
- リサイクルでも汚れている物は燃やせるゴミとして処理する。
- 紙に合成樹脂フィルムをコーティングした素材は分別できない。
- 濡れたり汚れたため。
- 複写用紙や感熱紙、匂いの強い紙など、リサイクル不可の禁忌品が意外と多くて分かりづらいから。
- 分別の必要性を感じていない人が多いから。
- 分別もできない低脳が多いから。
- 無駄な広告が郵便受けに入るから。
- そもそも知らないから。
- 分からない。
- 対応しているものには分かりません。

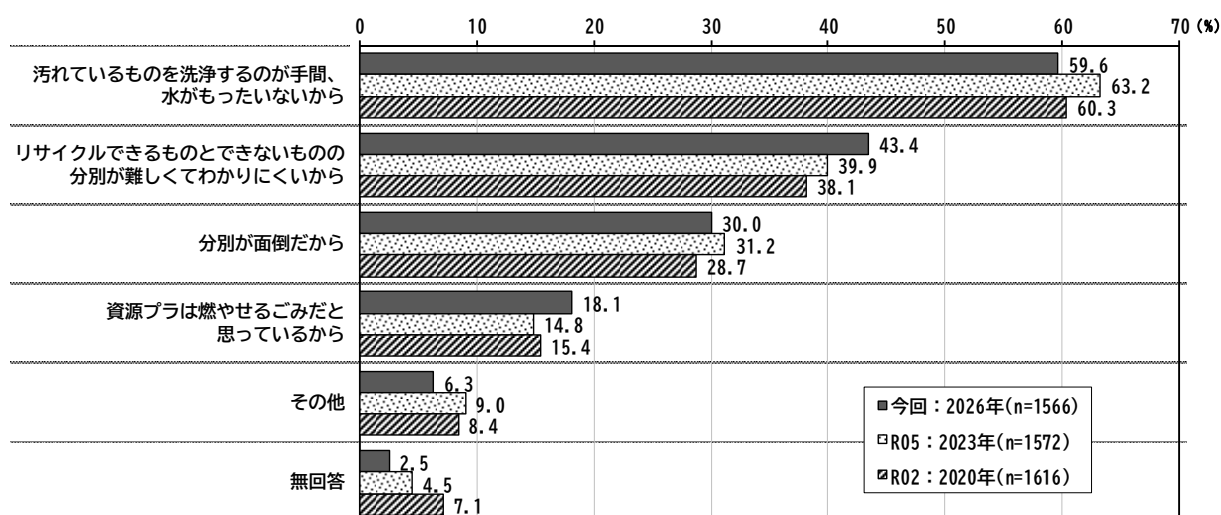
8 資源プラの分別について（問 10）

問 10 資源プラの分別についてお聞きします。

「燃やせるごみ」の中には依然としてリサイクル可能な資源プラが約5%混在していますが、何が原因だと考えますか。（〇はいくつでも）

「燃やせるごみ」の中には資源プラが混在している原因としては、「汚れているものを洗浄するのが手間、水がもったいないから」が 59.6%と最も多くなっています。次いで「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」（43.4%）、「分別が面倒だから」（30.0%）、「資源プラは燃やせるごみだと思っているから」（18.1%）となっています。

【全体及び経年推移】



- 「リサイクルできるものとできないものの分別が難しくてわかりにくいから」が増加傾向にあります。

【属性別特徴】

		サンプル数	が汚れているもの、を洗 うための時間、から	分別が難しいから	リサイクルできるもの	分別が面倒だから	資源は燃やせる ごみだと思ってる	その他	無回答
全体		1566 100.0	933 59.6	679 43.4	470 30.0	284 18.1	98 6.3	39 2.5	
性別	男性	547 100.0	278 50.8	242 44.2	153 28.0	106 19.4	33 6.0	9 1.6	
	女性	996 100.0	642 64.5	428 43.0	314 31.5	173 17.4	62 6.2	28 2.8	
	その他	6 100.0	5 83.3	3 50.0	1 16.7	- -	1 16.7	- -	
年齢別	18・19歳	19 100.0	12 63.2	7 36.8	3 15.8	2 10.5	1 5.3	- -	
	20歳代	92 100.0	47 51.1	34 37.0	37 40.2	23 25.0	2 2.2	- -	
	30歳代	145 100.0	98 67.6	53 36.6	58 40.0	27 18.6	7 4.8	- -	
	40歳代	223 100.0	149 66.8	99 44.4	85 38.1	33 14.8	8 3.6	- -	
	50歳代	288 100.0	195 67.7	125 43.4	103 35.8	48 16.7	16 5.6	4 1.4	
	60歳代	323 100.0	198 61.3	159 49.2	96 29.7	64 19.8	18 5.6	4 1.2	
	70歳代	366 100.0	191 52.2	160 43.7	68 18.6	66 18.0	33 9.0	18 4.9	
	80歳以上	106 100.0	41 38.7	40 37.7	19 17.9	21 19.8	13 12.3	12 11.3	
家族人数別	1人	278 100.0	152 54.7	128 46.0	79 28.4	58 20.9	11 4.0	13 4.7	
	2人	576 100.0	315 54.7	251 43.6	165 28.6	112 19.4	41 7.1	17 3.0	
	3人	360 100.0	231 64.2	152 42.2	109 30.3	62 17.2	27 7.5	6 1.7	
	4人	216 100.0	144 66.7	93 43.1	74 34.3	32 14.8	8 3.7	2 0.9	
	5人	96 100.0	66 68.8	39 40.6	32 33.3	16 16.7	6 6.3	- -	
	6人以上	31 100.0	18 58.1	15 48.4	9 29.0	3 9.7	4 12.9	- -	
ル等 取 組 み の 状 況	日々取り組み	633 100.0	371 58.6	259 40.9	204 32.2	123 19.4	48 7.6	19 3.0	
	負担なし	850 100.0	526 61.9	385 45.3	249 29.3	144 16.9	45 5.3	18 2.1	
	取り組みなし	81 100.0	35 43.2	34 42.0	17 21.0	17 21.0	5 6.2	1 1.2	

(注) 太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「汚れているものを洗淨するのが手間、水がもったいないから」は50.8%ですが、女性では13.7ポイント多い64.5%となっています。
- 年齢別にみると、18・19歳、30～60歳代では「汚れているものを洗淨するのが手間、水がもったいないから」が6割台と多くなっています。
- 家族人数別にみると、3～5人世帯では「汚れているものを洗淨するのが手間、水がもったいないから」が6割台と多くなっています。

資源プラが混在する「その他」(6.3%)の内容

- 汚れが落ちない。そのために洗浄洗剤、汚水になる。
- 汚れが落ちない物は燃やせるごみと思っている。
- 汚れが落ちにくいから。
- 汚れが強い物、油が付いている物は燃えるごみに出している。
- 汚れが取れにくい物（ドレッシング、マヨネーズ等）。
- 汚れが酷く落としようがない物は、燃やせるごみに出します。
- 汚れすぎているので、燃やせるごみとして出している。
- 汚れすぎで燃やすしかない。
- 汚れているから。
- 汚れているものを洗浄してもなかなか落ちないものは、燃やせるごみに出している。
- 汚れの少ない物は洗って出します。
- 汚れの程度で燃やせるごみに入れたり、洗って資源プラに入れたりしている。
- 汚れの取れない物は可燃物で出す。
- 汚れの酷いものは燃やせるごみと最初に聞いていたから。
- 汚れが取れない時がある。
- 汚れたプラは洗浄しているが、落ちない汚れた物はリサイクルに出さない。
- 洗っても油など汚れが落ちない物もあるから。
- 洗っても落ちない時は燃やせるごみへ。
- 洗っても落ちにくい物は燃えるごみに入れています。肉類はプラではなく袋だけに入れてもいいのではないかと考えていますが、包装が過剰すぎて、中身の割に包装の袋が大きすぎる等々。
- 洗浄してもうまく取れない物がある。油、マヨネーズ、チューブの調味料。
- 洗浄してもきれいに汚れが取れないプラがあり、洗剤がもったいない時は燃やせるごみに出します。
- 洗浄できない物があるから。
- 油汚れを落としても若干のぬめり、匂い等がある場合、リサイクルになるのかと思う。革製品が燃やせるごみなら、プラなら早く焼却できるのかと思う。
- 水洗いしてもきれいにならない。
- 水で洗っても落ちない。
- 自分は洗って捨てているが、たしかに洗浄等は大変な気がする。水道代、洗剤等で負担になる。
- 酷く汚れている物は燃やせるごみで出している。
- 洗剤、水、高いですから。
- 洗剤、薬品、油類は洗浄しても出せないと聞いたことがある。半信半疑なので時々資源プラで出している。すみませんでした。
- どこまで綺麗に洗ったらプラとして出せばいいか分からないから。
- どの程度の油等の汚れを洗浄すればよいのか分からない。油容器、バター容器、ケチャップ、マヨネーズ容器等。
- マヨネーズの容器など、きれいに洗うのが難しいものも多いから。
- コーヒー、ジュース等洗っていない。
- 資源プラは汚れている物は洗浄し、プラスチックの廃プラに出している。汚れの酷い物は燃やせるごみに出している。

資源プラが混在する「その他」(6.3%)の内容

- 資源プラの中には剥がしにくいシールが多い。そういう所にも資源プラとしての認識を伝えるべきだと思います。
- 資源プラのリサイクルはどのような物になりますか。また、そのリサイクルによって、国民生活にプラスになる件を標示していただきたい。
- 資源プラは燃やせないと思っています。
- 資源プラリサイクルの実質的な環境対策にプラスとは言い切れない。プラのマークが分かりにくい商品がある。
- プラバンドがプラスチック再生ごみでない理由が分からない。
- プラは石油製品であり可燃の材料にもなる。破碎などでリサイクルすると軽量し飛散し海上散布になると海洋汚染になるし生態系に影響があるから、可燃が良いと思う。個人的な考えです。
- プラ類はいつも分別しており、プラだけの回収日に出しています。
- プラを燃やしている費用と、リサイクル費の比較等ができないし分からない。
- フタ、ラベルには表示があるが、本体にプラマークがないものは、燃えるごみとして出す事が多い。
- 紙かプラか分からない物がある。
- 分別が面倒と言っている人がいる。我が家は分けていることで笑われた。
- 意識が低いから。
- 一応洗浄するが、油が残っていたり汚い事が多いので、つい燃やせるごみに入れてしまう。
- 回収する時間が早い。
- カップやボトル等の紙が剥がしにくいものがある。カラシ、わさび、歯磨き粉等、中身をきれいにするのが難しい。
- 気をつけてやっているつもり。
- ごみを長く保管したくない。
- ごみを燃やす時の燃料になるという話もあるから。
- できるだけ分別しているが、プラマークが分かりにくい場合がある。
- 手間掛けて意味のある工程に繋がっているのか、いないのかについて、自発性や共感に喚起する広報活動が実現できていないから。
- 生ごみと資源プラも一緒に出せる所もある。県外。面倒な所もある。
- 臭いのする物をその臭いを消すために、水を使うのはどうかといつも迷い、燃やせるごみに入れたりする。
- 肉、惣菜、弁当等のパックは洗ってリサイクルに入れている。
- パッケージシールのみが紙になって剥がしても残る。完全にが難しい。
- 品質表示シール、価格シールなどが剥がれない。他県は取りやすいラベルになっているが。
- プラゴミの回収、リサイクルに使われる燃料の方がプラゴミから回収される燃料より多いだろうし、プラスチックは焼却炉で燃料の代わりになるから。
- マイクロプラスチックの問題 燃やした方が安全という話も聞く。
- 燃やせるごみに多少プラが入っていた方がよく可燃すると、国会議員が言っていた影響もありそう。
- リサイクルできる状態かどうかの判別が難しい。

資源プラが混在する「その他」(6.3%)の内容(続き)

- 実際に資源として、リサイクルされている割合が少ないから。多くは燃やされていると聞いている。燃やせるごみ袋の値段を高くすると考えるのでは。
- 若い方は親世代を手本としますので、やっていない家庭の子はやらないかも。
- 原材料表示等の紙素材のシールが、プラにしっかりと貼り付けてあり、剥がれないことが多い。
- 高齢の方々は、分別が分からずにまとめて燃えるゴミに入れている可能性があると思う。
- 都会はプラも燃えるゴミと一緒にだすから。
- 分別していますが、油汚れや汚れの落ちないものは燃やせるごみへ捨てます。
- きちんと処理して資源プラとして 100%出しています。
- 周知不足
- 食品トレーなど 1~2 枚の時や、カップ麺などは燃やせるごみに捨てる。
- 対応しているものには分かりません。
- 保管スペース
- 分別はしっかり行っている。
- 分からない。
- 分別したごみを置くスペースがないので困る。
- 分別の必要性を感じていない人が多いから。
- 分別もできない低脳が多いから。

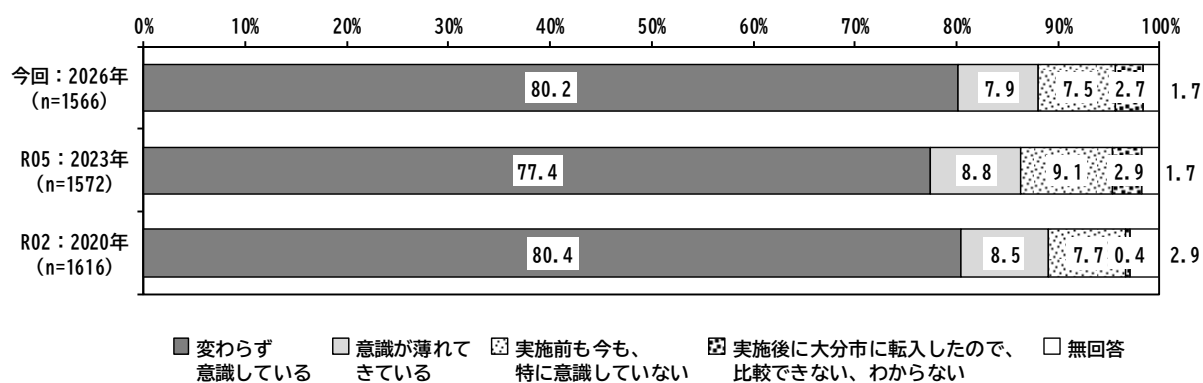
9 ごみ減量やリサイクルについての意識の変化（問 11）

問 11 家庭ごみ有料化制度が実施され 11 年が経過しました。

ごみ減量やリサイクルについてのあなたの意識の変化についてお答えください。（○は 1 つ）

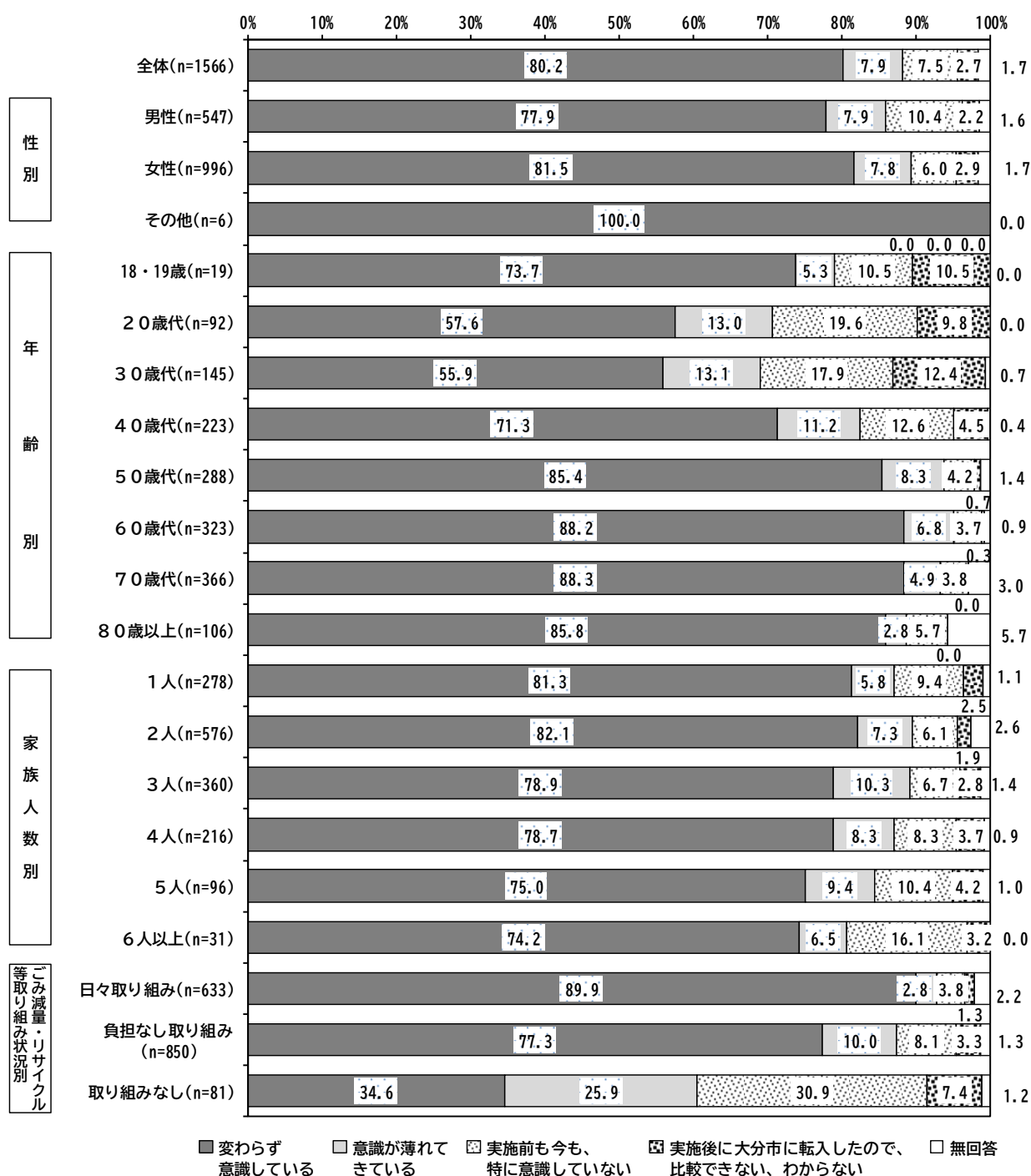
ごみ減量やリサイクルについての意識の変化をみると、「変わらず意識している」が 80.2%と圧倒的に多く、「意識が薄れてきている」が 7.9%、「実施前も今も、特に意識していない」が 7.5%「実施後に大分市に転入したので、比較できない、わからない」が 2.7%となっています。

【全体と経年推移】



- 「変わらず意識している」は令和2年の80.4%から令和5年は77.4%と3.0ポイント減少しましたが、今回80.2%に2.8ポイント増加しています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、20歳代、30歳代では「変わらず意識している」が5割台に少なくなっています。
- 家族人数別にみると、人数が多くなるほど「変わらず意識している」が少なくなり、「実施前も今も、特に意識していない」が多くなる傾向にあります。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みに積極的なほど、「変わらず意識している」が多く、消極的なほど「意識が薄れてきている」が多くなっています。また、取り組んでいない層では「実施前も今も、特に意識していない」が30.9%と多くなっています。

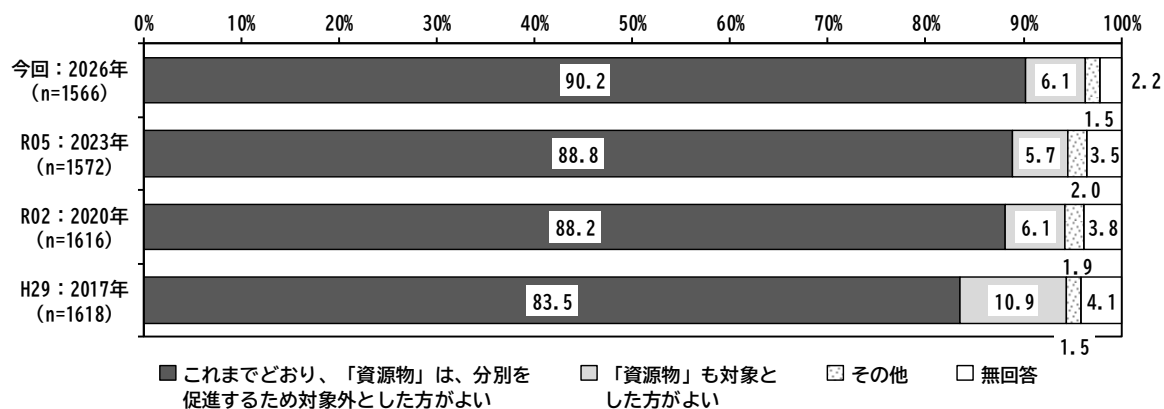
10 家庭ごみ有料化の対象となるごみについて（問12）

問12 本市では、家庭から出るごみのうち、燃やせるごみ、燃やせないごみを有料化の対象とし、資源物については有料化の対象外としています。

家庭ごみ有料化の対象となるごみについてどう思いますか。（○は1つ）

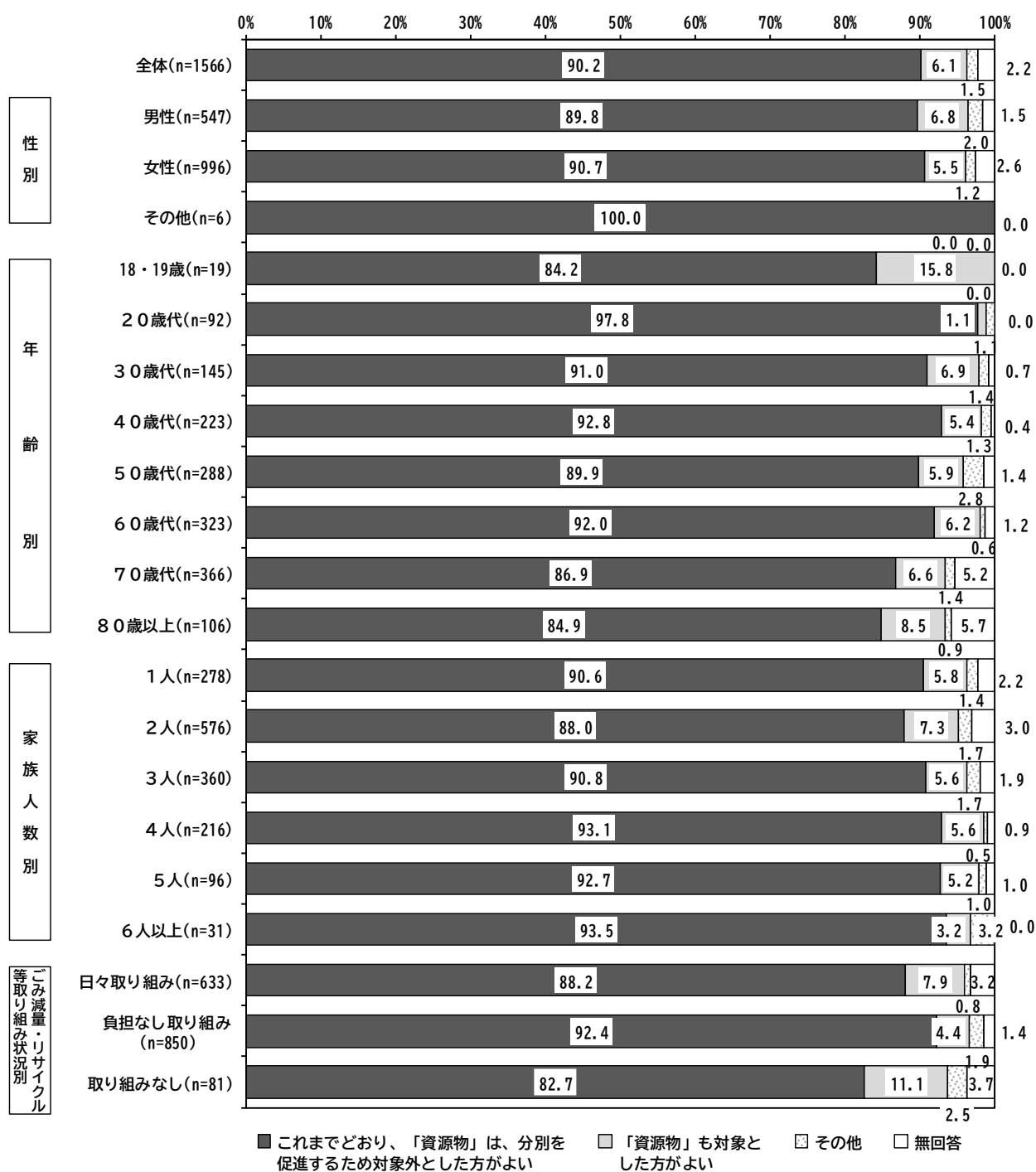
家庭ごみ有料化の対象となるごみについてみると、「これまでどおり、「資源物」は、分別を促進するため対象外とした方がよい」が90.2%、「資源物」も対象とした方がよい」は6.1%となっています。

【全体と経年推移】



- 「これまでどおり、「資源物」は、分別を促進するため対象外とした方がよい」が増加傾向にあり、今回初めて9割台となっています。

【属性別特徴】



- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、負担なし取り組み層で「これまでどおり、「資源物」は、分別を促進するため対象外とした方がよい」が92.4%と多くなっています。

資源ごみ有料化について「その他」(1.5%)の内容

- 有料化しなくて良い。
- 有料化となれば、可燃物の中に入れて出す人が増えるのではないか。
- 有料化とは袋の購入の事ですか。
- 有料化反対。ごみ袋にはお金がかかっている。
- 油も高いので、燃やせる物は燃やした方がコストダウンになるのでは。
- 大分市はペットボトル以外のプラごみについては、結局、可燃ごみと同じ処理をすると業者から聞いた。何のための分別なのか。リサイクルされないのに分別をと表面上大分市が促進する意図が不明。
- 可燃ごみ、不燃ごみの排出も市民生活の一環であるため、無償化した方がよい。
- ゴミ袋の有料化は嬉しくないが、ごみの削減には寄与していると思う。
- 生活苦の世帯には負担があるのではと心配になる。
- 税収が不足しているのなら対象とした方がよい。
- 袋の値段を（10枚入1組）10円上げたらよいのではないか。
- 今は物価高騰があるし、年金生活者の事を加味して今は資源ゴミ有料化すべき時期ではないと考える。
- 資源化するための手間を市民に課しているし、業者の処理費用のために有料化するのは、二重取りになるため、今までどおり対象外としなければいけないと思う。
- むしろ一本化してほしい。燃えるごみ、燃えないごみを合流して捨てる。
- 何にせよ有料は家計圧迫になるからダメ。
- どちらでもよい。
- 分からない。

11 指定有料ごみ袋について

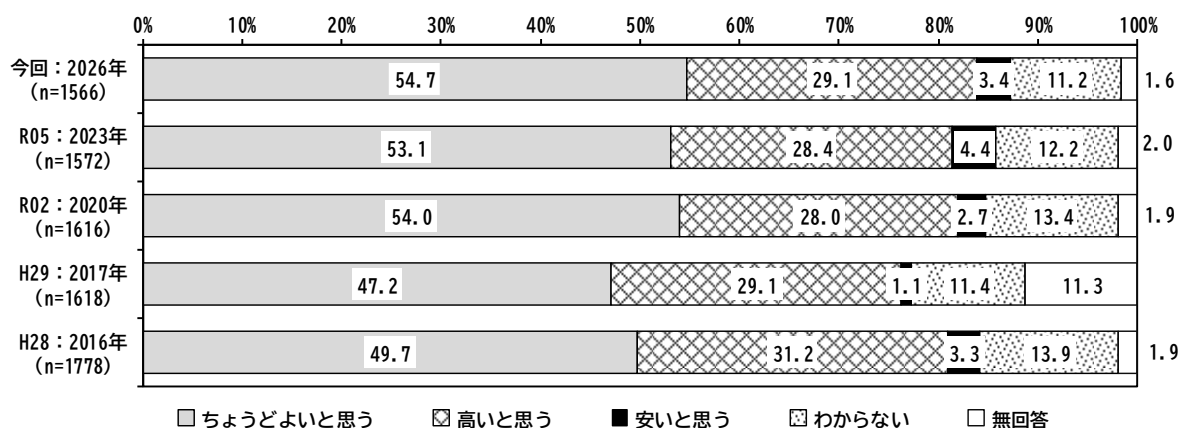
問 13 指定有料ごみ袋に関することについてお答えください。

(1) 指定有料ごみ袋の値段 (問 13-1)

問 13-1 あなたは指定有料ごみ袋の値段についてどう思いますか。(〇は1つ)

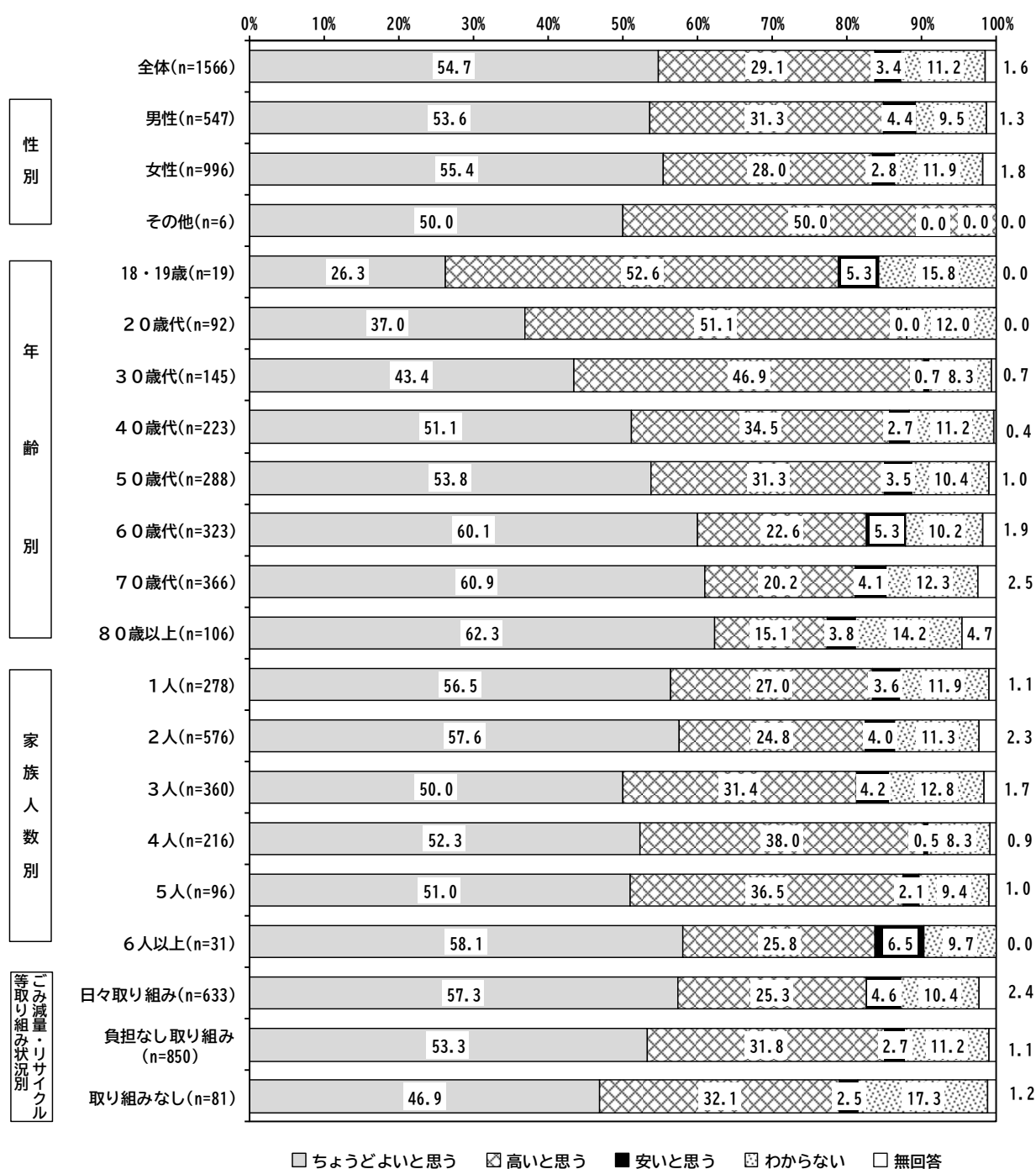
指定有料ごみ袋の値段については、「ちょうどよいと思う」が54.7%と半数強を占めています。「高いと思う」は29.1%、「安いと思う」は3.4%、「わからない」は11.2%となっています。

【全体と経年推移】



- 令和2年以降は、「ちょうどよいと思う」が半数を超えて、「高いと思う」が3割弱で推移しています。

【属性別特徴】



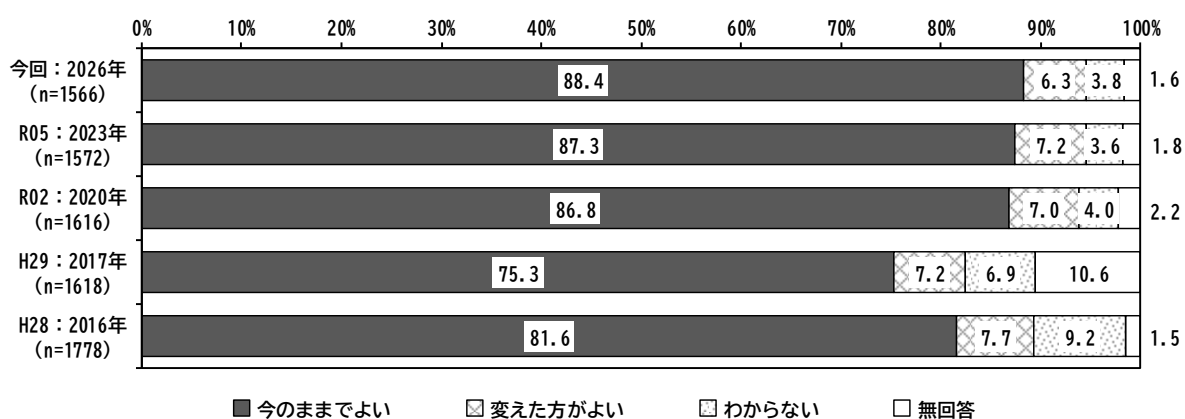
- 年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ちょうどよいと思う」が多くなり、年齢が低くなるほど「高いと思う」が多くなっています。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みが積極的なほど「ちょうどよいと思う」が多く、消極的なほど「高いと思う」が多くなっています。

(2) 指定有料ごみ袋の種類（大きさ）（問 13-2）

問 13-2 指定有料ごみ袋の種類（大きさ）についてどう思いますか。（○は1つ）

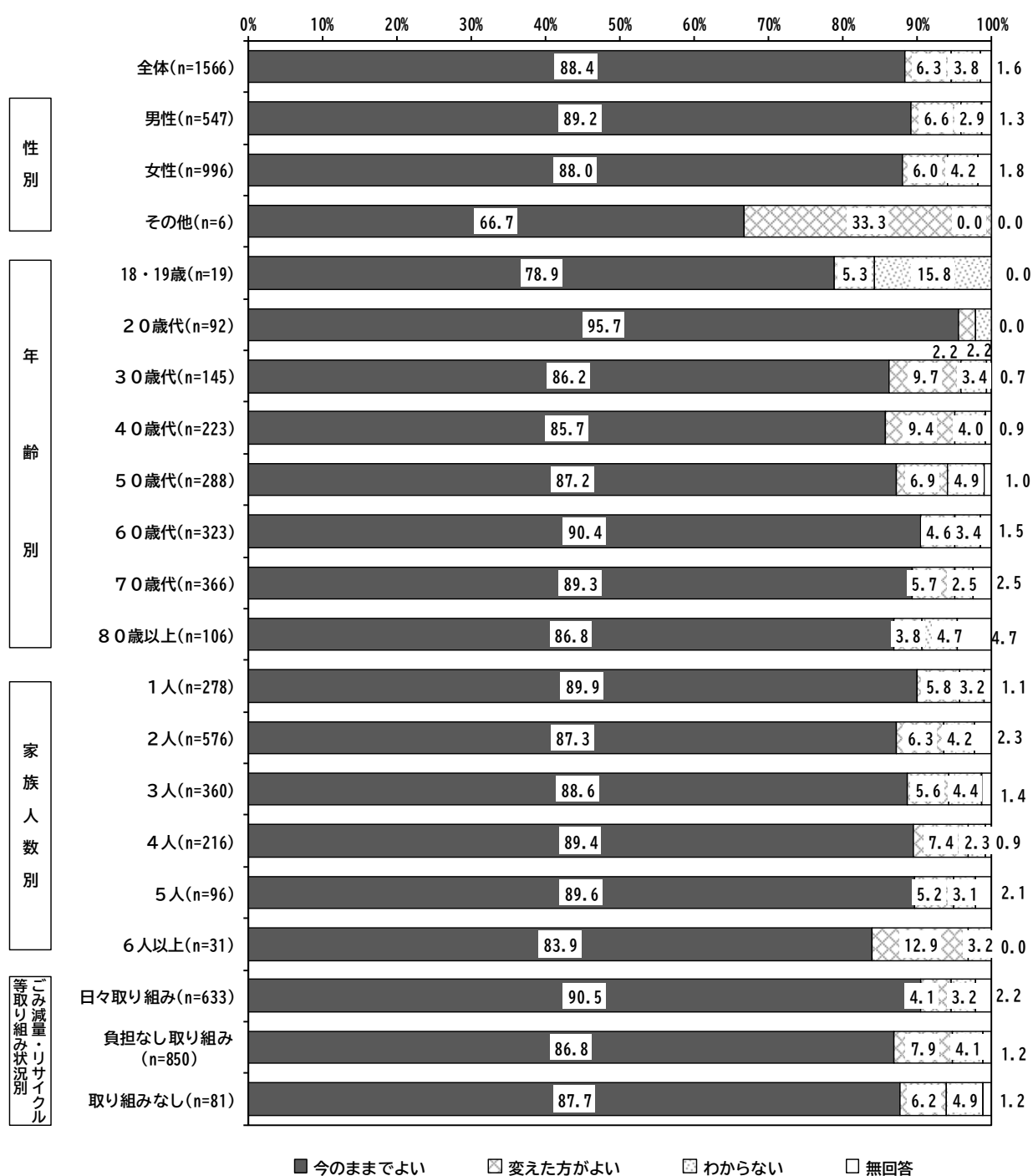
指定有料ごみ袋の種類（大きさ）についてみると、「今のままでよい」が88.4%と圧倒的に多くなっています。「変えた方がよい」は6.3%、「どちらでもよい」は3.8%となっています。

【全体と経年推移】



- 令和2年以降、「今のままでよい」の微増傾向が続いています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、20歳代で「今のままでよい」が95.7%と多くなっています。

指定有料ごみ袋の種類(大きさ)を「変えた方がよい」(6.3%)の内容

- 10ℓでは少し小さい。20ℓでは少し大きい。できれば15ℓがあったらと思います。
- 10ℓと20ℓの間がほしい。
- 10ℓを12ℓに。
- 15ℓ、25ℓ、35ℓ、40ℓを追加して5ℓ刻みとする。
- 15ℓがあると助かる。10ℓでは小さいが20ℓでは大きすぎる。10+5ℓにすると出しにくい。
- 15ℓがほしい。2人だと10ℓ小さく20ℓは大きい。
- 15ℓがほしいです。
- 15ℓ追加する。
- 15ℓとか25ℓがほしい。
- 15ℓのごみ袋追加がほしい。
- 15ℓの袋を作ってほしい。
- 15ℓを作ってほしい。
- 15ℓのサイズがほしい。
- 20ℓ、5ℓの袋は使っていないしなくていいと思う。
- 20ℓ～45ℓの間にも大きさがあればいいな。袋の隙間が余っていてもったいない。
- 35ℓと40ℓの袋がほしい。
- 40ℓと35ℓが欲しい。
- 45ℓ、20ℓ、5ℓの3種に集約すべき。
- 45ℓ以上がほしい。丈夫にしてほしい。破けやすい。
- 45ℓ以上の袋があればと思う。大きな不燃物で困る事がある。
- 45ℓ入りの袋を使う回数があまりない。
- 45ℓだと大きすぎて30ℓだと小さすぎる時があるので、40～35ℓの間を作ってほしいです。子育て世代の20ℓを無料配布はとても助かります。ありがとうございます。
- 45ℓと30ℓの差があるので、この間くらいのサイズがほしい。
- 45ℓよりも大きいサイズがほしい。
- 45ℓの袋に入らないものを捨てたいときがあるため。
- 45ℓよりも大きいのがほしい。
- 5ℓ→3ℓにして単価を抑える。
- 50ℓでどうか。
- 5ℓは小さくてあまり需要がない気がする。
- 5ℓと10ℓはいらない。
- 60ℓがあるとよい。
- 70ℓ、90ℓなどもあって良いと思う。
- 70ℓ、90ℓあれば便利かと思います。
- 70ℓもあると嬉しい。
- 7ℓ(10ℓと5ℓの間)
- 90ℓの袋があるとよい。
- いつも45ℓしか使っていない。小さいのは数を減らしてもよいのでは。
- 家庭によって差があると思いますが、我が家では小袋と特小袋の中間があると望ましい。15ℓ袋。

指定有料ごみ袋の種類(大きさ)を「変えた方がよい」(6.3%)の内容(続き)

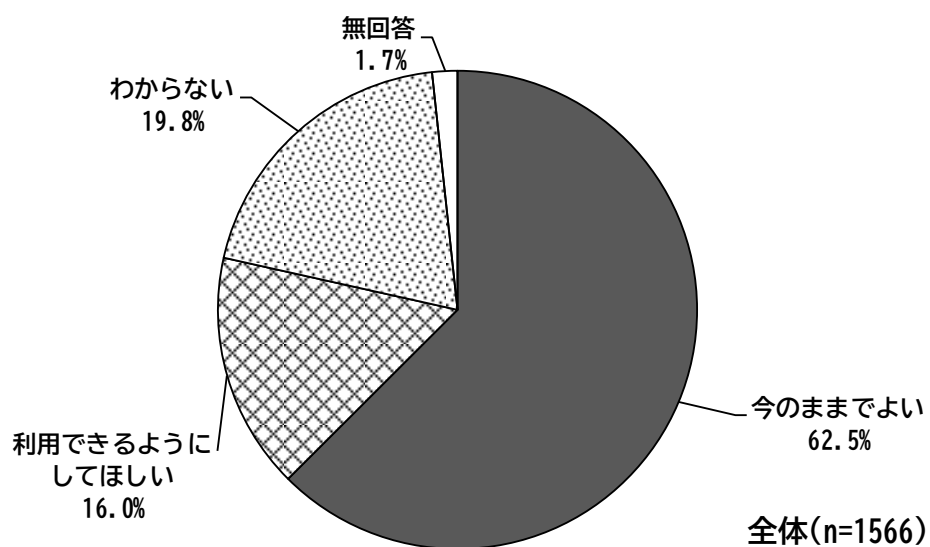
- 大きくする(2)
- もう1サイズ大きいものがほしい(2)
- もう少し、小単位での袋が欲しいです。
- もう少し大きい袋が良い。50ℓくらい。
- もっと丈夫な袋で、安くして欲しい。高齢者への価格の負担を減らすような工夫をして欲しい。
- もっと大きいゴミ袋にした方がゴミを沢山入れられて捨てる回数が減り、ゴミ収集の方の負担が減ると思ったから。
- コスパが悪い
- ごみ袋の値段を上げる。
- サイズがたくさんありすぎなのかなあ。と、思います。
- サイズを3サイズ位にしても。
- 種類をもっと増やしてはどうか。
- 小さい物はいらない。
- 中間を増やした方がよい。小をもう少し分類。
- 中袋や大袋はあまり使わないから。
- 大きさはよいが、材質が破れやすい。丈夫にしてほしい。熊本はもっと丈夫にできている。直ぐ裂けたりする。
- 不燃物など45ℓにおおまかに入っていればよいとありますが、45ℓではおおまかに入りきれないため。
- 枚数が少なめで70ℓのものがほしい。
- めんどくさい。
- 破れやすく質がよくないので、もう少し丈夫にしてもらいたい。
- 口を大きくしてほしい。
- 使用数が極端に少ない種類は廃止するべき。
- 小さいのはいらない。45ℓだけでいい。
- 小さい袋を安くしたほうがいい。
- 場合によっては45ℓが小さすぎる時があるのももう少し大きい袋も必要である。
- 色々な物価が上がったため。
- 大きいごみは、有料ゴミ袋に入りきれない。
- 大きさの種類をもっと増やしてほしい。
- 大袋の上がほしい。
- 難しいかもしれませんが、15ℓ、25ℓなどもう少し小刻みにあるといい。
- 有料ごみ袋の値段ですが10枚の値段ですよ？
- 有料をやめるべき。
- 容量は同じでも形を縦長にするなどすると長尺物を入れるのに使いやすいと思います。

(3) 指定有料ごみ袋をレジ袋として利用について (問 13-3)

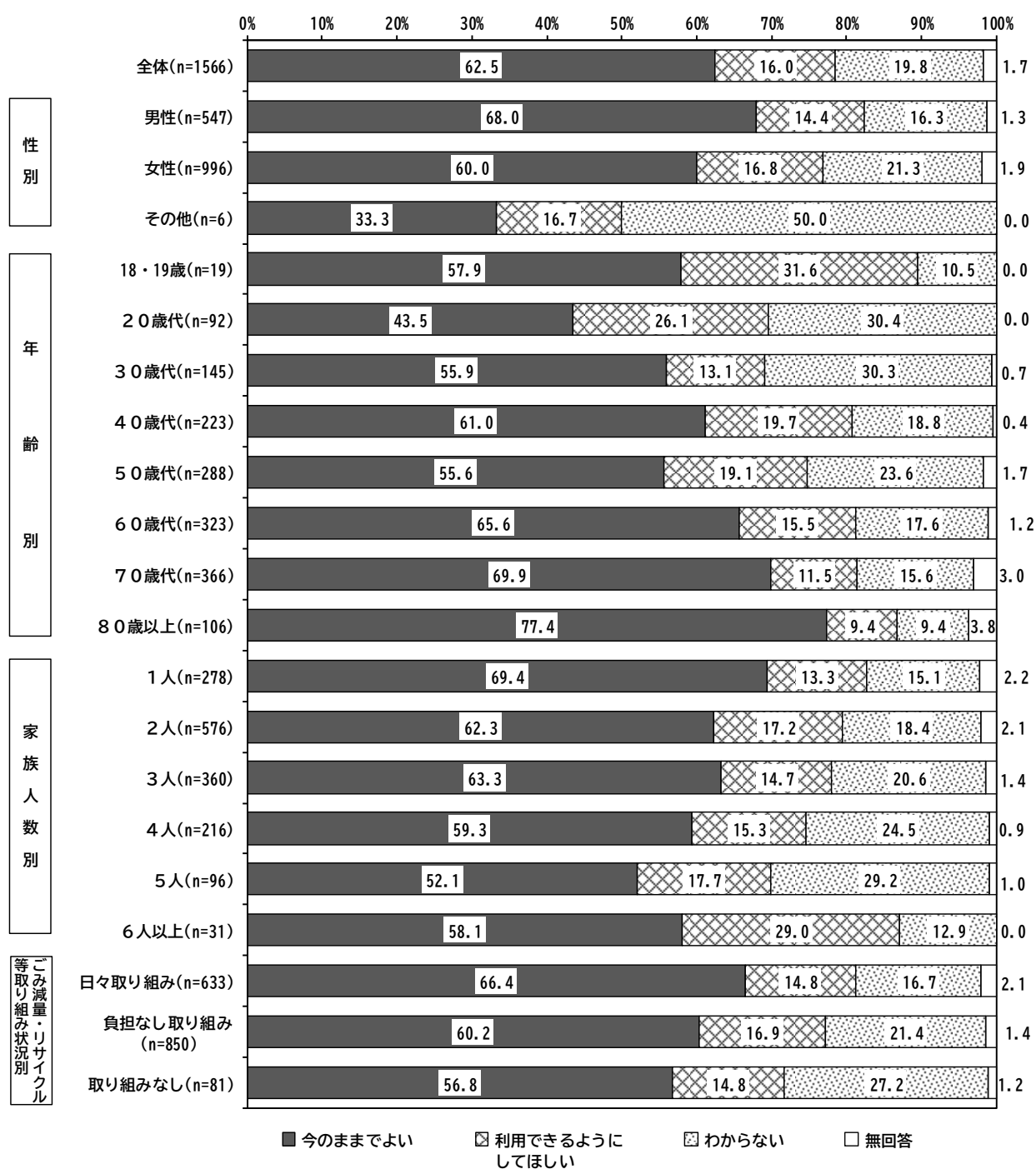
問 13-3 マイバックを忘れた時など、指定有料ごみ袋をレジ袋として利用できる自治体がありますが、どう思いますか。(○は1つ)

マイバックを忘れた時など、指定有料ごみ袋をレジ袋として利用できることについては、「今のままでよい」が62.5%と最も多く、「利用できるようにしてほしい」が16.0%「わからない」が19.8%となっています。

【全体】



【属性別特徴】



- 年齢別にみると、20 歳代以上では、年齢が高くなるほど「今のままでいい」が多くなる傾向にあります。
- 家族人数別にみると、人数が少なくなるほど「今のままでいい」が多くなる傾向にあります。
- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みが積極的なほど「今のままでいい」が多くなっています。

「利用できるようにしてほしい」(16.0%)の理由

- 便利(5)
- そのままゴミ袋として使えるから(4)
- 一石二鳥(3)
- 再利用できるから(3)
- 合理的(2)
- 無駄がなくなるから(2)
- ごみ袋として活用できるならよいと思う。
- ごみ袋として再利用できるから
- ごみ袋として再利用できるから。簡単に破れない素材にしてほしい。
- ごみ袋として使用できる。レジ袋の後処理が面倒。
- ごみ袋として使えるから。
- ごみ袋の意識があって使えてなかったが、店や自治体が推進してくれれば、マイバッグを忘れた時も一石二鳥的に指定有料ゴミ袋を買って、その場でレジ袋として活用できる。
- ごみ袋の買い忘れがなくなる。
- ごみ袋は必ず必要。レジ袋だとかみになる。
- ごみ袋を購入して、マイバッグとして商品を入れている人もたまに見かける。
- ゴミを出す時に再利用出来るから
- ゴミ出しに使えるから 1 枚から購入出来るメリット。ごみ袋としてそのまま利用できれば袋のムダが減ると思う。ただし、デザインは考えてほしい。通常の有料ごみ袋よりも、有料レジごみ袋用にオシャレなデザインにしてほしい。
- ゴミ袋が使えるれば、帰宅後ゴミ袋として利用できるからビニール袋の使用が減る。
- ゴミ袋として回収に出せるのがよい。
- ごみ袋として活用したいから。
- ゴミ袋として再利用できて、環境にやさしいから。
- ゴミ袋に、食品をいれるのは。いくら新しいものだとかわかっていても、抵抗がありますが、有料で袋を買うのだったら、ゴミ袋を買ってそれを使えるなら、生活の日用品などを買ったときなどは、便利かなあ。と、おもいます。
- ゴミ袋を有料化した意味が分からない。生ゴミなどはビニール袋に入れて捨てるから結局店で買うことになる。お金を払えば買っていいという意味が分からない。ただ理由をつけてお金をとっているだけ。買い物袋を今まで通り付けるならゴミ袋用に袋は買わない。どっちがエコか分からない。
- 家庭でゴミ袋として使える。
- 指定袋をその場で買って使用し、あとは再度指定袋として利用できるから。
- 指定有料ごみ袋だと、買い物後の再利用が無駄なく行えそうだから。
- 指定有料になるまでは、レジ袋を利用していたので便利だと思う。
- あとでゴミ袋として、使えるのは、いいと思う。
- 家に持ち帰り再利用できる。
- いつもマイバッグを忘れた時用に使い回しのレジ袋をバッグに入れておくといい。
- マイバッグが無い時に、ごみ袋を買ってマイバッグにした事がある。
- マイバッグは使用したあと、時々洗うのですが、指定ごみ袋だと使用した後、ごみ袋として使えるのでエコ。水道料金の事も。洗う時、どうにかならないかと思っていたので。
- エコバックを何度も使って、指定ゴミ袋にする方がエコバックを買わなくても良い。エコバックも結果としてゴミになるから減量化に繋がる。
- エコバックを忘れた場合、レジ袋を貰うこともあり、その後の利用として、ゴミ箱の袋にしたり、生ごみを入れる袋にしたりとしているので、ゴミ袋として活用できるのは、とてもいいと思うので、ぜひ、導入してほしい。

「利用できるようにしてほしい」(16.0%)の理由

- レジに置いてある袋を購入しなくて良いから。指定ごみ袋を購入しても 10 枚入っているので、その後も使用できる。
- レジ袋がごみになっている。指定有料ごみ袋であれば、ごみ捨ての際に再利用でき、1 枚当たりの値段が上がる事でマイバッグの持参率も上がると思う。
- レジ袋かごみ袋かを選べるとよいかも。
- レジ袋が高い。店はこれで儲かっている。
- レジ袋購入するのであれば無駄になるので、指定ごみ袋を購入して、その袋をごみ袋として利用すればよいと思います。
- レジ袋でごみを集めたりするので、1 枚で利用できるのは嬉しい。
- レジ袋として使用后、ごみ袋として再利用できるので。
- レジ袋として使った後、ごみ袋として使え無駄がない。
- レジ袋の削減につながり、指定有料ごみ袋も有効に使えるから。
- レジ袋の削減に繋がる。
- レジ袋はごみ袋になってしまうので、有料ゴミ袋でもよいかと思う。
- レジ袋は燃やせるごみとして出す事が多いので。
- レジ袋を買わなくてよいのならいいと思う。エコになる。
- レジ袋を生ごみを入れるため、別を買っている。臭気防止のためなど。
- レジ袋が少しでも減った方がよいと思うから。
- レジ袋として利用できるのは知らなかったですが、レジ袋が削減出来て良い。見た目を気にする方もいると思うのでレジ袋も継続する必要はあると思う。
- レジ袋にお金を使いたくない。
- レジ袋はごみ袋として使うことがあるので。ただ、レジで選べるといいのではないかと思う。有料ごみ袋になれば、その分も財源に回すこともできると思うから。
- 日本全体で見てもレジ袋の使用金額はさほど金額にならないからです。ただマナーの悪い人がいてゴミをレジ袋に入れて何処でも捨てる人がいますが、これはマナーの問題で対策は別だと思います。
- お金を払うのでそのままごみ出しに使えると便利です。
- お金を払ってまでレジ袋を買いたくないから。
- 同じお金を払うなら有料ごみ袋の方がよい。
- 有料ゴミ袋にした方が便利だし、無駄がないと思う
- 有料ごみ袋の有効利用。
- 有料ビニール袋を買うならば、後で使える有料ゴミ袋が便利。
- コンビニで買った物に対しては特に思う。
- 無駄がない。もったいなくない。ぜひそうしてほしい。大分は遅れています。前からずっと思っていた。早く取り組んでほしい。
- 無駄なポリ袋のごみが一枚は減る。
- 持ち帰りに利用でき、帰ってからはごみ袋として利用できる。一石二鳥では。
- 余分なレジ袋が減るから。
- 使用后、ゴミ袋として利用できるから。
- 指定ゴミ袋だと有益に利用出来るから。
- 指定有料ゴミ袋は必ず使う物なので、マイバックを忘れた時に、それを買えば、一石二鳥だと思う。
- 指定有料ごみ袋をレジ袋として利用できるようになれば、有料ごみ袋の購入促進とレジ袋の削減につながると思うから。

「利用できるようにしてほしい」(16.0%)の理由

- 1枚ずつ購入できて手軽だし、その後ごみ袋にもなって、便利だと思うから。
- SDGs になるから是非大分もそうしてほしい。
- 厚さが薄すぎて破れやすい。
- あとに使える袋だから利用したらよい。お店にある袋もプラごみ、缶、ペットを出す時使用できます。
- いい考えだと思います。普通のレジ袋は有効に活躍させています。
- 入れられる物なら何でもよいと思う。
- お店から新しくレジ袋を買う必要がないので、ごみを減らせるから。ごみが出ない。再利用できるから。
- 買い物時袋は何でもよいかと。
- 購入者の選択肢があるのはよいと思う。
- 個人の自由。使いたい人は使えばいい。レジ袋でも最後はごみを入れて捨てる。有料ごみ袋をレジ袋として使えなくするのはおかしい。
- ごみ捨てだけに使用するのはいらない。
- ゴミとなるレジ袋の購入を抑制すべき。
- 最終的にはごみ袋として使えるので、いったんレジ袋として利用するのはよいと思う。
- 次回のごみ出しの時に使えるから。
- 自分の持っているものなら何でも利用してもよいのでは。
- スーパーでレジ袋を購入するより経済的。
- 少しでもプラスチック袋のごみを減らせるから。
- スーパーの袋が無駄にならないから。
- そもそも、マイバッグを忘れた時に買って使っているのですが…自治体で決めることでなく、1枚2枚有料レジ袋を買うよりもどうせ使うゴミ袋でまとめ買いしといて、そのうちの1枚ないしは2枚がゴミ袋として再度使えるならまあエコではと思います。
- そもそも有料はやめるべき。
- それこそリサイクルだと思う。
- それこそ資源削減になるのではないのでしょうか。
- たまに忘れたとき他の何かにいれたいなあというときがあるため。
- ダメだと知らなかった。
- ついつい忘れてしまう人のために。
- ついでにそのままゴミ袋に使えるから。
- 使った後にごみ袋として使えるので分ける必要は無いと思う。時々見かけますよ。
- デザインの変更。
- どうせ買うなら指定のものでそのまま利用できる。
- どのみち使うので、有料ごみ袋を買ってレジ袋にした方がエコだと思う。そうしたこともある。
- 何も変わらないと思う。色が違うだけ。
- 一人暮らしの人のために、小さめ（特小より）のごみ袋があったらと思います。
- プラ削減効果ある。
- プラスチックごみが削減できるので。
- マイバッグを持っているつもりがうっかりして忘れる事もあるので、レジ袋は必要。

「利用できるようにしてほしい」(16.0%)の理由

- 利用できないと知らなかった。丈夫なので繰り返し使え、ごみ袋だけとして使うのはもったいないです。最終的にごみ袋として使うのだからよいと思います。
- 利用できる、できないの問題ではない。使用するのは勝手。自分で買った袋であるし、荷物は持って帰るし、その後ごみ出しに使用するだろうし、何も問題もないと思う。
- 利用できればよいのでは。
- 忘れた時に丁度よい値段で手に入るから。マイバッグをその場で買ったり、商品を返品しなくてすむから。
- 現状の有料レジ袋は、買い物に使用後はただゴミになるだけ。指定有料ゴミ袋をレジ袋として購入すれば、ゴミを捨てる時に利用できるから。一枚で買う場合は、少し割高になるようにすれば、マイバック利用推進の妨げにはそこまでならないのでは、と思う。
- 効率がいいと思うからです。
- 購入するなら、使い道が明確であると、精神的負担が軽減するから。
- 使用するかはわからないが、単純にバラ売りにするだけなので使用する人は使用するのではないか。
- 持ち帰った後、資源プラになるより有料ゴミ袋となる方が有効的な活用だと思うから
- 丈夫だから。中が見えにくいので。
- 袋が高い。
- 袋には変わらないから。
- 袋の有効活用ができる。
- 通常のレジ袋と有料ゴミから選べるようにしてほしい。
- 同じお金を出すのなら、有料ゴミ袋が手に入ると嬉しいと思うから。
- 同じお金を払うのなら有料化の袋を買う方が良いと思うので。
- 買い物に無駄をしたくない。
- 買って帰るから、どう使っても良いと思います。
- 不燃ごみなどの少量のゴミを捨てる際などに追加で小さいゴミ袋を買わずに済むから
- 普段のレジ袋は一回で捨ててしまいます。指定ごみ袋だと2回は使えるから。
- 忘れた時利用できるから。
- 無駄が省ける。
- 貰ってしまったゴミ袋がもったいない。
- もったいないから。
- もともとレジ袋有料に反対。あれで逆にゴミが増えていると思う。ごみ袋をレジ袋に使えるならその分ごみは減る。
- やっている市を見ていていいと思った。winwinでいいと思う。
- 有効利用できるから。小さい袋も。
- 有料ゴミ袋減らないからよく分からない。
- よさそうだから。
- 悪い理由が分からない。

12 指定有料ごみ袋の減免制度について（問 14）

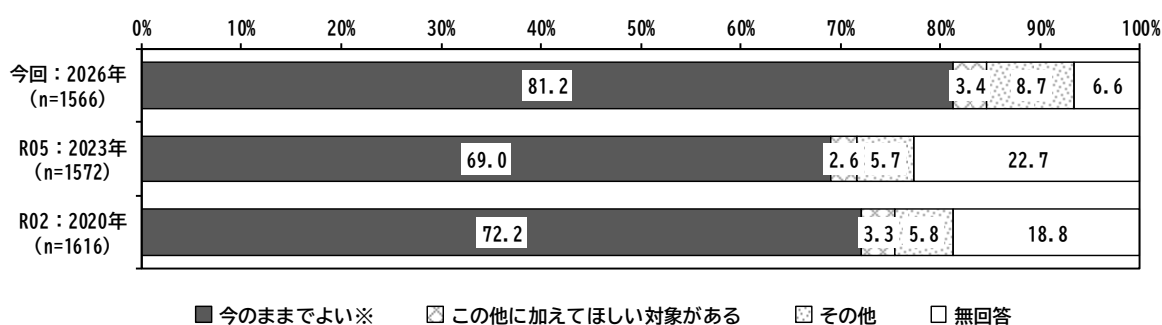
問 14 指定有料ごみ袋の減免制度についてお答えください。

（1）減免制度の対象者について（問 14-1）

問 14-1 3 歳未満の乳幼児を養育する方、紙おむつやストーマ用装具を常時使用している方、腹膜透析を常時実施している方などごみの減量が困難な方や、生活保護世帯の方の負担を軽減するため、指定有料ごみ袋の減免制度を設けています。減免制度の対象者についてお答えください。（〇は1つ）

指定有料ごみ袋の減免制度の対象者については、「今のままでよい」が 81.2%、「この他に加えてほしい対象がある」が 3.4%となっています。

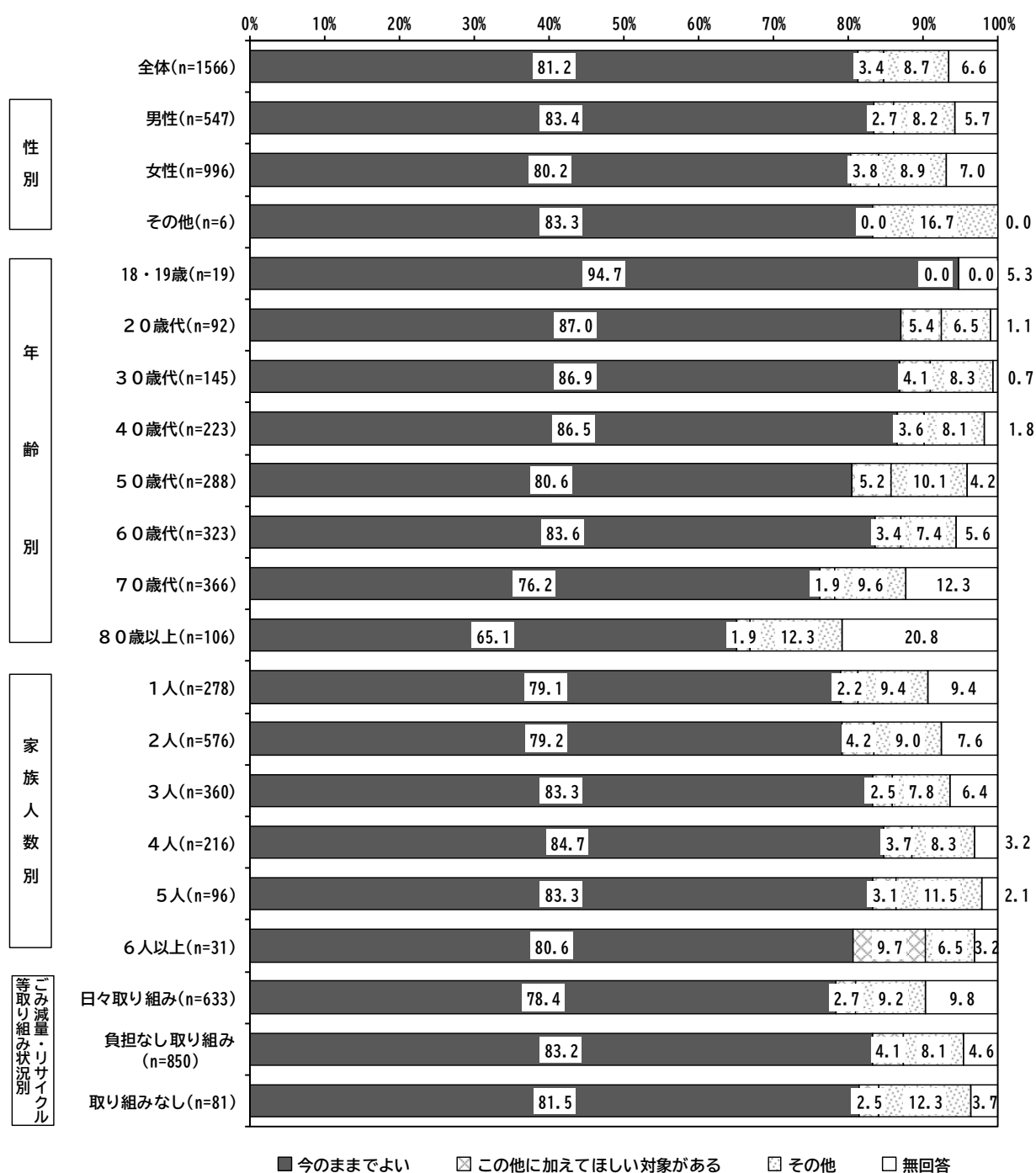
【全体及び経年推移】



※ 令和5年以前は「これまでどおりでよい」

- 「今のままでよい」が令和5年の 69.0%から 12.2 ポイント増加し、今回は 81.2%となっています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、年齢が低いほど「今のままでよい」が多くなる傾向にあります。

「この他に加えてほしい対象がある」(3.4%)の内容

- 高齢者世帯(4)
- 年金のみで暮らしてる方等の低所得者。
- 年金生活高齢者への負担を検討して欲しい。大きいゴミ袋は高齢者は扱いにくい。小さいゴミ袋は費用負担が大きくなる。
- 発達障がいのため、3歳以降もおむつが外れないので、少し年齢を引き上げるか特例を作ってほしい。
- 非課税世帯や均等割世帯
- 非課税世帯や障がい福祉サービス利用者や高齢者等。高齢世帯も対象が必要ではないかと思う。紙おむつやパット使用の方もゴミが必然と多くなるので、元気でも袋がもったいないからため込む方を聞いたことがあるので。
- 70歳以上は無料にしてほしい。
- 障がいがある方や高齢者
- 障がい者がいる家庭も加えてほしい。理由は勤労できないため、ゴミ袋も費用がかかる。
- 一般家庭も袋の支給年1回くらい頂けるとよい。
- 大分市民全員に年間100枚配る。
- おむつは小袋だとあまり入らないので、結局利用が増える。特に大人用。
- 介護対象者
- 各家庭人数に対して少数配ってもよいかと。
- きちんと税を納めている家庭にも配るべき。
- 国民年金一人暮らしの10万円未満の人
- 自宅にて介護している方(紙おむつ使用)
- 生保受給者は国の税金から保護費をもらっているため、対象外にしてほしい。
- 低所得者にも減免してほしい。
- できれば対象外市民にも交付してほしい。
- 独身にも優しくして安くしてほしい。
- 何か他の疾病があって困っている人。
- 人数が多い家庭。
- 猫砂を捨てるのに、有料ゴミ袋を使用しますが、重くて大量です。ペット砂も対象になれば嬉しい。
- 年2回くらい全体に無料配布
- 一人暮らしで買い物が不可能の場合
- 要介護者等
- 月経中の女性、動物保護活動をしている方々
- 13歳までの学生を扶養する家庭
- 3歳未満の乳幼児で転入者は対象外?
- 子どもがいる家庭はゴミの排出量が多いと個人的に思います。3歳未満のゴミ袋配布は大変助かりました。例えば義務教育世帯までと対象を拡大していただけたら幸いです。
- 自宅で高齢者の紙パンツ利用する際、ゴミ袋を多量に使用するので、家にも目を向けてほしい。
- 小さいので大きいのがよい。
- 人数の多い家庭など。
- 生活保護の方は対象外でもよいと思う。
- 全世帯
- 大学生や専門学生などの、一人暮らしの学生にも1年に何枚とかでも、無料で渡してあげたい。
- 低収入家庭
- 低所得者にもお願いします。

減免制度の対象者についての「その他」(8.7%)の内容

- 減免しないようにして下さい。一般家庭でも生活は厳しいです。
- 減免する必要は無い。生活保護世帯の方が国民年金世帯より収入が多いから。
- 生活保護者のチェックを厳しくしてほしい。
- 生活保護者は対象外でよい。
- 生活保護世帯に配る必要ない。支給額から払うべき。
- 生活保護世帯に対して交付する内容を見ると、交付するのは不要ではと思います。
- 生活保護世帯には金銭面での保護があるので必要ないと思う。
- 生活保護世帯にはこの制度はいらないと思います。
- 生活保護世帯へのごみ袋までの減免は必要ないと感じている。
- 生活保護対象の内容によるが、本当に生活に困っている対象者だけでよいのでは。
- 生活保護には×
- 生活保護にはそれ含めた生活するお金を渡しているのに交付するのはおかしいと思う。自立するための対策費にしてほしい。
- 生活保護の方は様々な面で保護してもらっているので、ごみ袋まで保護の対象にするのは手厚すぎると思う。外してもよいと思います。
- 生活保護の方は本当に受けなければならないのかどうか疑問の人もいそう。
- 生活保護の方への交付する袋の大きさについて、もう少し分別していただき、小袋 20ℓ より小さい袋でも可能ではと思います。
- 生活保護の方までごみ袋を配布する必要はないと思う。
- 生活保護の手当が年金受給者より高いので対象外でよいのでは。
- 生活保護の人に交付必要なのか。
- 生活保護は減免対象でなくても良いと思う。
- 生活保護は対象外でよいと思う。
- 生活保護は頼らずに、物価高、必死で生きている人は沢山います。低所得者そんな人に袋 60 枚上。
- 生活保護は適応外。
- 生活保護者は減免いらない。
- 生活保護世帯には注意が必要。
- 生活保護世帯の減免制度は廃止するべき。
- 生活保護世帯の負担軽減は必要ないと思う。
- 生活保護世帯はそこまで優遇する必要はないと思う。
- 生活保護の人は最低限度の生活費なので、医療費もでるしゴミ袋の減税はいらなくていいと思う。
- 交付枚数が多い。
- 高齢者、年金受給者、障がい者。
- 高齢者世帯 70 歳以上、年金暮らしの人。
- 国民年金等は生活保護より安いので、生活保護は中止する。
- 子育てに必要なおむつ代も高いので、少子化対策としても、もっと増やしたらいいのではないかと考える。
- ごみの減量が困難な方は仕方ないが、生活保護世帯は対象にしなくてもいいのではないかと考える。減免をいいことにルールを守れない人もいるから。
- ごみ袋の代替品を考えないと、ホルムズ問題によるコスト高が心配である。

減免制度の対象者についての「その他」(8.7%)の内容

- 生保の人に配るのは不公平。対象外の市民にも配るべき。
- 生保の振り分けをしっかりとしてほしい。本当に必要な人がかわいそう。
- 小・中・特小3種類を入れてほしいです。
- 少子化で3歳未満というのは残念です。子どもがいる世帯は対象にしていいたいと思う。大した金額ではないので、意味を感じない。ゴミについては皆負担するべき。
- 当事者の意見を聞いて軽減しては。
- どうしてこの対象者だけですか。他にどんな対象者がいるか分かりません。
- どれぐらいで使い切るのか分からないので判断できない。
- 乳幼児、生活保護まで減免しなくてもよいのではと思う。補助金など色々な面で恩恵を受けているのでは。
- 乳幼児～紙おむつ、ストーマ等も袋を交付するが良い。
- 乳幼児のいる家庭にはもっと配布してほしい。財政状況にもよるが産まれて直ぐよりも年一でもらえる方が助かる。そして年齢を上げてほしい。
- 乳幼児は子育て支援で優遇されている事がたくさんあるので、不要だと思う。
- 乳幼児は不要。他で色々と優遇されているので。
- 乳幼児や介護が今はないので分からない。
- 乳幼児
- 乳幼児世帯への措置はいい必要ないと思います。ストーマや、介護などのオムツの方への配慮は必要。3歳未満を育てているのは若者ですから、必要ない。働けるのだから。
- 廃止してもよいと思う。紙おむつ、ストーマのみ無料化。
- 比較することができないので分かりません。
- 平等が良いと思います。
- 不公平さを感じます。一般家庭も少しは補助してもらいたい。
- 不自由な人が知らない所でいらっしゃるかもしれません。
- 他にも必要な方がいたら適用すべき。
- 枚数を減らしてもよいと思う。
- みんなに配れば。
- 有料化しないでよい。
- 悪用している人がいそう。
- 減免など必要ない市民はみんな払うべきで、その分ゴミを多く出しているので負担するべき。
- 現在対象となっている方を一律に減免するのではなく、ゴミ袋を買うのが経済的に困難な方のみ、申請・審査を経て減免するべき。
- 子どもの有無や透析の常時実施以外にも家庭にはさまざまな事情があるので、ゴミに関する優遇は必要ないと思う。
- 市県民税納税者は一定量までは無料、もしくはゴミ袋支給。
- 全員無料
- 対象者がおかしい。すでに優遇されている人になぜ支給する必要があるのか。
- 必要な人へ対応が行き渡るように、対象者の固定はしないほうがよい。
- 病気や3歳児未満の幼児には減免制度は必要だと思いますが、生活保護の方は必要でしょうか？再考するべきだと思います。
- 一般低所得者と生活保護受給者の境界にあたる人の差が懸念される。
- 今のところ体験していないので何とも言えません。

減免制度の対象者についての「その他」(8.7%)の内容

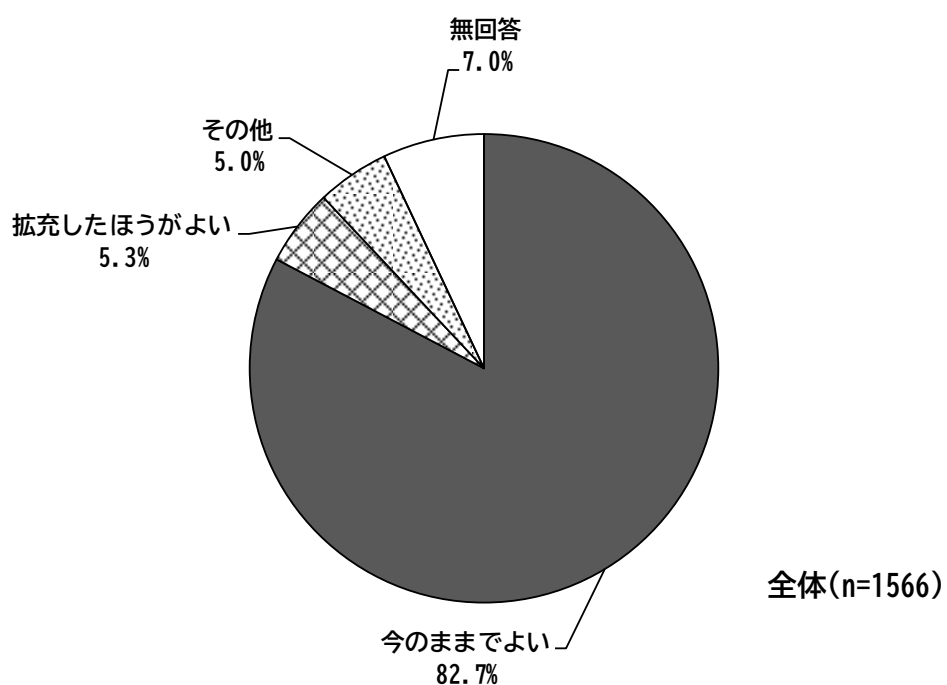
- 今のままでよいが生活保護による人は生活状態を調べてほしい。
- 紙おむつ、ストーマのみで良いと思う。
- 金額の上限を設定して、種類を選択できるようにした方がよいのでは。
- この情報はほとんど知られていないと思う。
- この制度について知りませんでした。
- このような制度は初めて知った。
- 知らなかったのでよく分からない。
- 身近に使用者がいないので分かりません。
- 制度を知らなかったのでビックリしています。
- 該当しないのでいいと思います。
- 特に思い当たらない。
- 必要ないと思います。
- 制度必要なし。
- 減免制度必要なし。
- 減免制度があることを知らなかった・理解していない(5)
- 対象世帯でないのでよく分からない(6)
- 対象外なので分かりませんが、各種あった方がよいのではないかと思います。
- 対象者にアンケートを取って聞いてほしい。
- 対象者の意見を聞いた方がよい。
- 対象者の方の意見を聞いて増やすなど考えてほしい。
- 今は受けていないので答えは難しいです。
- よく分からない(12)
- よく分からない。このような支援を市がしている事は知らなかった。
- 分からない、乳幼児がいらない。
- 分からない。実質の所が標示されていないから。
- 分かりません。3歳未満の量を増やしてほしい。

(2) 対象者の拡充について (問 14-2)

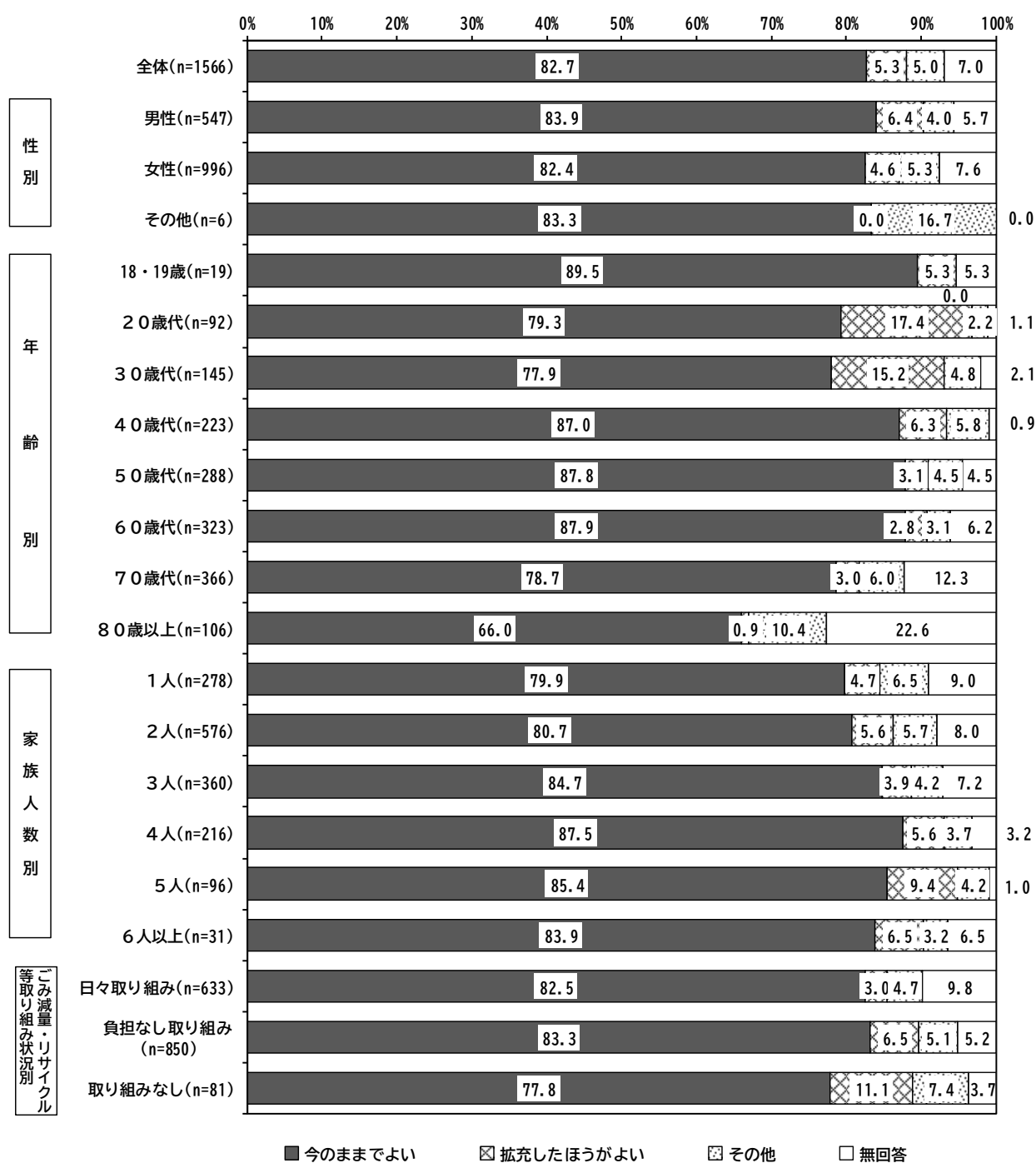
問 14-2 問 14-1 のとおり、乳幼児の減免制度の対象者を 3 歳未満としています。その拡充についてどう思いますか。(○は 1 つ)

乳幼児の減免制度の対象者の拡充については、「今のままでよい」が 82.7%、「拡充したほうがよい」が 5.3%となっています。

【全体】



【属性別特徴】



- 年齢別にみると、20歳代、30歳代で「拡充したほうがよい」が多くなっています。

「拡充したほうがよい」(5.3%)理由

- 3歳以上で紙おむつを使用する。
- 3歳でおむつが取れない子も多いから。
- 3歳でもまだおむつ使います。
- 3歳は長いと思います。
- 3歳未満でおむつが外れるかは個々で違うので。
- 3歳未満でなくても必要な人がいるのなら。
- 3歳未満より、中学から高校、大学が一番家庭から出て行くお金が多いから。
- 3歳以上でも紙おむつを使用するので。
- 3歳ぐらいだとまだオムツの使用がある可能性があるから。
- 3歳でもまだオムツが取れていない子が多いため。
- 3歳以降も子ども関係のゴミの負担がある。
- 3歳未満は、微妙な感じがする。うちの娘は、4歳なりかけまではおむつを使っていたから。
- 3歳未満はやや無理がある。もう少し年齢を上げてよい。
- 4歳未満までがよいと思う。
- 4歳くらいまではごみが多くなるため。
- 4歳未満が良いのでは。
- 5歳まで拡充
- 5歳未満が良い。
- 6歳未満まで。
- 18歳以下の子どもを育てている世帯。
- あと1～2歳上げてよい。
- おむつがはずれるのが4歳くらい。
- おむつに限らずごみは増えるから。
- おむつをする年齢は3歳未満とは限らない。
- オムツをまだ使っているのに使い切ってしまうので、できれば毎年いただけるとありがたい。
- 紙おむつの利用年齢が延びていると思うから。
- 感染症、伝染病防止の側面から、特に児童期は分別よりもごみを捨てやすくした方がよい。
- 子育てが大変だから。
- 子どもがごみを多く出すから。
- 子どものいる家庭は大変だから。
- 少子化対策の一助となる。
- なぜ3歳なのかの根拠が曖昧だと思うから。
- 年齢問わず各家庭に配ってもよいかと。
- 発達には個人差があるから。
- 負担減拡大
- まだおむつ離れしないからもう1年。
- もう少し対象年齢を上げた方がよいと思う。
- 現在3歳でオムツ使用の子どもが多いと思うので4歳未満にした方がよいと思う。
- 子どもそれぞれにオムツを使わなくなるペースがあると思うので、3歳未満と決めてしまうのはやめた方がよいのではないかと思います。

「拡充したほうがよい」(5.3%)理由(続き)

- 子育て世帯や世帯人数で。
- 子どものうちは食べ盛りでゴミの量が増えるため拡充すべき。
- 少子化だから。
- 子育てしやすい環境にしてほしいから
- 子育てに寄与できるなら、金銭負担より、こういったかたちの方が納得感がある。
- 子育て世帯はお金がかかるため。
- 少子化対策として。
- 少子対策で18歳までは無料にしたほうがよい。
- 乳幼児の紙おむつの使用頻度は3歳未満が1番多いが、3歳以上でもまだ紙おむつを利用している子が多いので。
- 年齢を4歳までに延長した方がよいと思います。
- 発達障がいのため、3歳以降もおむつが外れないので、少し年齢を引き上げるか特例を作ってほしい。
- 未就学児にしてほしい。3歳未満とする理由が分からない。
- 未就学児のみの家庭も対象で良いと思う。
- 無駄なお金のばら撒きよりも確実に負担軽減になり、子育て支援に繋がる。

拡充についての「その他」(5.0%)の内容

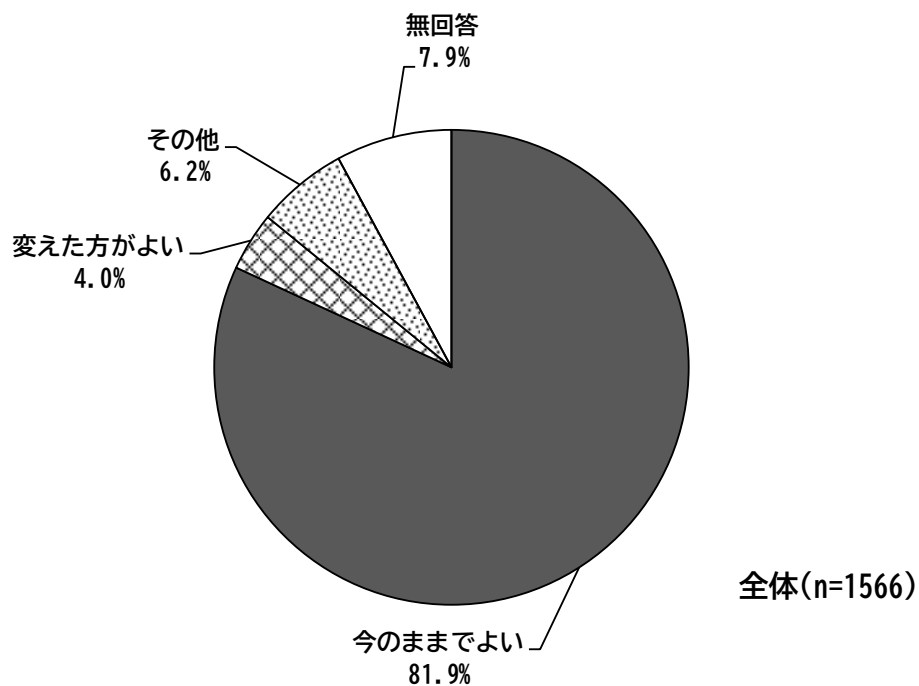
- 2歳未満でも充分だと思う。
- 2歳未満。3歳未満の理由が不明。
- 3歳未満の量を増やしてほしい。
- おむつが取れる年齢は人それぞれ。おむつ専用ゴミ袋作ったら？
- 現状で困る人があれば考えてほしい。
- 子ども手当が出ますから。乳幼児には取り消してもよい。
- 子ども手当もあるので、枚数減らしてもよいのでは。私たちの時はこの制度はなかったです。
- 疾病のある場合は拡充した方がよい。
- 収入及び一人親世帯に負担のかからないようにしてあげた方がよいのでは。
- 対象者の意見を聞いた方がよい。
- 乳幼児のいる世帯も拡充でなく、縮小を考えてほしい。
- 廃止してもよいと思う。紙おむつ、ストーマのみ無料化。
- 判断材料がないので分からない。当事者に聞くのがよいのでは。
- 全員無料
- 全世帯に配ればいい。
- 対象者の希望や意見を丁寧に聞いて決めてほしい。対象者ではないので分からない。
- 廃止でよい。ゴミ袋を買うお金くらい稼げると思う。
- 配布するサイズを大きくしてほしい。
- いい事だと思います。
- 分からない(17)
- 対象者でないのでよく分からない(5)
- 減免制度必要なし(2)
- 減免制度はなくすべき
- 無くしてよい。家に対象者がいないので。
- いらない。
- 支給する必要なし。
- 必要ないと思います。
- 有料化なし。
- 廃止
- 対象でないため。
- この制度を知りませんでした。
- 比較することができないので分かりません。
- 子どもがいないのでよくわからない。
- 身近に乳幼児がいないので分からない。
- 対象になるような子どもがいないのでわからない。
- 対象外の為分からない。

(3) 交付方法について (問 14-3)

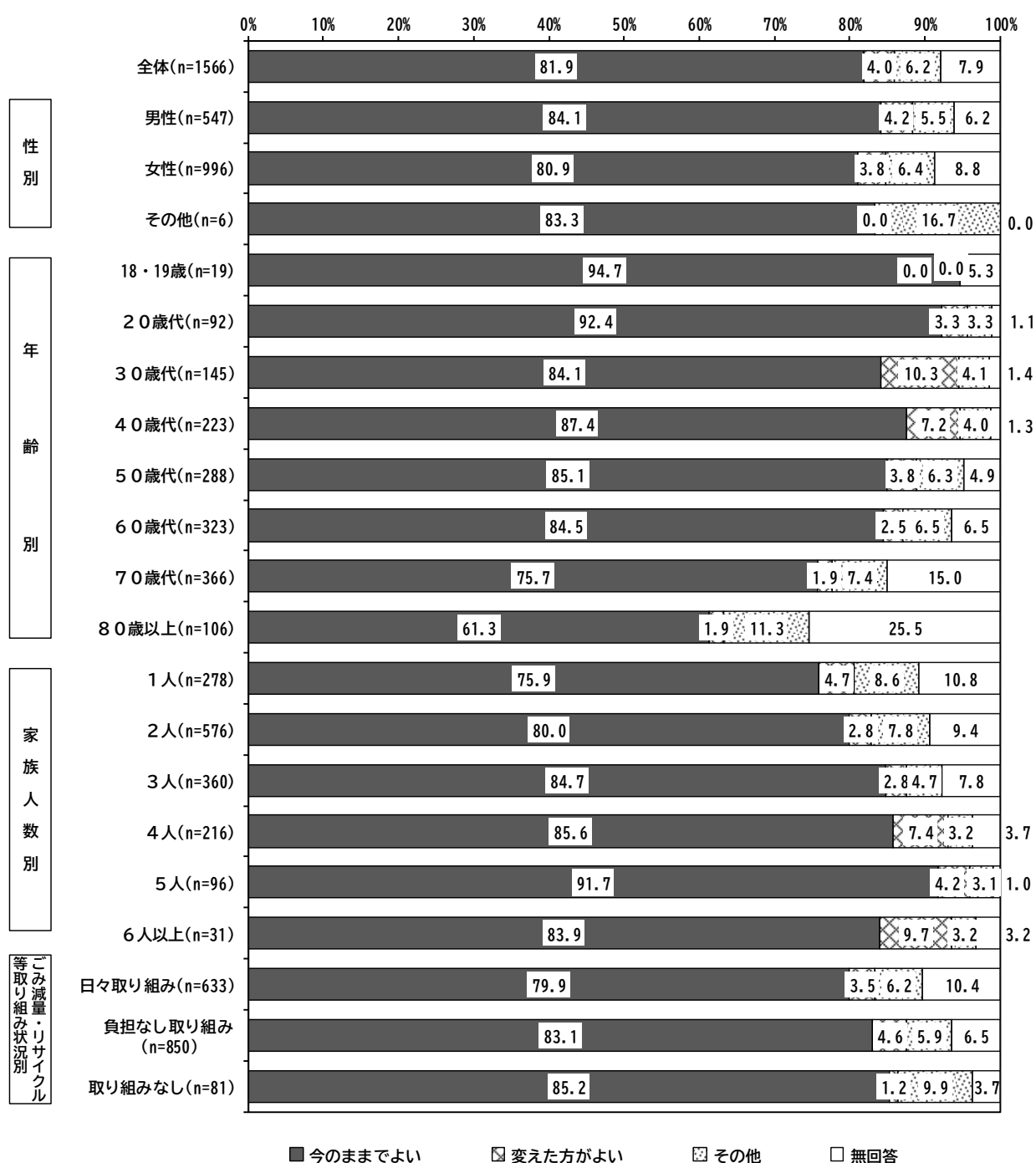
問 14-3 紙おむつやストーマ用装具を常時使用している方、腹膜透析を常時実施している方、生活保護世帯の方については原則年 1 回配送しております。また、3 歳未満の乳幼児を養育する方については、出生届出時に希望者へ事前に 10 枚を窓口交付し、残りを翌月に配送しています。交付方法についてお答えください。(〇は 1 つ)

指定有料ごみ袋の交付方法については、「今のままでよい」が 81.9%、「変えた方がよい」が 4.0%となっています。

【全体】



【属性別特徴】



- 年齢別にみると、年齢が低いほど「今のままでよい」が多くなる傾向にあります。ただ、30歳代、40歳代では「変えた方がよい」が他の年齢層よりも多くなっています。
- 家族人数別にみると、5人までは家族人数が多くなるほど「今のままでよい」が多くなっています。

交付方法を「変えた方がよい」(4.0%)の内容

- みんな平等に配ればよい。
- 3歳までにおむつが取れた人に対してのごみ袋は届出制にして、辞退してもらうようにするのはどうでしょうか。私の経験ですが、介護状態にあった母が施設入所後も紙パンツが送られてきました。役所には届け出もしてあると思われるのですが、チェックできないのでしょうか。私は役所に持って行って返しましたが。
- 希望者ではなく何も言わず渡せばよいかと。その後、配送はよいと思います。
- 希望するなら窓口へ取りに来ればよい。配送は無駄。
- すべて窓口配布にするべきだと思う。
- なるべく送料がかからないようにした方がよい。
- 乳幼児の家庭に年1（置く場所に困る）
- 乳幼児は廃止。
- 配送コストや配送時のダンボールが無駄だと思っていた。基本的に支所などに取りに来てもらい、受け取り困難者のみ配達でよいのではないかな。
- 配送料は毎月かかるのですか。制度自体を知りませんでした。一度に全部渡した方がコスト削減にはなりますね。
- 配送料やガソリン代高で困っている中、個別配送は理にかなっていない。必要ならば取りに行けばよい。
- 必要に応じて近くの役所で交付でもよいのでは。
- 物流コストも上がる中、申告制とかはどうだろうか。難しいところです。
- 枚数を増やしてあげる。負担がかからないように。
- 窓口交付の時に1回にしては。配送代がかかるのではないのでしょうか。
- 紙おむつに関しては必要であれば市役所などに取りに行くようにしたらいいと思う。必要のない人は取りに来ないと思うので。
- 事前に一括まとめの方が有難かった。
- 実際の子どもを出産した時に2回利用させてもらったが、ゴミ袋の量をもう少し減らしてもいいのかなと感じた。
- 出生届時の希望者への10枚交付は希望者が少ないと思われるため、翌月配送のみでよい。
- 一度に配送しても置き場所に困る人も多いと思うから、1ヶ月単位くらいの方がよいのではないのでしょうか。
- 紙おむつ、ストーマのみで良い。
- 赤ちゃんのいる家庭はインターホンが鳴ると起きる子もいるので置き配可能にしてほしい
- 先程も記入しましたが、年1回配布なら生活保護の方には必要ない。その分のお金を別の事に使うべきです。
- 窓口交付 配送費用がもったいない。
- もう少し手間がない方が利用しやすい。
- もう少し増やして欲しい。
- 回数を増やした方がよい。
- 子どもへのごみ袋はもっと増やして欲しい。
- 少ない。
- 足りないと思う
- 足りているのでしょうか。

交付方法を「変えた方がよい」(4.0%)の内容(続き)

- 必要のない人（余裕のある家庭）まで渡す必要はない。
- 転入届け時の該当者も対象に加えた方がよい。
- 年 1 回で足りているのか？置き場や袋の劣化は？せめて年 2 回に分けた方がよいのではと思います。
- 配送をやめ引換券方式にする。自治体配送がコストが 1 番高いので、ドラッグストアや薬局やスーパーで引換できるようにする。その場合、配送費ゼロ、在庫管理ゼロ、梱包作業ゼロ。自治体の作業は印刷、郵送のみになるため、かなりメリットとなります。また、旅行や長期家を空けておりゴミ袋をあまり使わなかった。ゴミがあまり出なかった。引っ越してしまった等々余分に余ってしまうケースにもこの方法であれば対応できるかと。
- 配送料が無駄なので、直接届け出時に全部渡したほうがよい。配達員の不足、配送料の高騰のなかでわざわざ別に宅配する必要はない。
- 配送料を考えると窓口交付だけで良いと思う。料金が高いのでゴミ袋を増やせるのでは。
- 配送料金が経費としてかかるので、免除カードまたは引換え券を作成しスーパー等で利用できるようにしてはどうか。で引き換え
- 本当に必要な方だけにすべき。
- 郵送費も税金のため。
- 2 歳まで交付で窓口で受け取りできたらよいですね。
- 生活保護世帯に配送する必要はない。
- 生活保護世帯の方にアンケートをとった方がよいと思う。週 2 回収があるのに 20ℓ もいるのか疑問。
- 生活保護の方は現状で良いと思うが、その他の方が現状にあっているか疑問に思うので、必要ならば変更してほしいと思う。
- 生活保護はやめるべき。
- 生活保護は対象外でいい。
- 生活保護世帯の配送は廃止すべき。
- 生活保護世帯はそこまで優遇する必要はないと思う。
- 生活保護世帯は除いて良いと思う。不公平感が半端ない。
- 生活保護世帯への配布は必要ない。
- 生活保護世帯は今以上の援助を。
- 生保に配るな。

交付方法についての「その他」(6.2%)の内容

- いい事だと思います。
- 大分市民全員に配布してほしい。
- 紙おむつやストーマは使用していないので分からない。
- 基本役所等で手渡しすれば配送料が削減できるのでは。
- 現状で困っている方がいるなら変えた方がよい。
- 交付している方の通りで。
- 子育ての方に伺った方がいいと思います。
- この制度はやめた方がいい。自分たちで買わせるべき。
- ゴミはどこの家もでること。平等で良いと思う。
- サービスしすぎ。
- 小袋では回数が増え大変。中袋か大袋に変更した方がよい。その分枚数を減らす。
- 20 リットルのゴミ袋は、あまり利用しないので、娘の子どもの時もらったものがまだ残っている。サイズの希望を聞いてはどうですか。
- 生活保護者以外の方は現状でよいと思う。
- 生活保護世帯には配布しなくてよい。国民年金世帯より収入が多い。
- 生活保護はだめ。
- 一軒一軒配送までしてるの？健康な人には運送料か手数料少しでも取ったらいいと思う。
- 正しく使用できていればよいのでは。
- 当事者のニーズに合わせるのがよい。
- 年間最大とあるが、それはどのような基準で決めているのですか。
- 配送にも費用が発生するのでよく分からない。
- 配送料がかかるので、窓口に取りに来てもらった方がよい。
- 様子が分からない。使用していないので。
- 該当者ではないので、それが適しているか判断できない
- 交付方法は良いが、全て 20ℓ袋なのは正直ありがた迷惑。結局 30ℓ、45ℓの袋を買って使用している。
- 今のままでよいが、生活面できつい生活をしている方も多いので、ごみ料金を安くしてもらう方法でもよいのでは。
- 支給する必要なし。支給するのであれば全世帯へ。
- 紙おむつもストーマも廃棄量の検討がつかないのでわからない。
- 全員無料にすれば良い。
- 配送は原則禁止にしたほうがよい その分のコストを配布する量に変換すべき。
- 輸送経費がかからない方法を考えてみては。

交付方法についての「その他」(6.2%)の内容(続き)

- 対象者でないので分からない(10)
- 対象者の希望や意見をよく聞いてほしい。対象者ではないので適しているのかどうか分からない。
- 対象者の意見を聞いた方がよい。
- 対象者の方の意見を聞いて考えてほしい。
- 対象世帯でないのでよく分からない。
- 対象者がいないので分からない。
- 対象者が希望する方法を聞いて決めたら良いと思います。
- 当事者でないとよくわからないから。
- その方々に聞いた方がよいのでは。
- よく分からない(12)
- 分からない。希望者は全体のどれくらいいるのですか。
- 分からない。当事者にアンケートがよいのでは。
- 利用したことがないので分からない。
- 利用対象外なのでよく分かりません。
- わからない、どちらでもいい。
- 比較することができないので分かりません。
- そもそも制度必要なし。
- 必要なし。
- どのくらい必要なのか分からない。

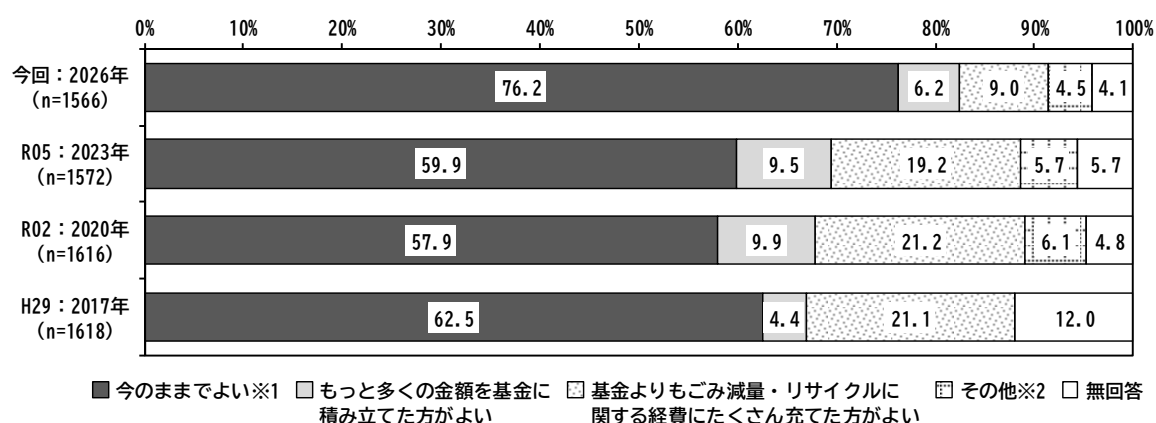
13 手数料収入の使途について

(1) 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるための基金積み立て（問 15-1）

問 15-1 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、家庭ごみ有料化によって得られた手数料収入から指定有料ごみ袋の作製費等の必要経費を除いた額の概ね 2 分の 1 を廃棄物処理施設整備基金として積み立てており、残りをごみ減量・リサイクル推進に関する経費に使われていることについてどう思いますか。（○は 1 つ）

一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、基金を積み立てていることについてみると、「今のままでよい」が 76.2%と最も多くなっています。次いで「基金よりもごみ減量・リサイクルに関する経費にたくさん充てた方がよい」が 9.0%、「もっと多くの金額を基金に積み立てた方がよい」が 6.2%となっています。

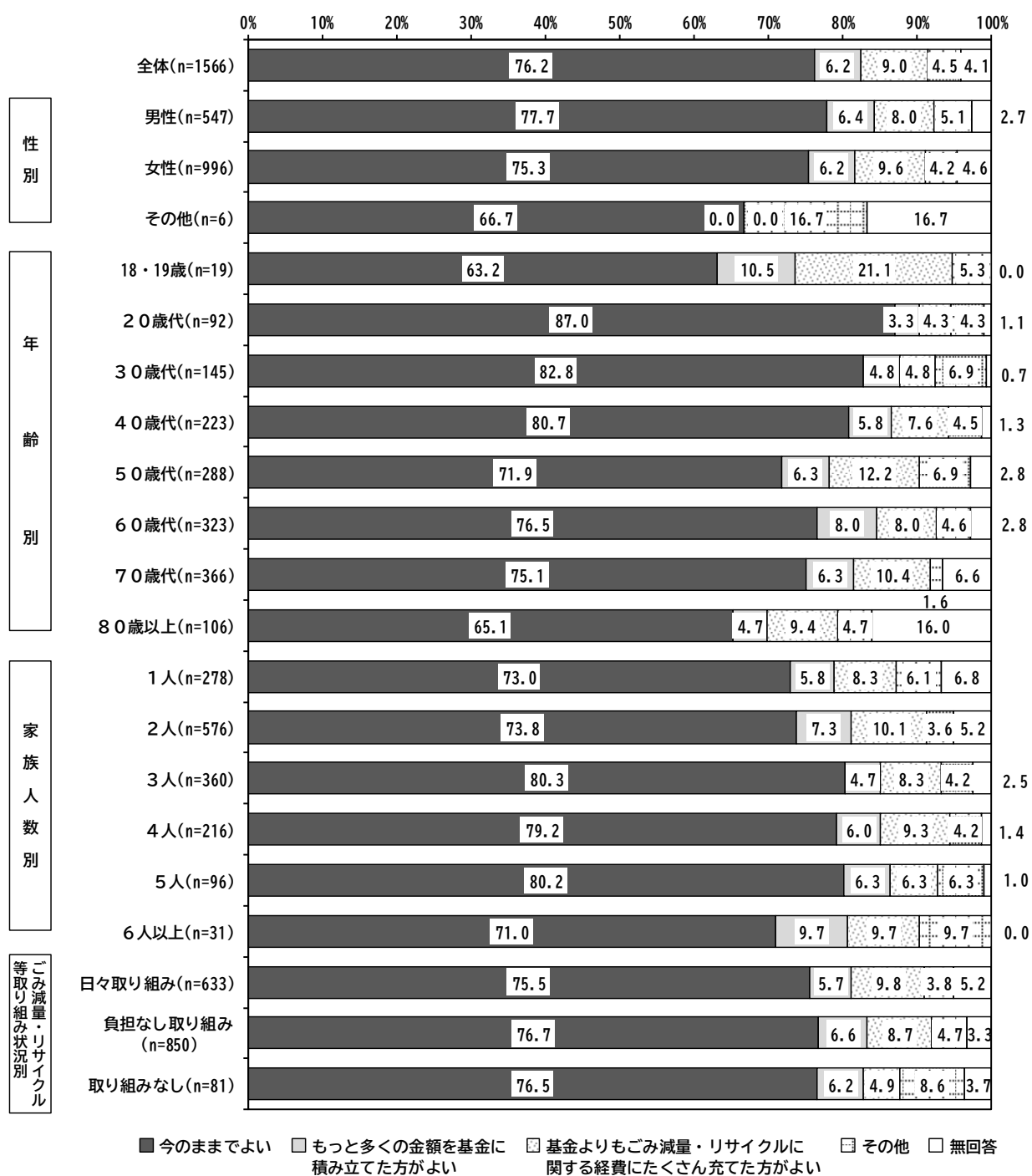
【全体及び経年推移】



※1 令和5年以前は「これまでどおりでよい」 ※2 「その他」は令和2年調査より追加

- 「今のままでよい」が令和5年の59.9%から76.2%に16.3ポイント増加しています。

【属性別特徴】



- 年齢別にみると、18・19歳を除けば、年齢が低いほど「今のままでよい」が多くなる傾向にあります。

基金積み立てについての「その他」(4.5%)の内容

- いずれにしても無駄なお金を使わないようにして下さい。
- 大分市がなぜ産廃処理に補助が必要か。大分市は一般廃棄物を処理する工場があるだけではないか。
- 大分市職員給与が市内の一般企業と比べても高すぎるため、まずは市職員の給与をカットしてごみ有料化の軽費にあてるべきではないか。
- 家庭ゴミ袋をもっと安価にできないか検討してほしい。物価高の折厳しいです。
- 基金が正しく管理されるなら現状で良いかと。
- 基金の上限を設け、余剰金は軽費に充当したらと思う。
- クリーン推進員の活動実態が当地域では見られない。住民ひとり一人の意識向上を計ればクリーン推進員不要。大分市に何人くらいいるのでしょうか。
- クリーン推進員の廃止。きちんと活動しているのか。無駄な業務の削減をした方がよい。自治会も人を出すのに困っていると思う。
- ごみ減量には各校区で有価物回収をすればよい。有価物回収団体等へ報償金等を上げる事により、ごみ減量にも繋がると思われる。
- ごみ収集軽費や焼却等経常費用に充てるべき。
- ごみ袋の安価にも使用してほしい。
- ごみ袋をもう少し厚手にしてほしい。
- ごみ袋が安くなるようコスト減のために使用してほしい。
- 事業内容等分からないので判断ができない。
- スtock金を返還してほしい
- その成果がどうなっているかが不明のため分からない。大分のために使えているのであれば良いと思う。
- 携わっている方々が最良と考えるようにしていただくのがよい。
- 手数料を取るぐらいなら袋を安くして下さい。
- ナフサの関係でごみ袋に充当した方がよい。また清掃車の油代。
- 廃棄物処理施設整備基金がこれ以上必要なのか。妥当な金額なのかが分からない。そもそも、その費用がなぜ必要で、いくら必要なのか説明が必要です。
- バランスが分からない。具体的な用途の詳細が知りたい。
- 本来は上述の収入も地方サービス。行政の側面から税で賄われるべきである。
- もう少しごみ袋自体を厚くしてほしい。破れやすい、他の市に比べて。
- もっと気軽にリサイクルできる施設を増やしてほしい。コンビニ設置等。
- リサイクルにコストを掛けるのではなく、リサイクルからの脱却にコストを下げる。または収益を生むという発想の転換を考える時期に来ている。
- リサイクル推進にどのくらいの費用が掛かっているのか分からないので。
- 基金の積み立て金の使用目的がいまいちわからない。
- 基金の目的は何となくわかるが、ごみ減量・リサイクル推進に関する経費の詳細がわからないので答えられない。
- 現状どちらにどの位かかっているのか知らない為分からない。
- 実際どのようにお金が流れているのか不透明でわからない。
- 手数料収入の使い道正しく使っているか細かく公表して欲しい。

基金積み立てについての「その他」(4.5%)の内容(続き)

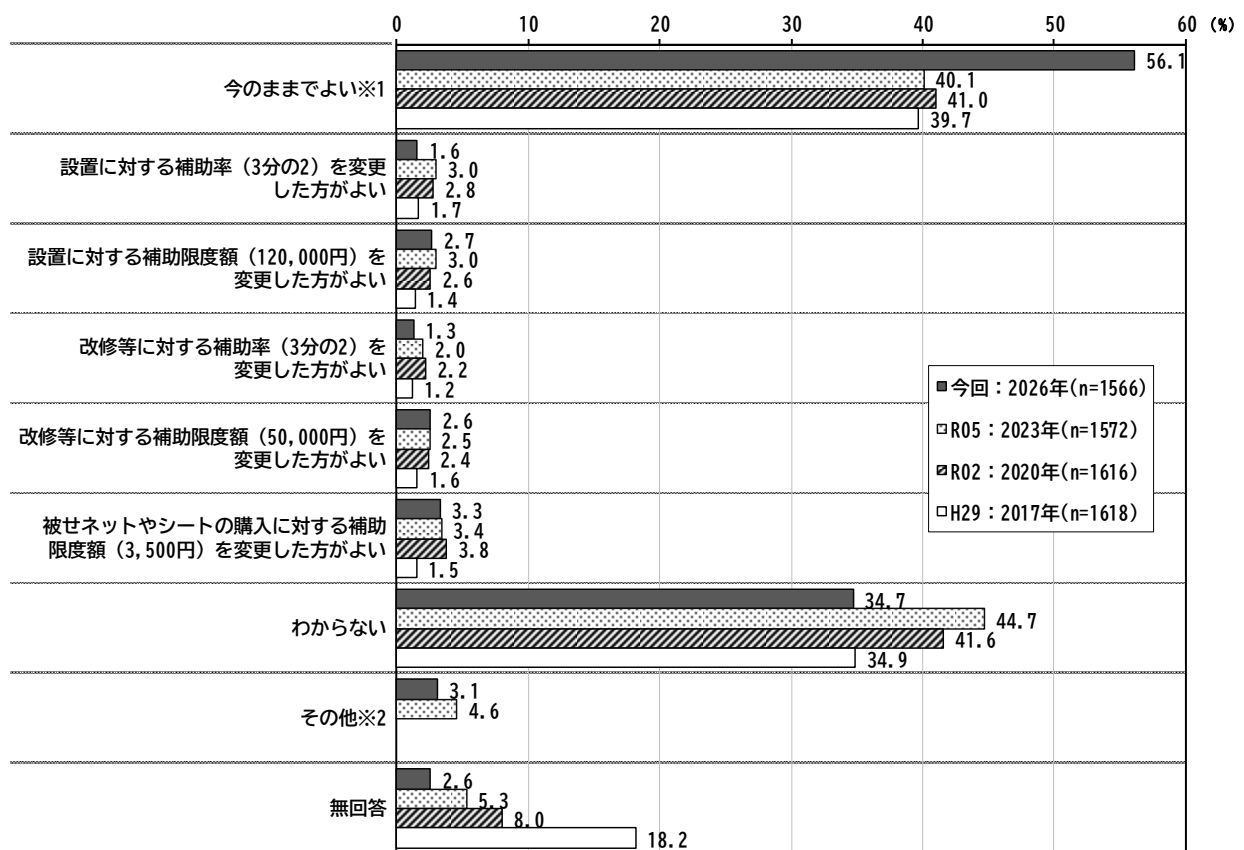
- 住民税からやりくりできるように、市の役員の人が調整するべきだと思う。
- 処理施設整備にどれほどの額が必要と自治体が考えているのか。予算や実際に使える金額がどれほど不足しているか分からない。
- 推進方法を見直し、抑えた費用を基金に積み立てた方が良いと思う。
- 整備費を完全に賄ってるなら、ペイしてるかどうかで判断可能であり、アンケートで聞くことじゃない。
- 用途を固定しない方がよい。(一割程度)。
- 判断材料がなく分からない。
- 推進の内容がわからないから答えられません。
- 知らない事が多い。
- 細かい内訳を知らなかった
- 詳しい内容がよく分からないから。
- 具体的には分かりません。
- 内容がよくわからない
- わからない(13)

(2) ごみステーション設置等補助金 (問 15-2)

問15-2 ごみステーションの設置等を行う自治会に対して交付している補助金についてどう思いますか。(〇はいくつでも) ※[]内には具体的な内容を記入してください。

ごみステーションの設置等を行う自治会に対して交付している補助金についてみると、「今のままでよい」が56.1%と最も多く、次いで「わからない」が34.7%となっています。

【全体及び経年推移】



※1 令和5年以前は「これまでどおりでよい」

※2 令和5年調査より追加

- 「今のままでよい」が令和5年の40.1%から56.1%に16.0ポイント増加し、「わからない」が44.7%から34.7%に10.0ポイント減少しています。

【属性別特徴】

		サンプル数	今のままでよい	設置に対する補助率（3分の2）を 変更した方がよい	設置に対する補助限度額（120,000円）を 変更した方がよい	改修等に対する補助率（3分の2）を 変更した方がよい	改修等に対する補助限度額（50,000円）を 変更した方がよい	被せネットやシート の購入に対する補助 率（50%）を 変更した方がよい	わからない	その他	無回答
全体		1566 100.0	879 56.1	25 1.6	42 2.7	21 1.3	41 2.6	51 3.3	544 34.7	48 3.1	40 2.6
性別	男性	547 100.0	356 65.1	11 2.0	18 3.3	14 2.6	21 3.8	19 3.5	134 24.5	17 3.1	13 2.4
	女性	996 100.0	511 51.3	14 1.4	24 2.4	7 0.7	20 2.0	32 3.2	403 40.5	29 2.9	25 2.5
	その他	6 100.0	3 50.0	-	-	-	-	-	2 33.3	-	1 16.7
年齢別	18・19歳	19 100.0	12 63.2	-	-	-	-	-	7 36.8	-	-
	20歳代	92 100.0	58 63.0	3 3.3	5 5.4	2 2.2	5 5.4	3 3.3	30 32.6	-	-
	30歳代	145 100.0	88 60.7	3 2.1	4 2.8	4 2.8	4 2.8	3 2.1	47 32.4	7 4.8	-
	40歳代	223 100.0	138 61.9	4 1.8	7 3.1	3 1.3	6 2.7	9 4.0	71 31.8	5 2.2	-
	50歳代	288 100.0	159 55.2	6 2.1	8 2.8	4 1.4	10 3.5	11 3.8	103 35.8	9 3.1	1 0.3
	60歳代	323 100.0	177 54.8	4 1.2	6 1.9	4 1.2	9 2.8	11 3.4	119 36.8	9 2.8	6 1.9
	70歳代	366 100.0	195 53.3	3 0.8	10 2.7	2 0.5	3 0.8	11 3.0	127 34.7	15 4.1	19 5.2
	80歳以上	106 100.0	50 47.2	2 1.9	2 1.9	2 1.9	4 3.8	3 2.8	39 36.8	3 2.8	13 12.3
家族人数別	1人	278 100.0	150 54.0	5 1.8	10 3.6	4 1.4	8 2.9	10 3.6	95 34.2	8 2.9	14 5.0
	2人	576 100.0	320 55.6	12 2.1	13 2.3	7 1.2	16 2.8	22 3.8	196 34.0	23 4.0	17 3.0
	3人	360 100.0	207 57.5	1 0.3	7 1.9	4 1.1	7 1.9	6 1.7	128 35.6	8 2.2	6 1.7
	4人	216 100.0	129 59.7	2 0.9	8 3.7	2 0.9	7 3.2	5 2.3	73 33.8	5 2.3	1 0.5
	5人	96 100.0	53 55.2	4 4.2	3 3.1	3 3.1	2 2.1	4 4.2	37 38.5	3 3.1	-
	6人以上	31 100.0	16 51.6	1 3.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	3 9.7	13 41.9	1 3.2	-
ル 等 取 り 組 み 状 況 イ ク	日々取り組み	633 100.0	361 57.0	8 1.3	15 2.4	7 1.1	12 1.9	17 2.7	217 34.3	17 2.7	26 4.1
	負担なし 取り組み	850 100.0	472 55.5	16 1.9	26 3.1	12 1.4	26 3.1	30 3.5	296 34.8	29 3.4	13 1.5
	取り組みなし	81 100.0	44 54.3	1 1.2	1 1.2	2 2.5	3 3.7	4 4.9	31 38.3	2 2.5	1 1.2

（注）太字は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「今のままでよい」が65.1%ですが、女性では51.3%と少なく、逆に、女性では「わからない」が40.5%ですが、男性では24.5%と少なくなっています。
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「今のままでよい」が多くなる傾向にあります。

「設置に対する補助率(3 分の 2)を変更した方がよい」(1.6%)の内容

- 10 分の 10
- 3/3 へ
- 4 分の 3
- 全額補助
- 物価高騰 住民負担減
- 補助率 100%としてほしい。
- 率のアップを。

「設置に対する補助限度額(120,000 円)を変更した方がよい」(2.7%)の内容

- 500,000 円
- 40 万円
- 10 万へ
- 150,000 円
- 率のアップ
- ごみの量、設置場所等で差をつけてもよいのでは。
- 少し下げてもよいのでは。
- 物価高騰 住民負担減
- 物価高騰のため引き上げて。
- 一律ではなく物価動向に合わせる。
- 上限を現況に応じて上げる。
- 設置したくても費用が高く、補助金だけでは足りない。
- 限度無し
- 増額(2)
- 増やした方がよい。

「改修等に対する補助率(3 分の 2)を変更した方がよい」(1.3%)の内容

- 10 分の 10
- 3/3 へ
- 道路に置いたままのステーションを、きちんとした置き場へ変えた方がよいと考えるので。
- 物価高騰 住民負担減
- 増やす。
- 率のアップ

「改修等に対する補助限度額(50,000 円)を変更した方がよい」(2.6%)の内容

- 100000 円(2)
- 20 万円
- 3 万へ
- 80000 円
- 限度額を 2/3 へ
- 限度無し
- 増額(2)
- ネットやシートだと面倒、石等で押さえてるので足に落ちる危険があるため、きちんとしたゴミステーションに変更を希望します。
- 物価高騰 住民負担減
- 物価高騰のため引き上げて。
- 増やした方がよい。
- 率のアップ

「被せネットやシートの購入に対する補助限度額(3,500 円)を変更した方がよい」(3.3%)の内容

- 4,000 円
- 5,000 円
- 増やした方がよい(3)
- 全額補助にしてほしい(2)
- 限度なし。
- 率のアップ。
- もっと質のよいものへ増額。
- 現物支給が良い。
- この金額ではネットも買えない。
- 時価にした方がよい。
- ネットがないステーションがあり、ごみが散乱している所を見かけるので購入しやすくすべき。
- 物価が上がっているためか、破れているネットを使い続けているステーションもあり、ごみが散らかっている所もあるのでもう少し上げてはどうか。
- 物価上昇があるので、それに見合った金額にしてほしい。
- 補助なしでよいのでは。④⑤に含めてよいと思います。
- 無料でよい。
- 私が住んでいる地域はネットだが、可燃ゴミの日は必ずゴミステーションをカラスがゴミを荒らすので毎回掃除が必要。ネットは効果ないので被せネット補助は必要ないし、推奨しないほうがいい。
- 対策できるだけの費用があればいいと思う。金額はわからない。
- 被せネットの補助金を上げてほしい（すぐボロボロになるので）。
- 物価の上昇に伴い金額を上げる必要あり。

補助金についての「その他」(3.1%)の内容

- 余剰分があれば増やす等考えれば、自治会負担が緩和されるはず。
- 新しく作り、倉庫にしてもらったのできれいになって助かってます。ありがとうございます。
- 未だにカラス等があさっている。
- 各自治会のお金でやり繰りすればいいと思う。
- 被せネットではカラスが散らしてしまうので、ごみステーションが設置されていない自治会と話合って補助額を決めてほしい。
- カラスの被害で毎回困っている。生ごみだけでも入れるボックスがあればよいと思います。
- カラスや野良猫による被害を防ぐためにも全額公費負担でゴミステーションにしたほうがいい
- 原材料費高騰の割合を考慮して、交付金額を増額して下さい。
- ごみステーションの工事費がどれほどかかるのか。また、ステーションの規模にもよると思います。作り方もあるでしょうし。
- ゴミステーションの古いものは計画的に補修してほしい
- ごみステーションは班で出して設置しました。自治会を出してくれるとは知りませんでした。
- ごみ袋が有料なのだから、ステーション設置や回収費は市が負担すべき。環境整備の上からも。
- 最近では世帯が増加し、約 90 世帯で外ではかなり大きめのゴミステーションを設置しているが、他の小さなゴミステーションからごみ捨てに来る人が多くなっているように思える。地域によって差があるため、満杯になるのであろう。車で捨てに来る。本当はごみステーションの設置はある程度の大きな物を統一的に設置すればベスト。これには市の負担を 100% するべきだと思う。できたらいいな。
- 支給品のネットは破れやすく、もう少し厚手で硬いネットにして、枚数も増やしてほしい。
- 自治会に入らない人が増えているので、それへの対応をしてほしい。
- 自治会役員でないのによく分からないが、少子高齢化で年々維持管理が大変だと思うが、必要な施設なのである程度費用がかかると思う。
- 自治体ごとに収入金額が違い、十分な設備ができなく、部外者の違法なごみ出しに対して苦慮しているが対策なし。
- 設置金額もどれくらいかかるのか、修繕するのはどれくらいで（老朽）改修していくらかかるのかも分からないです。補助金があるのはとてもありがたいですし、ごみステーションはきれいに保ちたいです。
- 設置にどれくらいの金額か分からないので判断できない。
- 設置場所が少ない。
- 携わっている方々が、最良と考えるようにしていただくのがよい。
- 適材適所。必要性に応じて補助額を変更。限度額を決めずに有識者が判断。人手が足りれば。
- ネットでは常にカラスの被害に遭い、できれば箱形のごみステーションを自治会と市との話し合いで常設してほしいです。
- ネットの地区をネットではなく、小屋みたいな物に変えて行った方がよい。雑な人がネット被せをいい加減にして、カラスの餌になっている。
- ネットはカラスが荒らして、道路にごみが散乱している所もあり、車の運転等危ないので、ごみステーションの設置をしてほしい。
- ネットシート予算は予算が取れるなら屋根のあるボックス型にした方がよいのではと思います。

補助金についての「その他」(3.1%)の内容(続き)

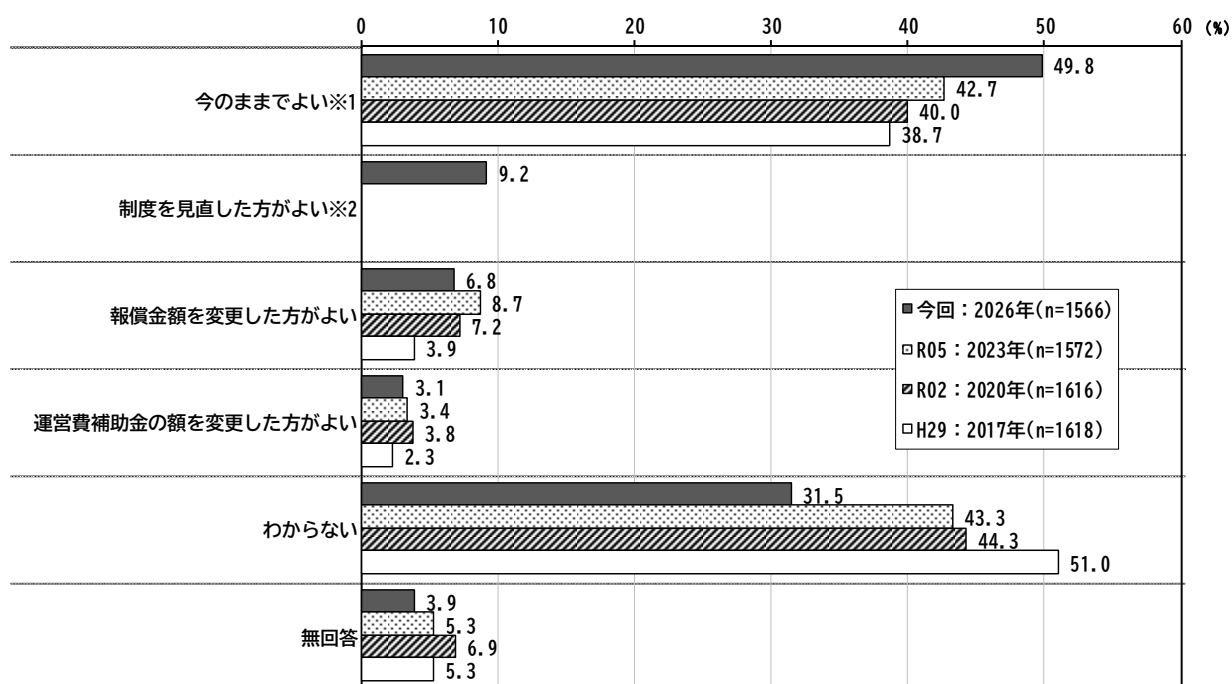
- ネットやシートは必要量を全て支給してほしい。
- 物価高騰の折、限度額を少し上げてはどうかと思います。
- 古いマンションのごみステーションの改修などに。
- 補助金が出ていることさえ知らなかった。
- 補助金なしで設置。その後、補助金が出ることを知りました。回収とはどの程度までよいのか、手続きとか面倒でしょうか。班長が毎年変わるので、今まで通り修理は世帯数で割って維持していくでしょう。
- 補助率より、どのような審査を経て支払われているのかの方が大事だと思う。ごみは市民なら捨てることのできるはずなのに、自治会に権限があるように思わせるようなやり方は変えてほしい。
- 毎月地区内のごみ拾いをしている。その時の専用ゴミ袋がほしいです。透明袋で地区内清掃とか印字している物。20ℓ袋くらいで要望です。最近ポリ袋が手に入らないため。
- 自治会だけでなく、マンション等集合住宅にも補助して欲しい。
- 自治会は管理に人員を使っているので、設置費用は市が負担してもいいと思う。
- 自治体の存続が危うくなっている現状を考える必要がある。
- 設置するのにかかる費用や、被せネットやシートの値段が、はっきりわからないので、限度額の設定が、好ましいのかどうか、わかりにくいです。
- 全額補助がよい。

(3) クリーン推進員への報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営補助金（問 15-3）

問 15-3 ごみの出し方の指導など清掃事業の円滑な運営を図るため、各自治会に配置しているクリーン推進員に支給している報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営に対する補助金についてどう思いますか。（〇はいくつでも）※[]内には具体的な内容を記入してください。

ごみの出し方の指導など清掃事業の円滑な運営を図るため、各自治会に配置しているクリーン推進員に支給している報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営に対する補助金についてみると、「今のままでよい」が49.8%と最も多くなっています。次いで「わからない」が31.5%となっています。「制度を見直した方がよい」は9.2%、「報償金額を変更した方がよい」は6.8%、「運営費補助金の額を変更した方がよい」は3.1%となっています。

【全体及び経年推移】



※1 令和5年以前は「これまでどおりでよい」

※2 今年調査より追加

- 「今のままでよい」が令和5年の42.7%から49.8%に7.1ポイント増加し、「わからない」が43.3%から31.5%に11.8ポイント減少しています。

【属性別特徴】

	サンプル数	今のままでよい	方制度を見直した	し報た方がよい額をい	が額運を営費補助した方	わからない	無回答
全体	1566 100.0	780 49.8	144 9.2	107 6.8	49 3.1	493 31.5	61 3.9
性別	男性	547 100.0	328 60.0	47 8.6	37 6.8	20 3.7	116 21.2
	女性	996 100.0	442 44.4	94 9.4	69 6.9	29 2.9	369 37.0
	その他	6 100.0	3 50.0	1 16.7	-	-	2 33.3
年齢別	18・19歳	19 100.0	11 57.9	1 5.3	1 5.3	-	6 31.6
	20歳代	92 100.0	58 63.0	4 4.3	2 2.2	5 5.4	27 29.3
	30歳代	145 100.0	80 55.2	8 5.5	10 6.9	5 3.4	45 31.0
	40歳代	223 100.0	116 52.0	24 10.8	24 10.8	10 4.5	60 26.9
	50歳代	288 100.0	126 43.8	38 13.2	25 8.7	4 1.4	102 35.4
	60歳代	323 100.0	141 43.7	33 10.2	25 7.7	10 3.1	115 35.6
	70歳代	366 100.0	191 52.2	29 7.9	16 4.4	12 3.3	109 29.8
	80歳以上	106 100.0	55 51.9	7 6.6	4 3.8	3 2.8	27 25.5
家族人数別	1人	278 100.0	134 48.2	26 9.4	17 6.1	14 5.0	84 30.2
	2人	576 100.0	267 46.4	55 9.5	43 7.5	19 3.3	193 33.5
	3人	360 100.0	194 53.9	28 7.8	20 5.6	1 0.3	116 32.2
	4人	216 100.0	119 55.1	16 7.4	14 6.5	7 3.2	65 30.1
	5人	96 100.0	49 51.0	16 16.7	7 7.3	5 5.2	24 25.0
	6人以上	31 100.0	13 41.9	3 9.7	4 12.9	3 9.7	10 32.3
ルご等取減り組・み状況	日々取り組み	633 100.0	317 50.1	52 8.2	41 6.5	20 3.2	200 31.6
	負担なし	850 100.0	425 50.0	88 10.4	59 6.9	27 3.2	262 30.8
	取り組みなし	81 100.0	36 44.4	4 4.9	7 8.6	2 2.5	31 38.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 性別にみると、男性では「今のままでよい」が60.0%ですが、女性では44.4%と少なく、逆に、女性では「わからない」が37.0%ですが、男性では21.2%と少なくなっています。

「報償金額を変更した方がよい」(6.8%)の内容

- もっと増やす。5000 円くらい。
- 3000 円
- 一人一月あたり 2000 円(3)
- 一月 1000 円は安すぎる。もう少し上げるべき。
- 一人 1000 円は少なすぎる
- 増額・もう少し高く(9)
- 増額した方がよい。
- バイトでも 1 時間 1200 円貰ってるので、月に 1000 円は安いのではないかと思います。
- 世帯が多い地域であれば 1 月 500 円でも良い気がするから。
- 月千円では割に合わない。
- 少し up してはどうか。
- 高くしてもいいかも。
- もう少し金額を上げて活動へのモチベーションを上げた方がよいと思います。
- もっと増やして上げてほしい。すごくきれいにしているのを見ました。
- あまりその金額でやろうと思わない。
- お金の無駄です。特に自治会で何もしていないでしょう。辞めた方がよいです。無活動に対しての報償金は違法ではありませんか。
- 頑張っている人に上げた方がよい。
- 金額を上げてよいのでは。
- ゴミ捨て場は輪番チェックしているが、クリーン推進員の方が活動されていることも知らない。
- ゴミの日は、毎日のようにあるのに、月に 1000 円とは？ボランティアだから仕方ないのでしょうか？なにに対して、月に 1000 円？
- 実質活動時間にかかる労力に対しての報償金額の設定。
- 推進員さんの活動は大変そうに見えるので、せめて金額を増やして上げてほしい。
- 推進員の本人がどう思っているのか。
- 推進員の見回りを多くしてほしい。
- 大変な仕事なので増額願います。
- 地区により活動費に違いがあると思うが、熱心に活動している方にはもっと増額していい。
- 低額だと更新しないと思う。
- 必要ない。十分な活動ができていない気がします。
- 少ないと思う。
- 大変だから手数料を増やしたほうが良い。
- 年度毎に推進者が変わるが、意欲のある方ない方の差があるので成果報酬制度にすべきだと思う。
- 物価高だし、良い事をしてもらってるので上げてよいかなと。
- 無料でボランティアでもよいのでは。
- もらいすぎていると思う。何か作業をした時に出した方がよいと思う。
- あまり活動実績がないのにもらうのはどうかと思う。
- 報奨金が高すぎると思う。
- 減額（年 1 万円くらいに）
- お金を出す必要はないのではないですか。
- 各世帯にも分配してほしい。
- 活動内容実績が分からない。
- 推進員の活動が目に見えないので、安くしてもよいのであれば。
- 廃止
- 不要
- 推進なんて聞いたことがない。活動内容も不明。
- クリーン推進員のことを知らない人が多いのと活動が分からないため、廃止。

「運営費補助金の額を変更した方がよい」(3.1%)の内容

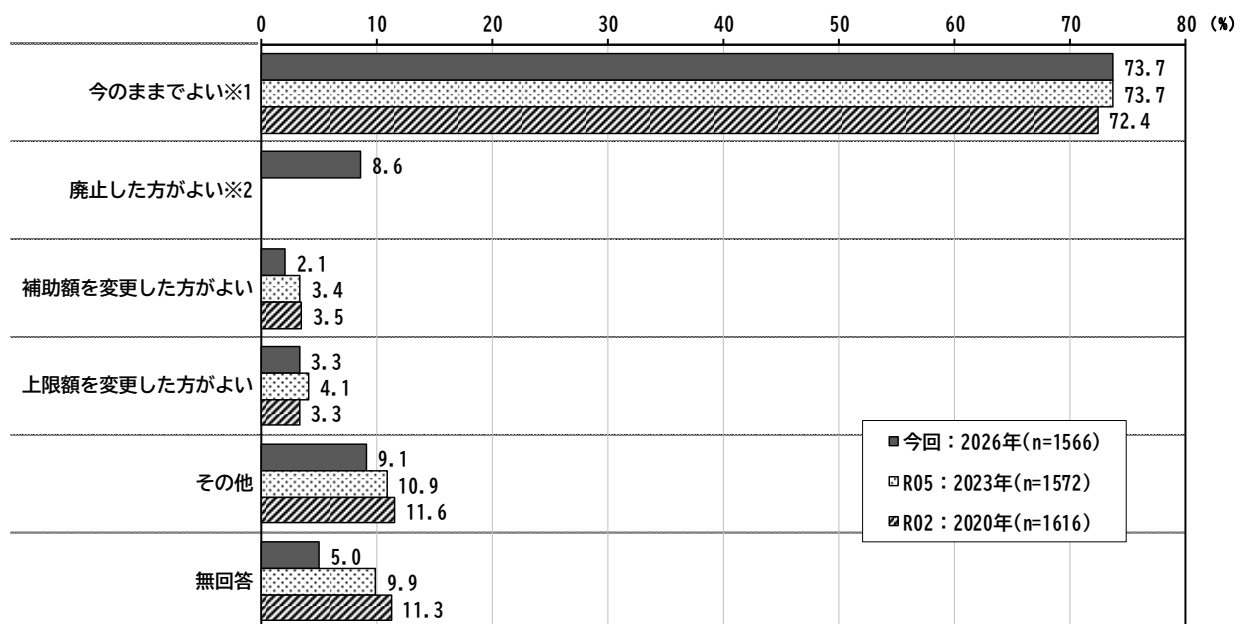
- 1000 円→500 円に変更してよいのではと思います。
- 年間 1000 円くらいで良い。あくまでもボランティア。
- 少し up してはどうか。
- 増額(3)
- 今以上に。
- 各世帯の負担が軽減する額で設定してほしい。
- 夏場等、推進員さんの負担が大きいのでは。手厚く補助できるのではないのでしょうか。
- 報償、補助金を出す程の何をしている。
- 本人が増額を希望しているのなら見直しても良いと思います。
- もっと上げた方がよいと思います。
- 大変だから手数料を増やしたほうが良い。
- 面倒なんだから、まあまあ活動されてるなら増額。活動実態がないなら減額。
- ごみ出した際に気づいた人が整理しています。クリーン推進員を設けなくてもいいのでは。補助金もなしでいいと思います。
- お金の無駄です。特に自治会で何もしていないでしょう。辞めた方がよいです。無活動に対しての報償金は違法ではありませんか。
- 減らす。
- 不要
- いらないでしょう。
- 廃止
- 分からない。
- 必要ない。十分な活動ができていない気がします。

(4) 生ごみ処理機器の購入及びディスポーザーの設置に対する補助金（問 15-4）

問 15-4 家庭から排出される生ごみの減量とリサイクルを推進するため、生ごみ処理機器の購入及びディスポーザーの設置に対して交付している補助金についてどう思いますか。（○はいくつでも）※[]内には具体的な内容を記入してください。

生ごみ処理機器の購入及びディスポーザーの設置に対して交付している補助金についてみると、「今のままでよい」が73.7%と最も多くなっています。「廃止した方がよい」は8.6%、「上限額を変更した方がよい」は3.3%、「補助額を変更した方がよい」は2.1%となっています。

【全体及び経年推移】



※1 令和5年以前は「これまでどおりでよい」 ※2 今年調査より追加

- 大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

		サンプル数	今のままでよい	廃止した方がよい	補助額を 変更した 方がよい	上限額を 変更した 方がよい	その他	無回答
全体		1566 100.0	1154 73.7	135 8.6	33 2.1	51 3.3	143 9.1	79 5.0
性別	男性	547 100.0	407 74.4	60 11.0	11 2.0	18 3.3	40 7.3	22 4.0
	女性	996 100.0	733 73.6	72 7.2	22 2.2	32 3.2	99 9.9	55 5.5
	その他	6 100.0	4 66.7	1 16.7	- -	- -	1 16.7	- -
年齢別	18・19歳	19 100.0	15 78.9	1 5.3	2 10.5	1 5.3	- -	- -
	20歳代	92 100.0	73 79.3	3 3.3	3 3.3	8 8.7	4 4.3	2 2.2
	30歳代	145 100.0	120 82.8	6 4.1	4 2.8	7 4.8	11 7.6	1 0.7
	40歳代	223 100.0	172 77.1	20 9.0	7 3.1	9 4.0	18 8.1	1 0.4
	50歳代	288 100.0	212 73.6	25 8.7	8 2.8	12 4.2	30 10.4	7 2.4
	60歳代	323 100.0	248 76.8	30 9.3	4 1.2	7 2.2	26 8.0	12 3.7
	70歳代	366 100.0	252 68.9	40 10.9	2 0.5	5 1.4	39 10.7	35 9.6
	80歳以上	106 100.0	60 56.6	9 8.5	3 2.8	2 1.9	14 13.2	21 19.8
家族人数別	1人	278 100.0	192 69.1	23 8.3	6 2.2	6 2.2	29 10.4	26 9.4
	2人	576 100.0	419 72.7	51 8.9	10 1.7	18 3.1	58 10.1	32 5.6
	3人	360 100.0	273 75.8	35 9.7	8 2.2	7 1.9	28 7.8	13 3.6
	4人	216 100.0	164 75.9	15 6.9	6 2.8	12 5.6	20 9.3	3 1.4
	5人	96 100.0	74 77.1	7 7.3	3 3.1	8 8.3	5 5.2	3 3.1
	6人以上	31 100.0	26 83.9	3 9.7	- -	- -	3 9.7	- -
ル ご 等 取 り 組 み リ サ イ ク	日々取り組み	633 100.0	459 72.5	52 8.2	11 1.7	17 2.7	65 10.3	40 6.3
	負担なし取り組み	850 100.0	635 74.7	78 9.2	18 2.1	31 3.6	69 8.1	35 4.1
	取り組みなし	81 100.0	58 71.6	5 6.2	4 4.9	3 3.7	9 11.1	4 4.9

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 属性にみても、すべての属性で「今のままでよい」が最も多くなっています。

「補助額を変更した方がよい」(2.1%)の内容

- 全額補助(2)
- 増額
- 推進するのであれば補助金を上げて広げた方がよいのでは。
- 今の半額でも良いのではないか。
- ディスポーザーだけでよい。
- どのくらい生ごみの減量、リサイクルに反映されているかによろと思います。
- もう少し普及しやすい内容にしてほしい。
- もっと補助金増やして普及してほしい 理由は水分量が減るからです。
- 生ゴミを減らせばゴミの量が減ると大幅に減らせると思うので全額負担可能にした方がよい。

「上限額を変更した方がよい」(3.3%)の内容

- 全額補助
- 金額を上げた方がよい。
- 増やした方がよい。
- 推進するのであれば補助金を上げて広げた方がよいのでは。
- 100%補助しないのは何故？
- 価格も高騰しているため、上限額を上げると購入者は増えないと思う。
- 各家庭の設備に違いがあると思う。
- 金額や条件より告知や家電業者、ネットで。
- 個人負担が少なくなれば利用者が増えるのでは。
- 処理に手数料がかかるから。
- 使った事が無いですが、興味ある人が使ってみたいと思うのでは。
- 何個も買う物ではないので、一人という指定を付けて上限額をもっと上げた方がよいと思う。
- 引き上げないと普及に繋がらない。
- 生ゴミを減らせばゴミの量が減ると大幅に減らせると思うので、全額負担可能にした方がよい。
- 上限額を下げてよいのではないか。
- 減らす。

補助金についての「その他」(9.1%)の内容

- 家の形態にもよるでしょう。
- 今どのくらいの家庭が利用しているのか。これから使う家庭が多いのかによるとと思いますが、現状でよいのでは。
- 意味があるなら（利益等）続けて下さい。
- いろんな物が値上がりしているので上限額を決めるのはどうでしょう。ずいぶん前から同じだと思いますが。
- お金があれば何でも買えます。私はほしいが買えないです。地区とかみんなで使えるような事を考えてほしい。減量に繋がるのではないかと思います。
- 機器自体がごみにならないような仕組みになるといいなと思う。各家庭で処理する形でなく、共有スペースで使えると補助金もより有効性が高まる。
- 経済的な問題もあり、全家庭に広げて行くのは難しいと考えています。
- 現状うまくいっているなら今のままでよい。足りないなら増やす。
- 購入する店の条件を広げてほしい。
- 自宅敷地内に穴を掘り生ごみを処分していますが、穴が直ぐ満杯になり次の穴を掘るのに苦労しています。簡易でもよいが生ごみを小さくして処分できる簡易型のディスポーザーがあればよいのですが。しかし、ディスポーザーもメンテナンスが必要だし。簡単に穴掘りもできないし。
- 市で回収できるような施設を作ってほしい。
- 処理場で一括処理の方がよいかと。
- 人口の何%位の使用がありますか。
- 設置している家庭はどのくらいあるのか。したくても場所、金銭等でできない人もいると思う。
- 全額出るなら使用してみたいと思う。
- その効果などを知る機会があればよいと思う。効果的であれば利用してみたい。
- ディスポーザーは必要なのか。生ごみは燃えるごみとして出した方がよいのでは。
- ディスポーザーをつけてよいのですか。
- ディスポーザーを利用していないので分からない。
- 電動式に興味がありますが、電気代とかどれくらいかかるのかを知りたいし、もっとアピールしてもいいと思います。
- 電動式の購入を検討している。購入額の2/3 出るのはとてもありがたい。補助金制度だが、ランニングコストがかなり架かるため悩んでいる。制度的にはとてもいいと思う。普及したらごみの回収も楽になると思う。
- どのくらいの家庭が持っているのか。メンテナンスも必要。買い替えも必要と大変そう。良いものは高い。臭いなどありました。
- どのくらいの人利用できているのか分からない。置いても使っていなければ意味がない。
- どんなものか実際に試してから購入を決めたいから。購入するまでのハードルが高すぎる
- 生ごみ減量の効果があれば交付①今のままでよい。
- 生ごみ自体を回収して堆肥を作ってほしいです。生ごみの水分で焼却炉の温度が下がると聞いているので一石二鳥では。ごみ自体の量も減るし、堆肥を売って少しでも収入になればなおよいですね。市は農業も推進しているのでコラボしたらよいのではないのでしょうか。
- 生ごみ処理機器の値段が分からないので上限額がどうなのか分からない。リサイクルを推進するために購入しやすく、購入金額負担が少なくなるようにしてほしい。

補助金についての「その他」(9.1%)の内容(続き)

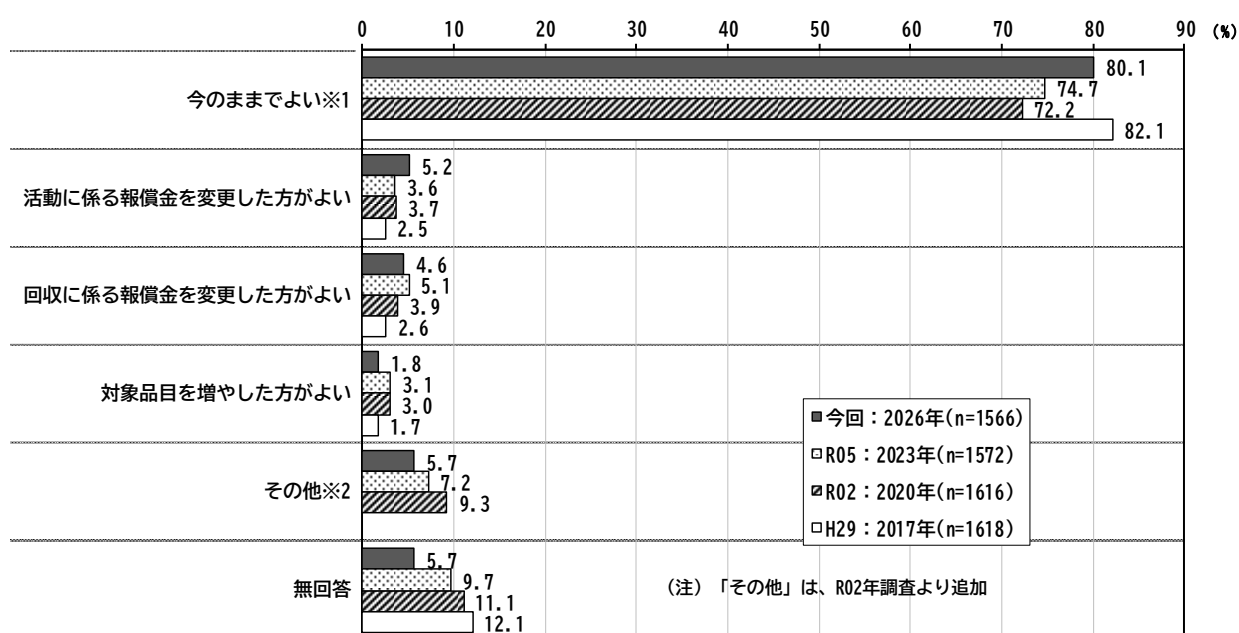
- 生ごみ処理の購入の頻度はどのくらいでしょうか。
- 生ごみ量が少ないのでよく分かりません。デイスポーターが必要と思えない。
- 補助額を多くすれば購入する方も多くなるのでは。
- 補助金が出るとは知らなかった。前にコンポストを買って生ごみ処理したことがあるが、はす向かいの方に臭いがする。宅地で非常識だと怒られ、容器を処分した。
- 補助金でなくても現物を支給するべし。
- まずはデイスポーターの認知度を上げるべきと考える。
- マンションでは難しそうだが、戸建てには推奨した方がよいな。
- マンション等集合住宅での生ごみ処理機器の設置に取り組んでほしい。戸住宅より効果が大きい。
- 無料で全家庭に1台支給したらよいと思う。
- リサイクル推進するのに普及しやすい金額設定を望みます。
- 利用する家庭は多いのでしょうか。
- 生ごみ0運動と含まれないように思われる。
- 生ゴミ処理。ゴミを減らすのには、良い機会かと思いますが、マンションやアパートでは、使いづらいです。肥料になるのですよね？ 畑やベランダなどでお花などがなければ、活用出来ない。
- 回覧などで周知させる。
- 制度がPR、周知が必要です。それに既設の生ごみ処理器がどう使われているかの調査も必要ではないでしょうか。
- 妥当な金額なのかが不明。
- 知っている人だけでは。
- 買い替えのときも補助してもらえるか知りたいです。
- 本体がどれくらいの金額で販売されているのか不明のため回答できず。
- 本体がどのくらいの値段かよく分からないので。
- 生ごみ処理機器を置きたくても置けない。使用したことがないので分からない。
- 実施していないので分かりません。
- 生ごみを余り出していないのでよく分かりません。
- 使っていないので分かりません(3)
- 補助金が出る事を知らなかった(4)
- わからない(30)
- 分からない。設置のメリットを理解していないから。
- このシステムは知りませんでした。
- この制度があることすら知らないなので、もっとわかりやすく情報を流してほしい。
- これは知りませんでした。
- こんなことがあるなんて知らなかった。
- 内容を良く知らない。

(5) 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金 (問 15-5)

問15-5 有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。
(○はいくつでも) ※[]内には具体的な内容を記入してください。

有価物集団回収(廃品回収)運動実施団体に対する報償金についてみると、「今のままでよい」が80.1%と最も多くなっています。

【全体及び経年推移】



※1 令和5年以前は「これまでどおりでよい」

※2 令和2年調査より追加

- 「今のままでよい」が令和5年の74.7%から80.1%に5.4ポイント増加しています。

【属性別特徴】

		サンプル数	今のままでよい	変活動に 変更した方がよい	変回収に 変更した方がよい	対象品目を増やした 方がよい	その他	無回答
全体		1566 100.0	1254 80.1	81 5.2	72 4.6	28 1.8	90 5.7	90 5.7
性別	男性	547 100.0	450 82.3	27 4.9	22 4.0	6 1.1	30 5.5	25 4.6
	女性	996 100.0	788 79.1	53 5.3	49 4.9	21 2.1	58 5.8	62 6.2
	その他	6 100.0	5 83.3	-	-	-	1 16.7	-
年齢別	18・19歳	19 100.0	16 84.2	1 5.3	3 15.8	-	-	-
	20歳代	92 100.0	82 89.1	5 5.4	2 2.2	3 3.3	1 1.1	1 1.1
	30歳代	145 100.0	129 89.0	6 4.1	-	2 1.4	8 5.5	1 0.7
	40歳代	223 100.0	186 83.4	11 4.9	9 4.0	5 2.2	14 6.3	2 0.9
	50歳代	288 100.0	227 78.8	22 7.6	23 8.0	10 3.5	14 4.9	8 2.8
	60歳代	323 100.0	261 80.8	20 6.2	17 5.3	5 1.5	23 7.1	9 2.8
	70歳代	366 100.0	281 76.8	11 3.0	13 3.6	2 0.5	24 6.6	44 12.0
	80歳以上	106 100.0	68 64.2	5 4.7	5 4.7	1 0.9	6 5.7	25 23.6
家族人数別	1人	278 100.0	214 77.0	13 4.7	10 3.6	6 2.2	14 5.0	29 10.4
	2人	576 100.0	454 78.8	24 4.2	25 4.3	6 1.0	46 8.0	37 6.4
	3人	360 100.0	291 80.8	26 7.2	16 4.4	8 2.2	16 4.4	15 4.2
	4人	216 100.0	180 83.3	12 5.6	15 6.9	4 1.9	7 3.2	6 2.8
	5人	96 100.0	84 87.5	4 4.2	4 4.2	2 2.1	4 4.2	1 1.0
	6人以上	31 100.0	24 77.4	2 6.5	2 6.5	2 6.5	3 9.7	-
ル 等 取 組 み 状 況 サ イ ク	日々取り組み	633 100.0	492 77.7	32 5.1	23 3.6	15 2.4	37 5.8	55 8.7
	負担なし	850 100.0	694 81.6	44 5.2	49 5.8	11 1.3	47 5.5	32 3.8
	取り組みなし	81 100.0	66 81.5	5 6.2	-	2 2.5	6 7.4	3 3.7

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 属性にみても、すべての属性で「今のままでよい」が最も多くなっています。

「活動に係る報償金を変更した方がよい」(5.2%)の内容

- 今の金額×2
- 5000 円
- 増やす・増額(7)
- 増額 手数料がかかるから。
- お金目的の活動に繋がる。
- お世話する方達へのお礼。
- 活動することを評価し上げる。
- もう少し金額を上げた方が意欲が上がるのでは。
- 物価高なので上げて良いかなと。
- 報奨金の額が安いとなかなか回収が伴わないと思う。
- 報奨金の問題ではないと思う。
- 活動人数に応じて報奨金を払うべきでは？
- 地域によって異なると思うから。
- いらないでしょう。
- 減額
- 額を下げて下さい。
- 近年活動はしていないと思います。
- 活動しているか怪しい。
- そんな活動をしている方を見たことがない
- この報償金は不要ではないでしょうか。

「回収に係る報償金変更した方がよい」(4.6%)の内容

- 増額・増やす(13)
- もう少し金額を上げた方が意欲が上がるのでは。
- もう少し増やすと励みになります。
- もう少し報償金を上げると活動する団体が増えるかも。
- 物価高なので上げて良いかなと。
- 回収量に対し額を上げる。
- 活動情報を回す。
- 活動に参加する所がもっと増えると思うので。
- 地域によって異なると思うから。
- 特にカン類
- びんを回収しない団体があるため、びんは廃止
- 物価と連動させる。最低 10 円～。
- 報奨金の額が安いとなかなか回収が伴わないと思う。
- 報奨金の問題ではないと思う。
- 安すぎる。
- 紙類の回収はもっと上げるべき。
- 料金を上げる。

「対象品目を増やした方がよい」(1.8%)の内容

- 自転車など
- プラ、ペットボトルを増やした方がいい
- ペットボトル、キャップ、プルタブ
- ペットボトル、ペットボトルのフタ
- ペットボトル、リチウムイオン
- もう少し報償金を上げると活動する団体が増えるかも。

報償金についての「その他」(5.7%)の内容

- 回収は分かりますが、その他何をしているのか分かりません。なので決められません。
- 活動できる人が少ない。
- 活動を実施している団体がどこかを知らせているのかな。
- 業者の意見を知りたい。
- 許可無く回収している団体には逆に厳しい対応をしてほしい。
- 現在主流のアルミ缶は重量、容積辺りで考えると7/kgは安すぎるのでは。
- 全て行政回収にしてほしい。
- 団体に対する報償金があることは知りませんでした。
- 使ったことがない。
- 適切かどうかよく分かりません。
- 当自治体は、子ども会が解散したため廃品回収がなくなり残念です。今まで協力してきた事を思うと継続してほしかったです。
- 廃食用油など有価物回収場所を増やす。個人も報奨金制度の導入
- 廃品回収する子ども会等が少なくなった。
- 廃品回収のこと？
- 廃品回収は今現在やっているのですか。最近は全然見かけない。
- 報奨金制度はよいと思うが、自治会で取り組みをしていないのでわからない。
- もっとアピールしてほしい。自治会が潤うのでは。収入面で。
- 有価物回収をもっと広めてほしい。どこでしているのか分からない。連絡があれば出したい。
- 良いものがあれば変更しなければそのままよい。
- 老人会に段ボール、雑誌類を出しているがよく分からない。
- 私の住んでいる地区では回収がなくなった。高齢化が原因だと思うが、無くなって不便ではないが、地区の団結力やコミュニティが弱体化していくと思う。
- 設置場所を増やしてほしい。
- 廃品回収の実施団体数や回収量を見て、実施の方向性や仕方を再検討するとよいと思います。
- 廃品回収よりも個人で買い取ってもらえる場所を増やしてほしい
- 廃品回収をしても子どもが参加しないのでやめた方がよいと思う。

報償金についての「その他」(5.7%)の内容(続き)

- わからない(22)
- このシステムは知りませんでした
- 実施していないので分かりません。
- 今が変わってないので分からない。
- 分からない。回収する活動と資源有効活用の収支。大分市の収支のバランスは見合っているのか。
- 分かりません。相場が分からない。
- 額をどのように算出しているのか分かりません。
- 活動に関わった事がないので実情が分からない。
- 個人で処理しているので分からない。
- 適正なのか分からない。
- 内容を良く知らない
- 廃止してもよいと思う。
- 全く知らない。
- その制度を知らない。
- 廃止へ。
- まだこのような活動があるのですか。
- 必要ないのでは。

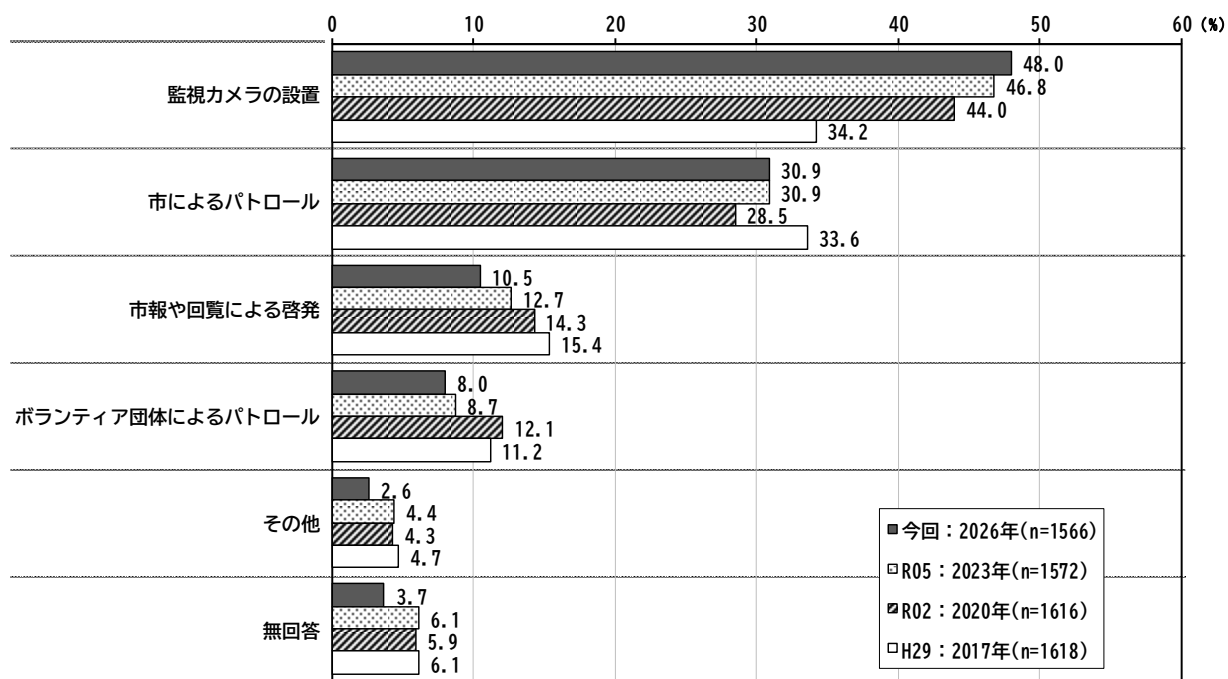
1.4 不法投棄に対する取り組みについて（問16）

問16 不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。（〇は1つ）

（※）複数回答が多かったため、複数回答も可とした。

不法投棄に対する取り組みとして充実してほしいこととしては、「監視カメラの設置」が48.0%と最も多くなっています。次いで「市によるパトロール」（30.9%）、「市報や回覧による啓発」（10.5%）、「ボランティア団体によるパトロール」（8.0%）となっています。

【全体及び経年推移】



- 「監視カメラの設置」は平成29年以降増加傾向にあり、今回は48.0%となっています。逆に、「市報や回覧による啓発」や「ボランティア団体によるパトロール」は減少傾向にあります。

【属性別特徴】

		サンプル数	監視カメラの設置	市によるパトロール	市報や回覧による啓発	ボランティア団体によるパトロール	その他	無回答
全体		1566 100.0	751 48.0	484 30.9	165 10.5	126 8.0	41 2.6	58 3.7
性別	男性	547 100.0	254 46.4	164 30.0	56 10.2	51 9.3	20 3.7	22 4.0
	女性	996 100.0	485 48.7	315 31.6	106 10.6	74 7.4	20 2.0	35 3.5
	その他	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-
年齢別	18・19歳	19 100.0	11 57.9	4 21.1	1 5.3	3 15.8	-	1 5.3
	20歳代	92 100.0	51 55.4	24 26.1	10 10.9	6 6.5	1 1.1	-
	30歳代	145 100.0	79 54.5	48 33.1	5 3.4	12 8.3	5 3.4	1 0.7
	40歳代	223 100.0	119 53.4	77 34.5	12 5.4	10 4.5	8 3.6	-
	50歳代	288 100.0	153 53.1	82 28.5	27 9.4	25 8.7	9 3.1	3 1.0
	60歳代	323 100.0	166 51.4	106 32.8	34 10.5	22 6.8	7 2.2	9 2.8
	70歳代	366 100.0	135 36.9	112 30.6	60 16.4	39 10.7	7 1.9	28 7.7
	80歳以上	106 100.0	33 31.1	31 29.2	16 15.1	9 8.5	4 3.8	16 15.1
家族人数別	1人	278 100.0	114 41.0	92 33.1	31 11.2	27 9.7	4 1.4	18 6.5
	2人	576 100.0	269 46.7	169 29.3	76 13.2	51 8.9	15 2.6	24 4.2
	3人	360 100.0	171 47.5	124 34.4	34 9.4	23 6.4	10 2.8	7 1.9
	4人	216 100.0	121 56.0	62 28.7	19 8.8	11 5.1	8 3.7	5 2.3
	5人	96 100.0	56 58.3	23 24.0	5 5.2	12 12.5	3 3.1	1 1.0
	6人以上	31 100.0	17 54.8	11 35.5	-	1 3.2	1 3.2	1 3.2
ルごみ等 取減 り組 み状 況イ ク	日々取り組み	633 100.0	286 45.2	183 28.9	78 12.3	61 9.6	17 2.7	39 6.2
	負担なし	850 100.0	418 49.2	278 32.7	81 9.5	62 7.3	20 2.4	15 1.8
	取り組みなし	81 100.0	46 56.8	22 27.2	6 7.4	3 3.7	4 4.9	4 4.9

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 年齢別にみると、50歳代以下で「監視カメラの設置」が半数を超えています。

充実してほしいことについての「その他」(2.6%)の内容

- 不法投棄者に対する罰則の強化を図るべきです。
- 不法投棄なのか道路側に田んぼがあり、ごみを投げ込まれる。
- 不法投棄しないでよい取組。どのような物が捨てられているのかまとめて。
- 不法投棄の厳罰化を図る必要がある。
- 不法投棄は厳罰化してほしい。
- 条例による罰則
- 処罰条例の検討
- 条例ではなく刑法による取り締まり。
- 市への通報義務。厳罰を望む。
- 義務教育機関におけるルール of 周知。転入者への周知。ペナルティの強化。
- 通報制度の整備と摘発。行政処分 of 強化。
- 罰金 地区指定 注意ポスター
- 罰則 of 強化
- 高額な罰金制度
- ゴミに関するルールや料金を緩和すれば良い。
- 刑事罰を与えないのであれば、どの取組も無意味です。
- 罰則基準を上げパトロール、カメラの予算を違う所に使用してほしい。
- パトロール、カメラにより改善されているのか分からない。
- 外部からの侵入防止が無いため、空き地に自由に侵入し、不法投棄されるため、侵入防止対策の設置に対して補助金制度があればよいのですが。
- 個人の意識
- ごみ置き場にたまに置いてある時があるくらいです。
- ごみの持ち主を割り出し本人に返す。
- ゴミ箱の設置
- 自治会内では不法投棄がなくなった。
- その地域のクリーン推進員の方がチェックされるのはどうか。
- 立て看板増加。視覚的に訴える。
- 一人一人の心がけ次第。
- 本部に連絡したらその日までに回収してもらう事徹底して下さい。
- マスコミ等による廃品回収方法 of 周知をアピールする。
- 意識向上するために市民全体での清掃活動など。
- 家電や家具等リサイクル費用がかかる物の不法投棄が多いと思う。市での回収を検討して欲しい。
- 看板の設置と人感ライトの設置(不法投棄が多い場所は暗く人通りが無い場所が多いので防犯の観点からも有効と考えられる)
- 市が見せしめ的な摘発を年数回すべき。
- 他社に委託。
- 分からない。

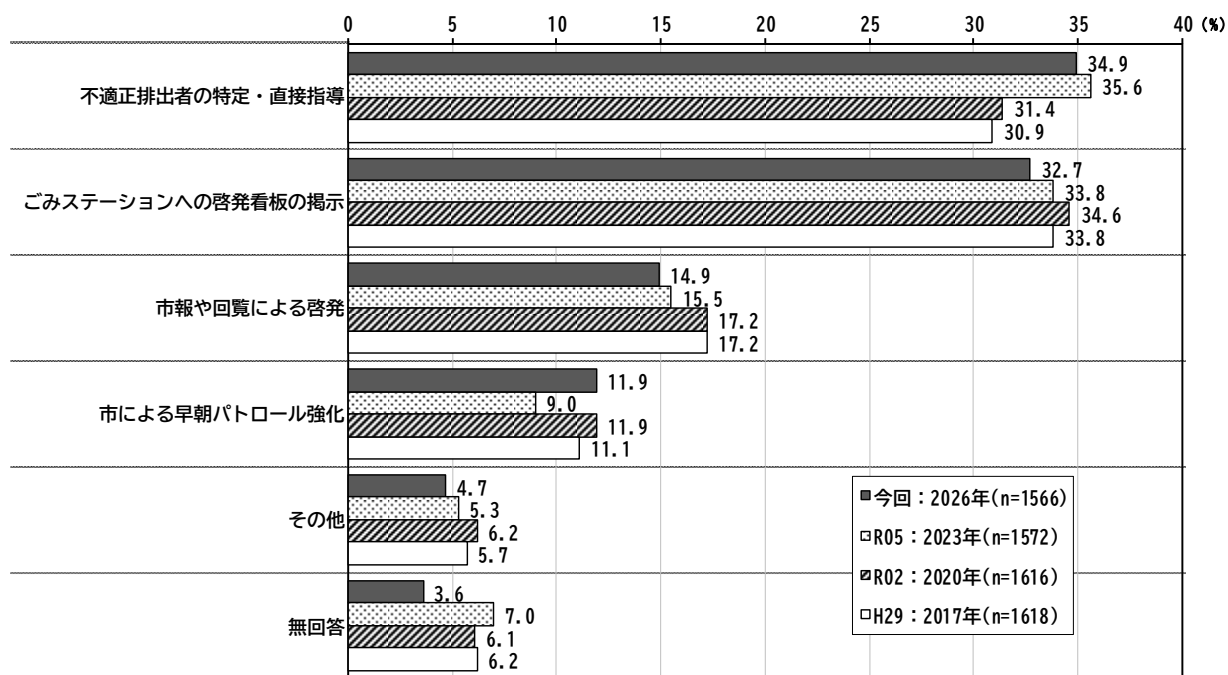
15 不適正排出に対する取り組みについて（問17）

問 17 不適正排出(ごみステーションへのルール違反ごみ) に対する取り組みとして充実してほしいと思うものはどれですか。（〇は1つ）

（※）複数回答が多かったため、複数回答も可とした。

不適正排出(ごみステーションへのルール違反ごみ) に対する取り組みとして充実してほしいこととしては、「不適正排出者の特定・直接指導」(34.9%)と「ごみステーションへの啓発看板の掲示」(32.7%)との2つが30%を超えています。次いで「市報や回覧による啓発」(14.9%)、「市による早朝パトロール強化」(11.9%)となっています。

【全体及び経年推移】



- 令和5年から大きな変化はみられません。

【属性別特徴】

		サンプル数	不適正排出者の特定・直接指導	ごみステーションへの啓発看板の掲示	市報や回覧による啓発	市強化による早朝パトロール	その他	無回答
全体		1566 100.0	547 34.9	512 32.7	234 14.9	186 11.9	74 4.7	57 3.6
性別	男性	547 100.0	211 38.6	164 30.0	64 11.7	72 13.2	28 5.1	21 3.8
	女性	996 100.0	327 32.8	342 34.3	168 16.9	110 11.0	45 4.5	35 3.5
	その他	6 100.0	3 50.0	2 33.3	-	-	1 16.7	-
年齢別	18・19歳	19 100.0	8 42.1	4 21.1	3 15.8	4 21.1	-	-
	20歳代	92 100.0	30 32.6	32 34.8	16 17.4	13 14.1	2 2.2	-
	30歳代	145 100.0	59 40.7	38 26.2	17 11.7	23 15.9	9 6.2	1 0.7
	40歳代	223 100.0	98 43.9	55 24.7	30 13.5	31 13.9	11 4.9	1 0.4
	50歳代	288 100.0	132 45.8	74 25.7	42 14.6	37 12.8	12 4.2	4 1.4
	60歳代	323 100.0	95 29.4	126 39.0	50 15.5	42 13.0	17 5.3	5 1.5
	70歳代	366 100.0	95 26.0	151 41.3	56 15.3	30 8.2	16 4.4	27 7.4
	80歳以上	106 100.0	26 24.5	32 30.2	20 18.9	6 5.7	7 6.6	19 17.9
家族人数別	1人	278 100.0	86 30.9	93 33.5	40 14.4	33 11.9	12 4.3	20 7.2
	2人	576 100.0	193 33.5	189 32.8	93 16.1	69 12.0	30 5.2	23 4.0
	3人	360 100.0	120 33.3	131 36.4	49 13.6	42 11.7	17 4.7	7 1.9
	4人	216 100.0	98 45.4	56 25.9	28 13.0	29 13.4	9 4.2	4 1.9
	5人	96 100.0	33 34.4	34 35.4	16 16.7	10 10.4	5 5.2	-
	6人以上	31 100.0	13 41.9	7 22.6	7 22.6	3 9.7	1 3.2	1 3.2
ルール等取り組み状況	日々取り組み	633 100.0	203 32.1	208 32.9	104 16.4	69 10.9	36 5.7	35 5.5
	負担なし	850 100.0	312 36.7	279 32.8	121 14.2	104 12.2	34 4.0	20 2.4
	取り組みなし	81 100.0	31 38.3	24 29.6	9 11.1	13 16.0	4 4.9	2 2.5

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上大きいもの（「無回答」を除く）

- 年齢別にみると、18・19歳、30～50歳代では「不適正排出者の特定・直接指導」、20歳代、60歳代以上では「ごみステーションへの啓発看板の掲示」が最も多くなっています。

不適正排出についての「その他」(4.7%)の内容

- 監視カメラの設置(7)
- 監視カメラでしか防げない。
- 監視カメラの設置とチェック
- 監視カメラの補助金
- カメラ、カギ設置へ。
- ごみステーションに監視カメラを設置する。
- ダミーでもよいので、カメラを設置する。
- 目立つ場所にダミーの監視カメラをつける。
- 防犯カメラの設置。希望するステーションに。
- ごみステーション近くの家の者がしています。カラス、出し間違い、不当に捨てている。全て家の近くが見ます。
- ごみステーションにカレンダーを貼付している。
- ごみステーションに出す者に名字を書くように決めている。もし間違っ出していたら注意する事ができるため、特に連休が続く時に間違っていた。
- ごみステーションの掃除当番が対処している。
- ごみステーションの近くに住んでいます。ルール違反のごみを当該日まで預かることがあります。自治会長からの依頼。ある一定数の人の行動が問題です。
- 不適正排出が多い時は市に通知し、パトロール強化。夜間に出している可能性もあり。
- 不適正排出とは。ルール違反がどのような事で多いのかまとめて掲示して。カメラ設置。
- 不適正排出もだが、カラス対策をしていない回収場所（アパート等）への特定、直接指導。
- ルールが守れない以上、利用者として認めない制度が必要
- ルールの緩和。バスの様に時刻も指定すれば良い
- ルールを守らない人は、同じ人の場合が多いので、学校や家庭で小さい頃から分別のルールを学び、身につくような取組ができれば良いのではと思います。
- アパートの管理者が入居者に徹底、きちんと伝える必要あり。
- あまりにも酷い時は直接指導してほしい。
- あまりハードにしても人権というものがあるし。
- 違反する人は決まった人ではないかと思う。他の市町村の対応はどうしているのか。
- 回収する時間帯を夜にする等、徐々に変更してほしい。
- 外部からの早朝に不適正排出者が度々あります。適正啓発看板を設置したいが、取り付けても無理だろうと思っています。何かよい案は。
- 各自治会での取組
- 各自の意識や倫理だと思います。
- 過度な対応はどうかとも思います。
- 自治会でのボランティア袋の活用
- 自治会に入らず、ごみだけ出す家族や業者に対して、ごみ出しルールの徹底と何らかの費用負担を課すようにしてほしい。
- 義務教育機関におけるルールの周知。転入者への周知。
- 個人のことでだから何をしても聴かない人はダメです。
- 子どもの頃（保育園～）からリサイクル等についての教育を行ってもらいたい。
- ごみ袋に名前をマジックで記入するようにして、違反者を特定、指導。
- 最終的に残っているごみを業者が持ち帰って下さるとよい。

不適正排出についての「その他」(4.7%)の内容(続き)

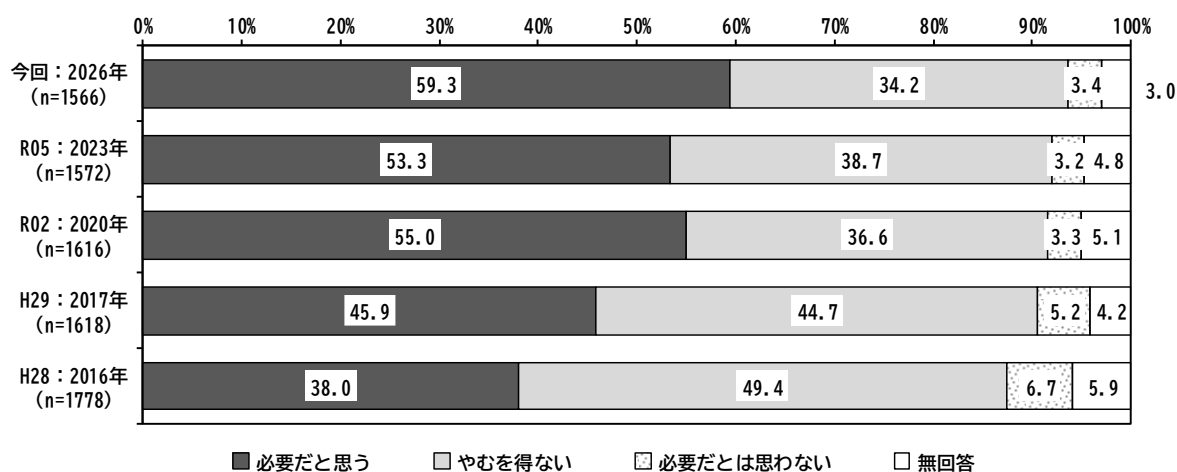
- 借家、アパートのオーナーからの指導。
- 収集業者が何がダメなのかシールを貼ればよい。
- ステーションに時々不適正排出ごみでシールが貼られ、回収できないごみが残っています。具体的に何がいけないのか書いてほしい。
- 絶対にしてはいけない事を④で啓発する。
- たび重なるようであれば指導が必要
- 道路沿いなので車で置いていく人がいるが、どうすればいいか。
- 土曜日のごみ回収の時間幅を少し広めにしていただけると助かります。
- 内容物から本人を特定し返却。
- 何により効果があるのか分からない。
- 認知症の人は仕方ない。
- 罰金(2度目から)
- パトロールや、直接指導は、人の手がいるわけで、ボランティアに頼るのも、回数が多いと、苦痛だと思う。
- 貼り紙は2週目には調査中と書いた物が貼られていました。それ以来違反ごみは今の所ないようです。これも一つの案だと思います。業者の方に感謝。
- 一人一人の心がけ次第
- 本部に連絡したらその日までに回収してもらう事徹底して下さい。
- メディアを使って啓発
- 各ゴミステーションを管理する自治会等で対応する。
- 子どもの頃からの教育活動
- 市報や回覧による啓発やゴミステーションの看板を経ての排出者への直接指導が理想だと思うけど、今現在がそうであると思うので、ゴミの氏名記載や監視カメラは今後考えざるを得ないと感じる。
- 充電器などに個体識別番号義務化
- 色々文句言う人ほど人任せだから、早起きで時間のある元気な高齢者などに報酬与えて管理してもらう。
- 罰則、罰金。

16 家庭ごみ有料化制度について（問18）

問18 家庭ごみ有料化制度は、ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施していますが、この制度の必要性についてどう思いますか。（〇は1つ）

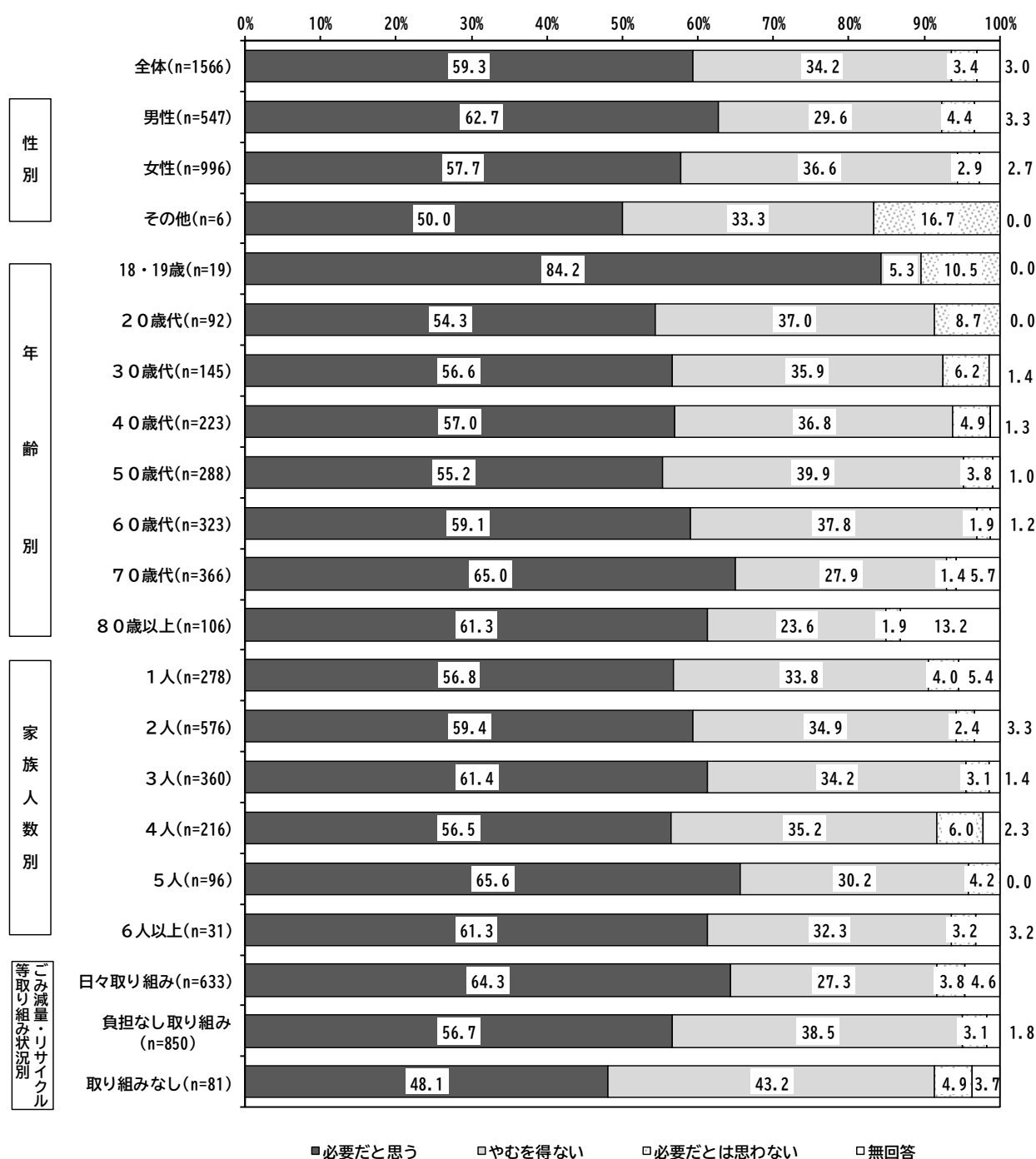
家庭ごみ有料化制度についてみると、「必要だと思う」が59.3%と半数を超え、「やむを得ない」が34.2%、「必要だとは思わない」が3.4%となっています。

【全体及び経年推移】



- 「必要だと思う」が令和5年の53.3%から59.3%に6.0ポイント増加しています。

【属性別特徴】



- ごみ減量・リサイクル等取り組み状況別にみると、取り組みに積極的なほど、「必要だと思う」が多くなっています。